

# まちづくりと中心市街地活性化に関する報告書

( )

～まちづくりと中心市街地活性化に関する資料～

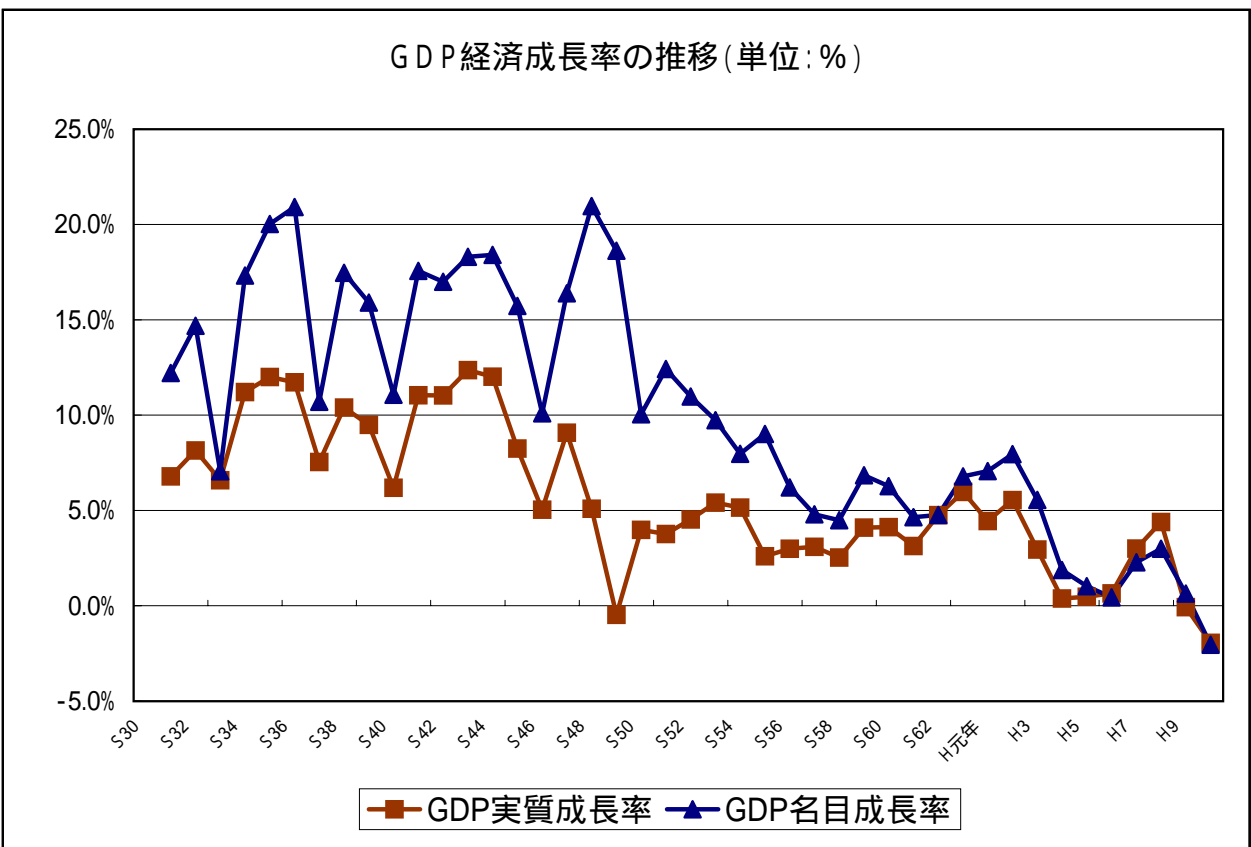
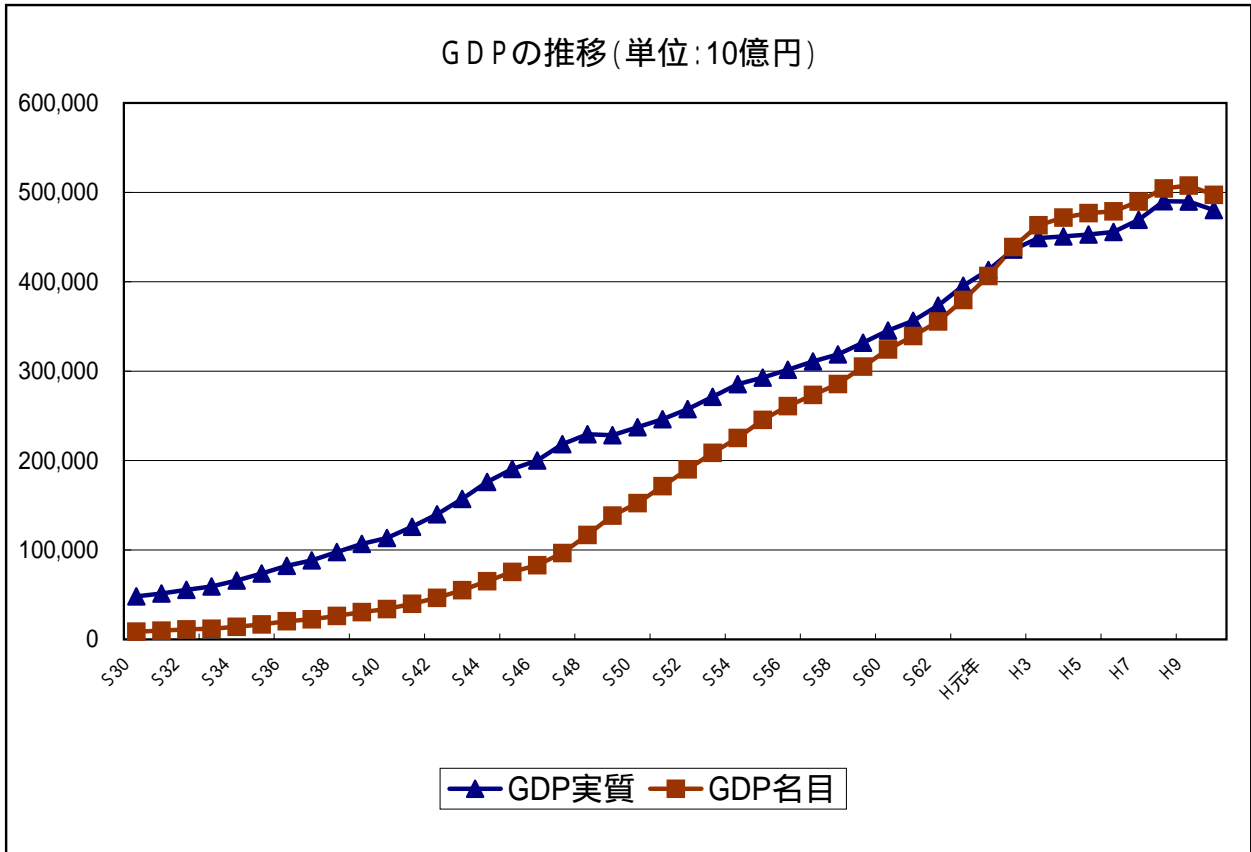
平成14年3月

福島県中心市街地活性化対策推進本部

## 目 次

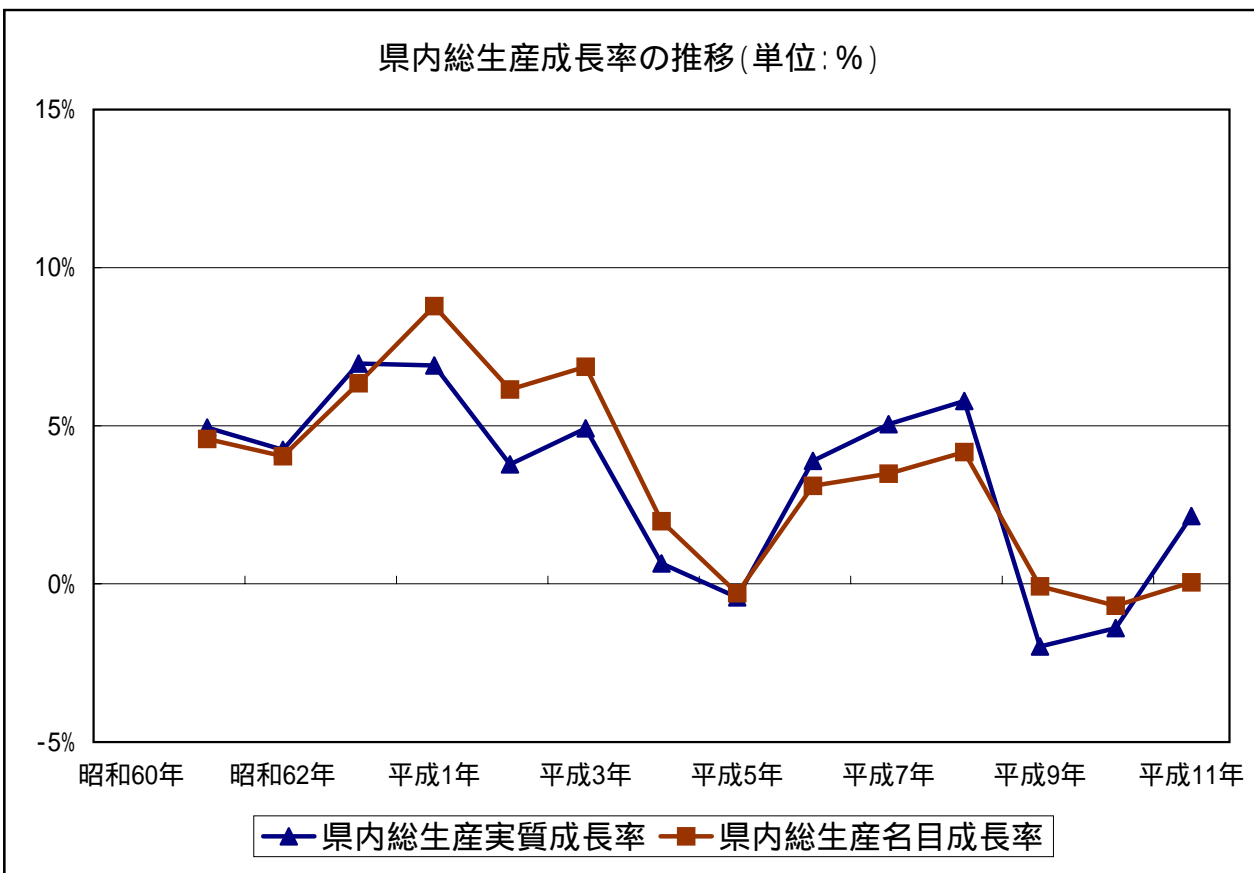
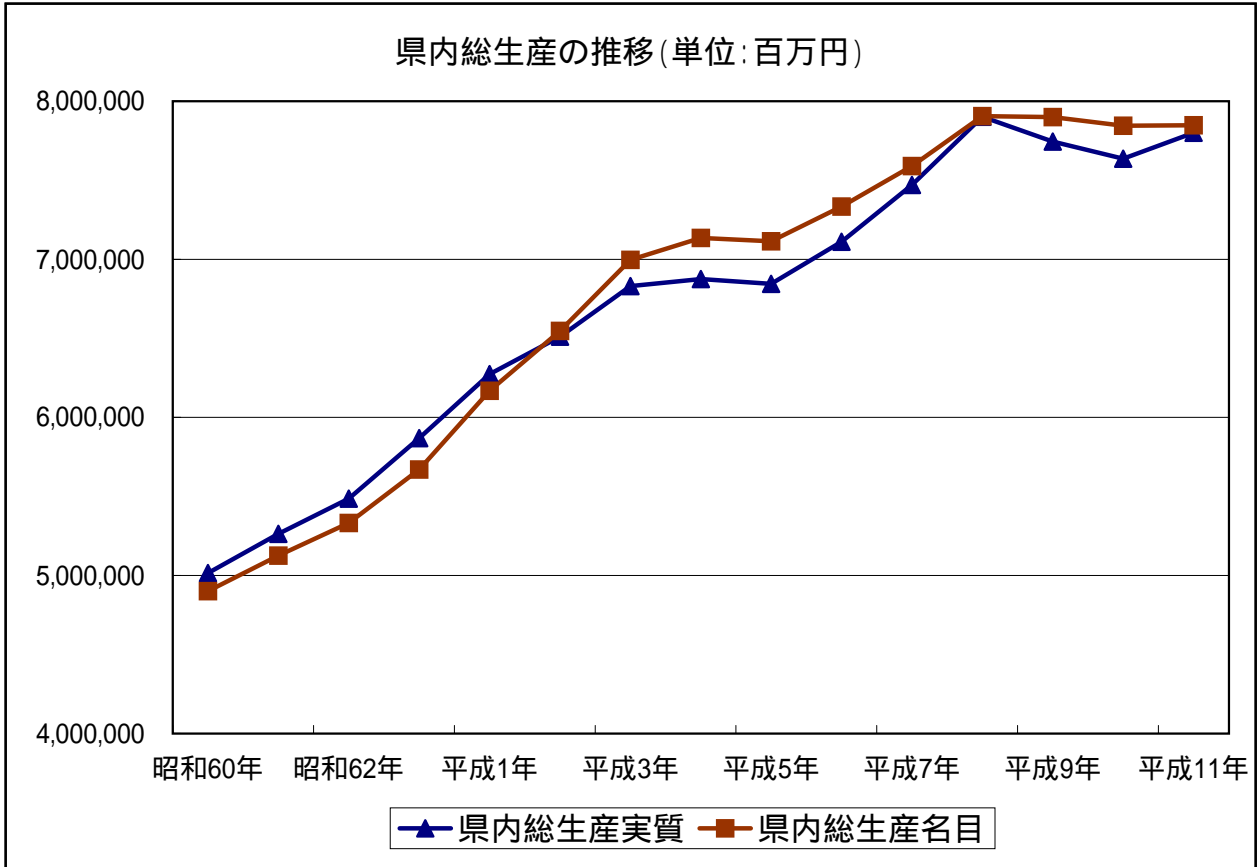
1	G D P 及び G D P 経済成長率の推移	-----	1
2	県内総生産及び成長率の推移	-----	2
3	自動車保有台数の推移	-----	3
4	将来推計年齢構成	-----	4
5	将来推計人口	-----	7
6	消費購買流入流出率(平成12年度版)	-----	10
7	隣接市町村及び主要都市間距離・就業者数	-----	16
8	県内4市D I D地区人口・人口密度・面積の推移	-----	28
9	人口推移	-----	30
10	中心商業地購買割合	-----	31
11	年間小売販売額推移	-----	33
12	中小小売商業店の売場面積、販売額等の推移	-----	34
13	大規模小売店の出店推移	-----	40

# 1 GDP及びGDP経済成長率の推移



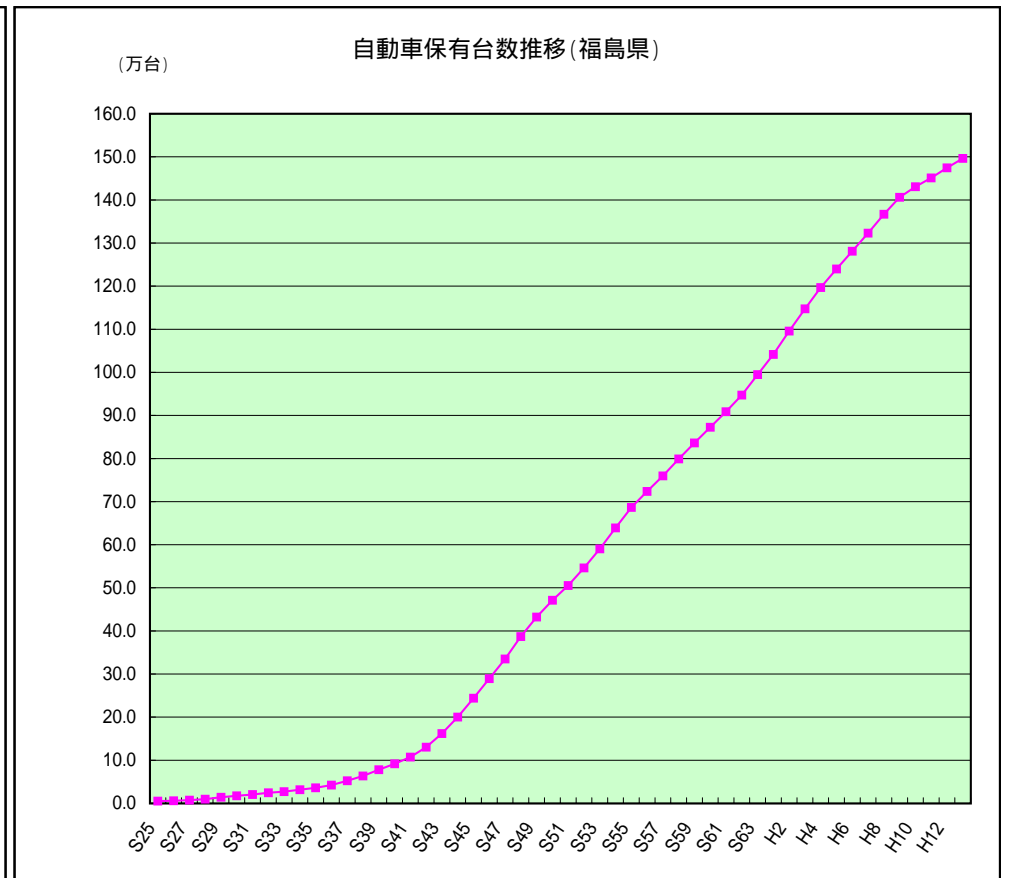
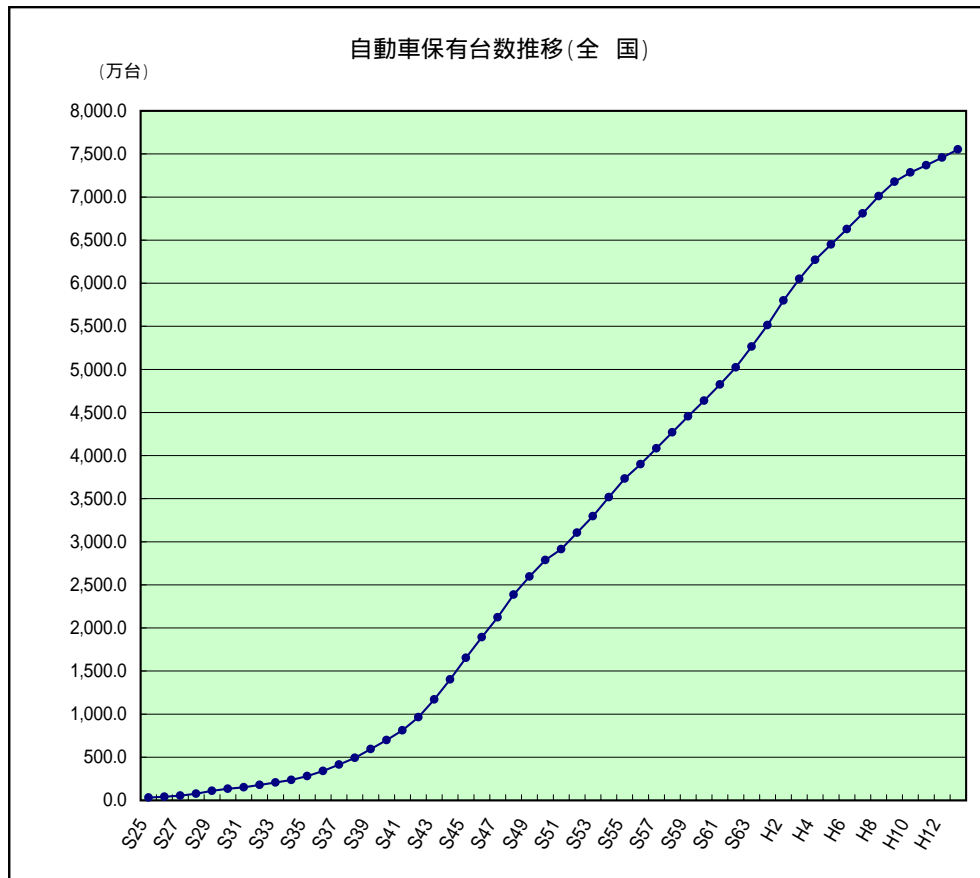
資料: 経済企画庁経済研究所「国民経済計算年報」

## 2 県内総生産及び成長率の推移



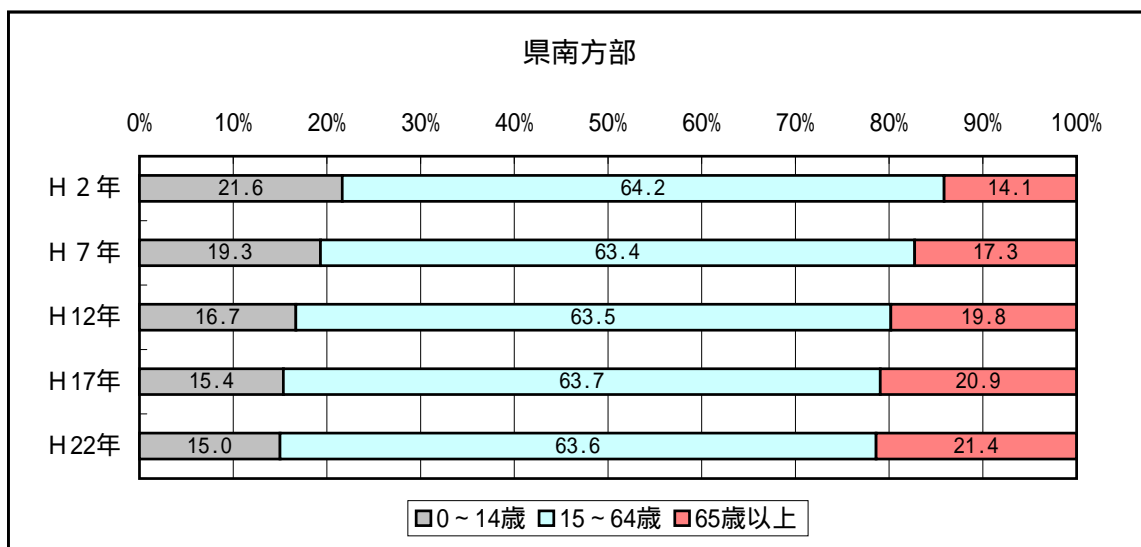
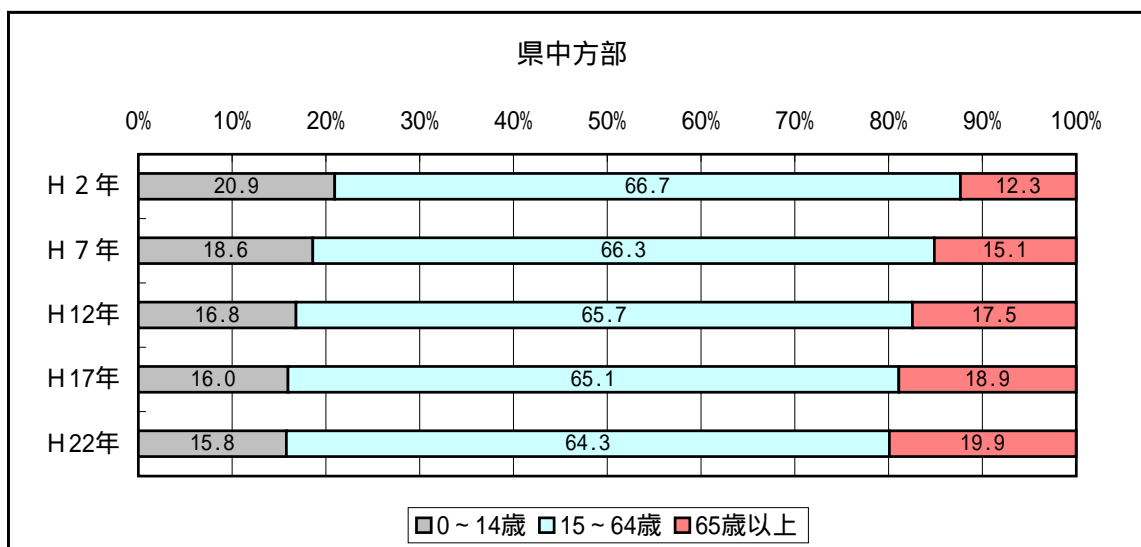
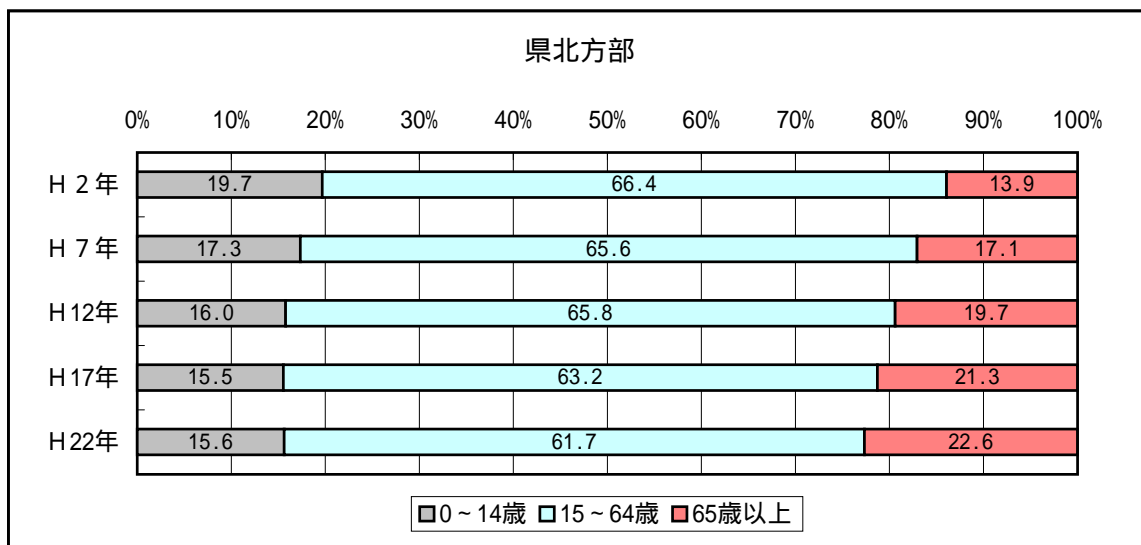
出典:福島県統計調査課

### 3 自動車保有台数の推移



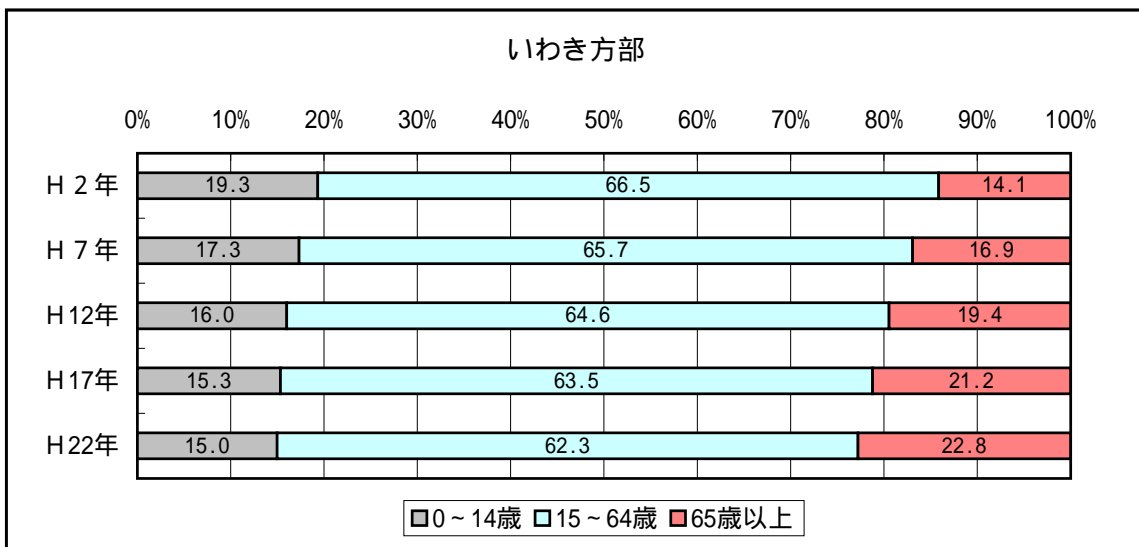
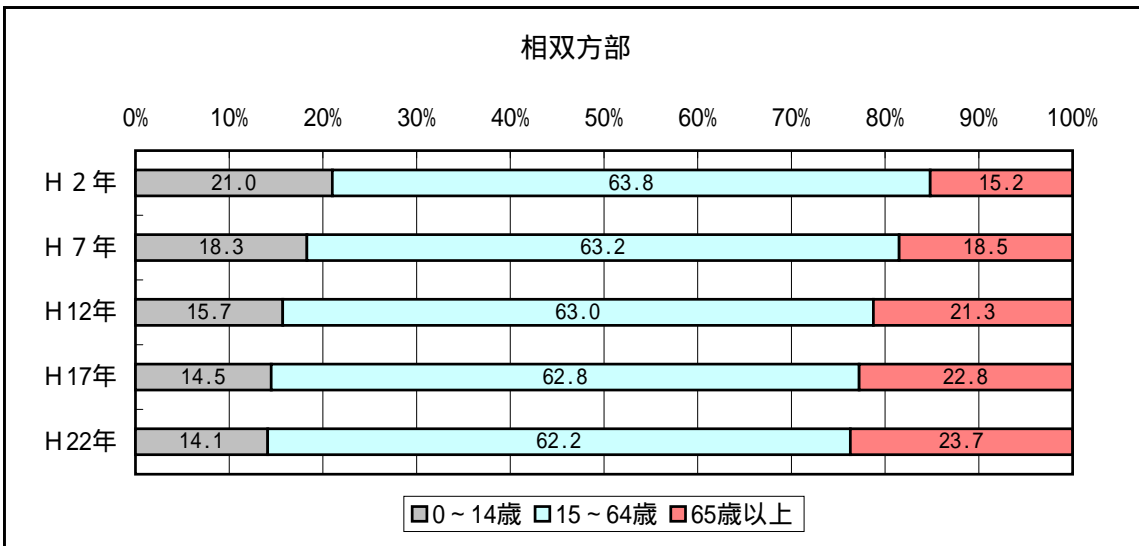
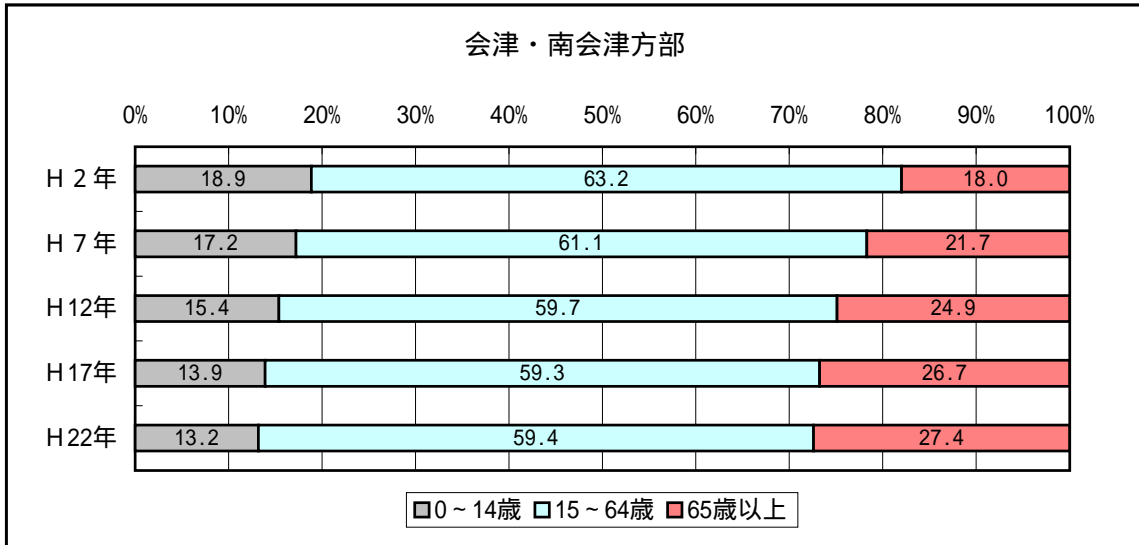
資料:東北運輸局福島陸運支局(各年3月末現在)

## 4 方部別将来推計年齢構成



出所：福島県の将来推計人口（福島県統計調査課、平成10年3月）

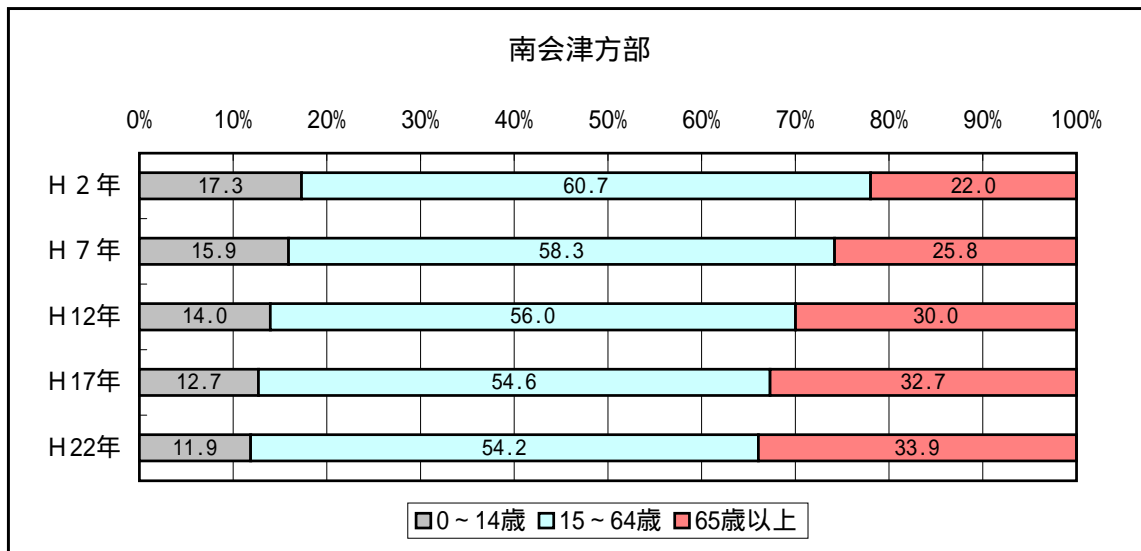
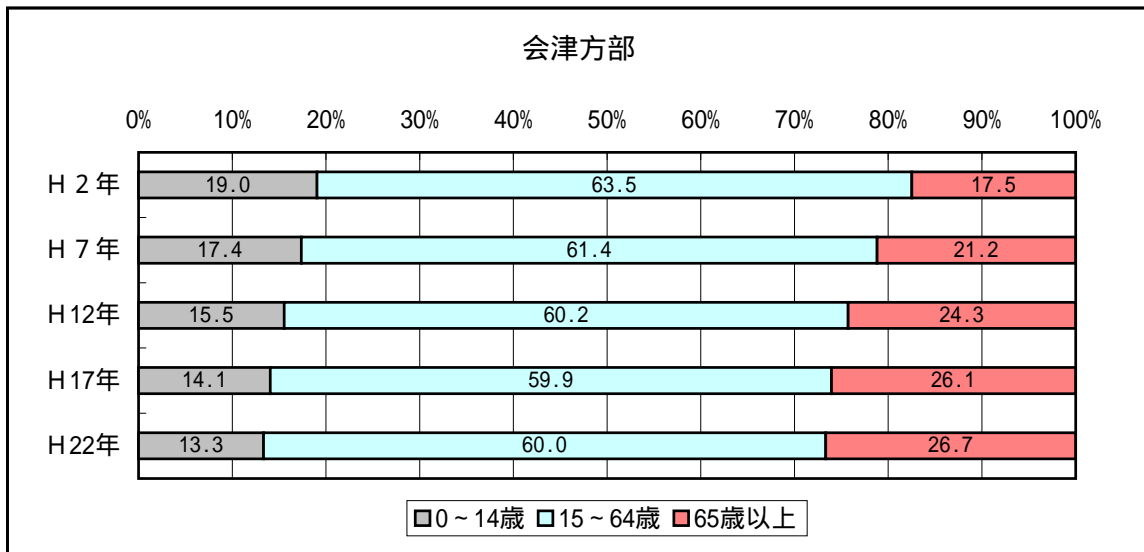
注）本調査結果は、平成7年から平成10年までの人口移動が、将来にわたって継続することを前提に推計したものであり、平成12年度国勢調査結果とは整合していない。



出所：福島県の将来推計人口（福島県統計調査課、平成10年3月）

注）本調査結果は、平成7年から平成10年までの人口移動が、将来にわたり継続することを前提に推計したものであり、平成12年度国勢調査結果とは整合していない。

( 会津、南会津方部別将来推計年齢構成 )

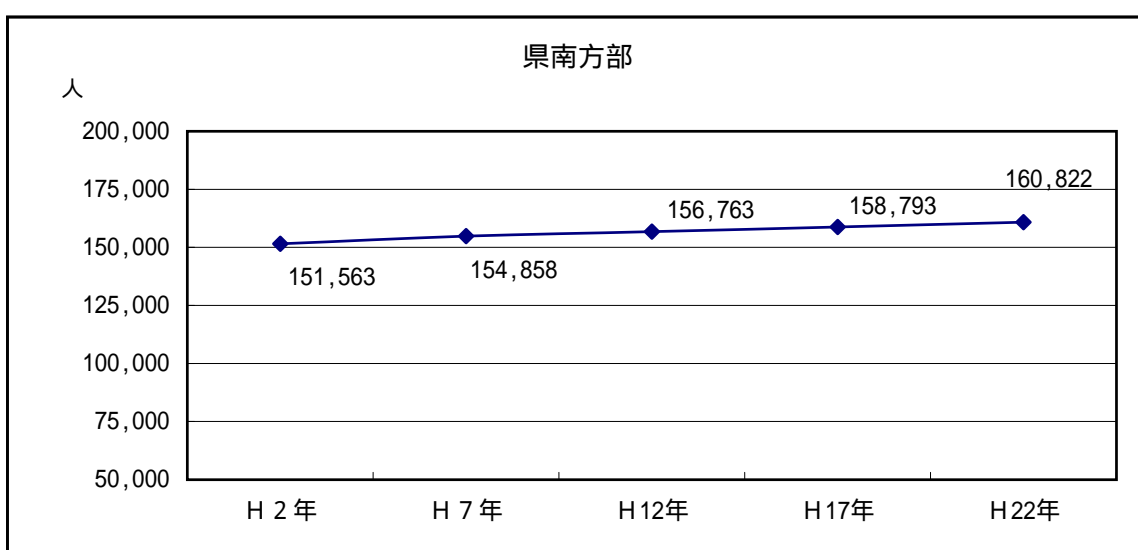
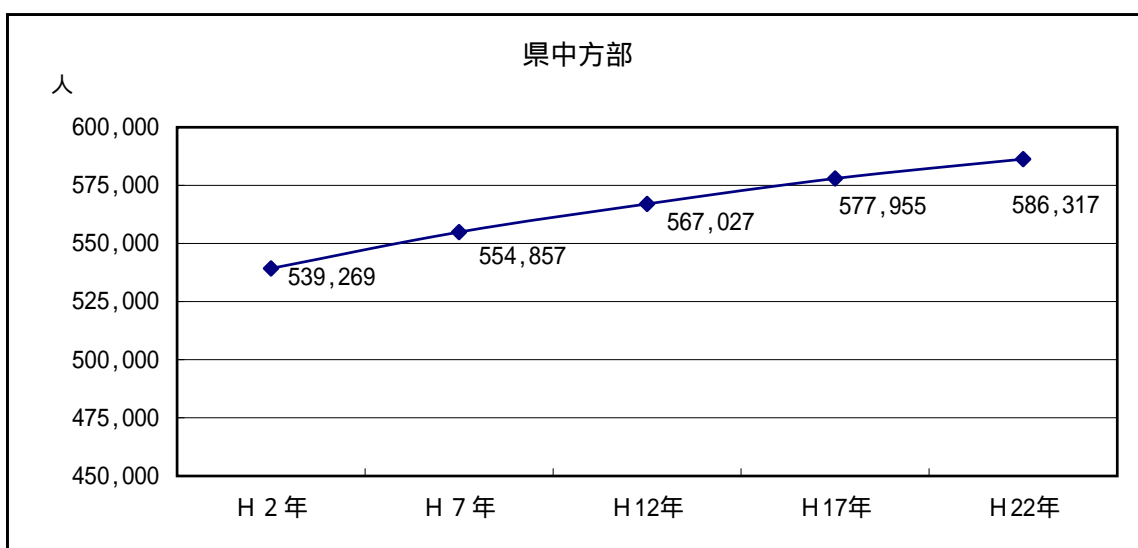
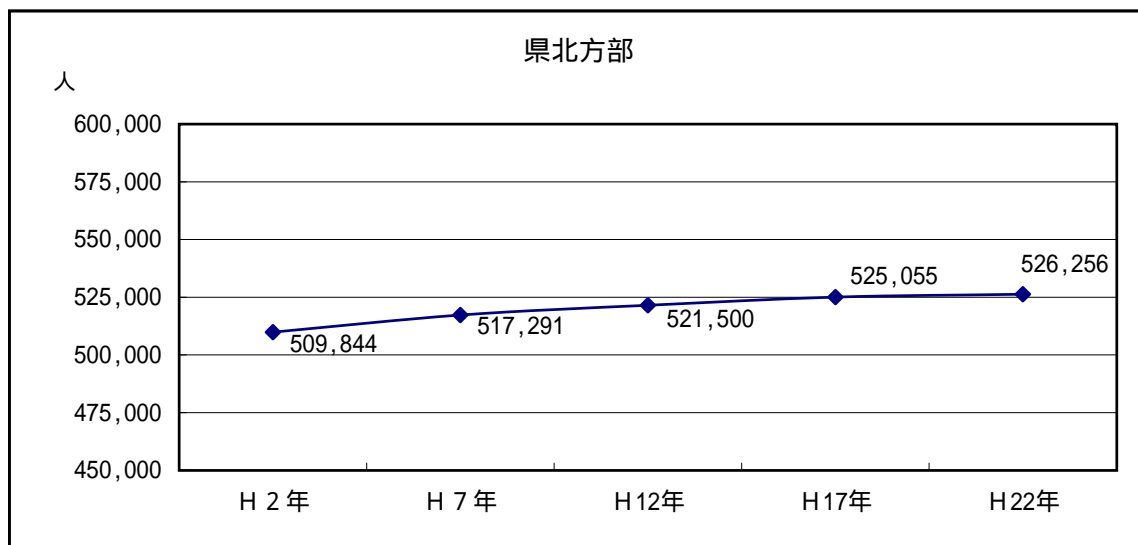


出所：福島県の将来推計人口（福島県統計調査課、平成10年3月）

注）本調査結果は、平成7年から平成10年までの人口移動が、将来にわたり継続することを前提に推計したものであり、平成12年度国勢調査結果とは整合していない。

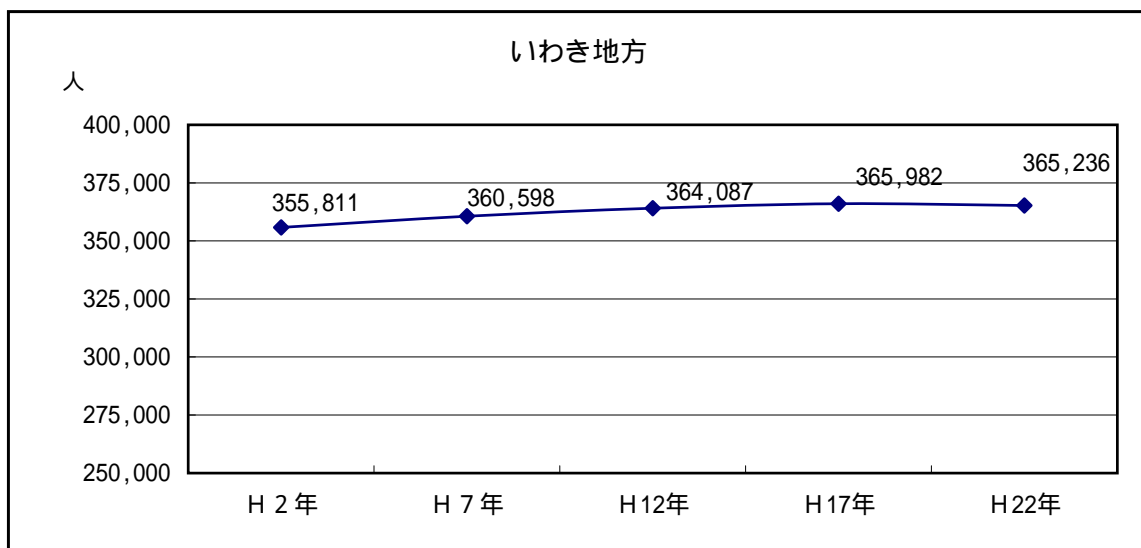
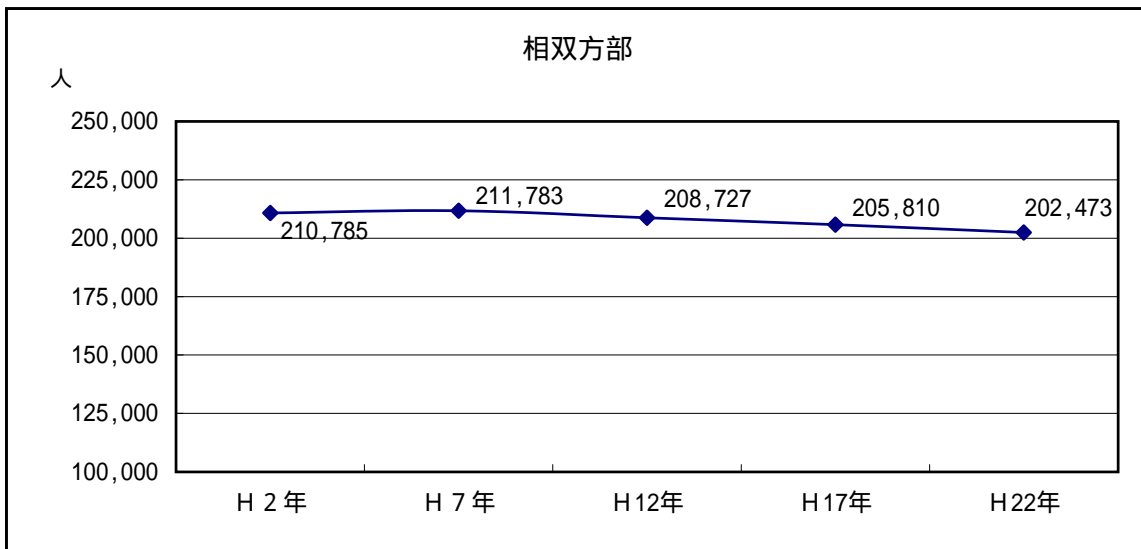
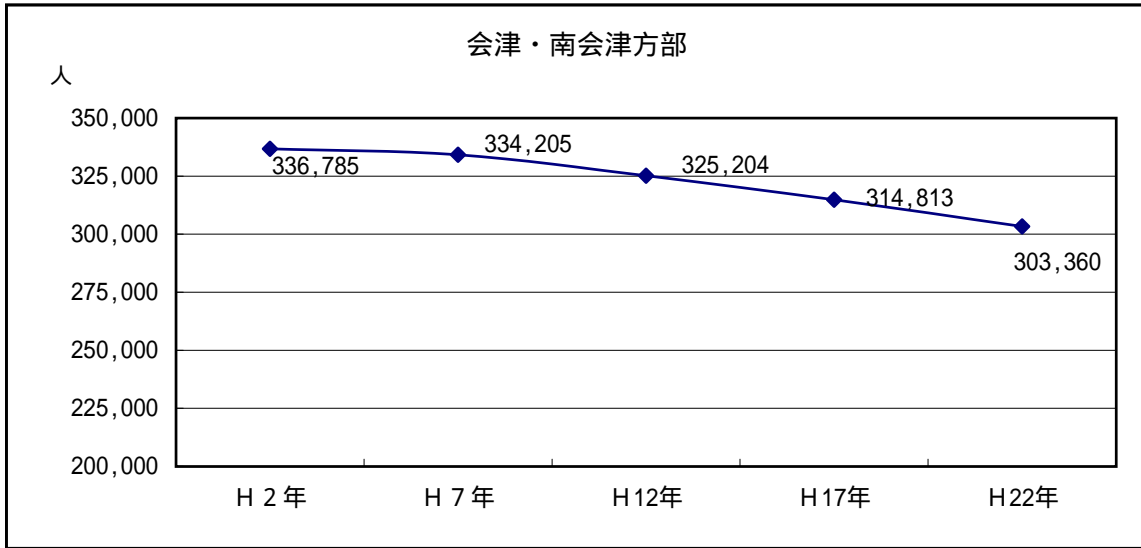


## 5 方部別将来推計人口



出所：福島県の将来推計人口（福島県統計調査課、平成10年3月）

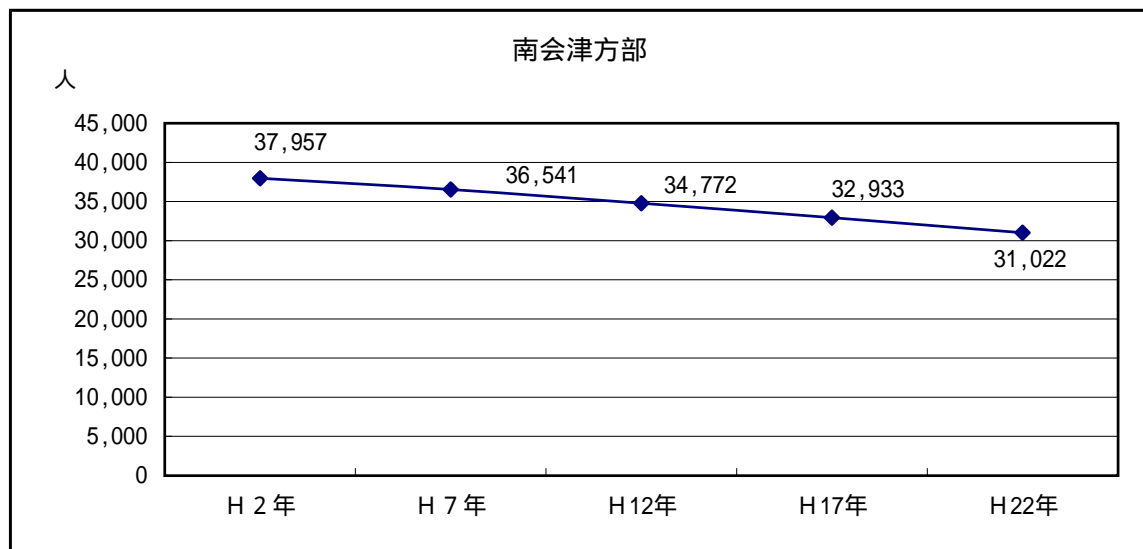
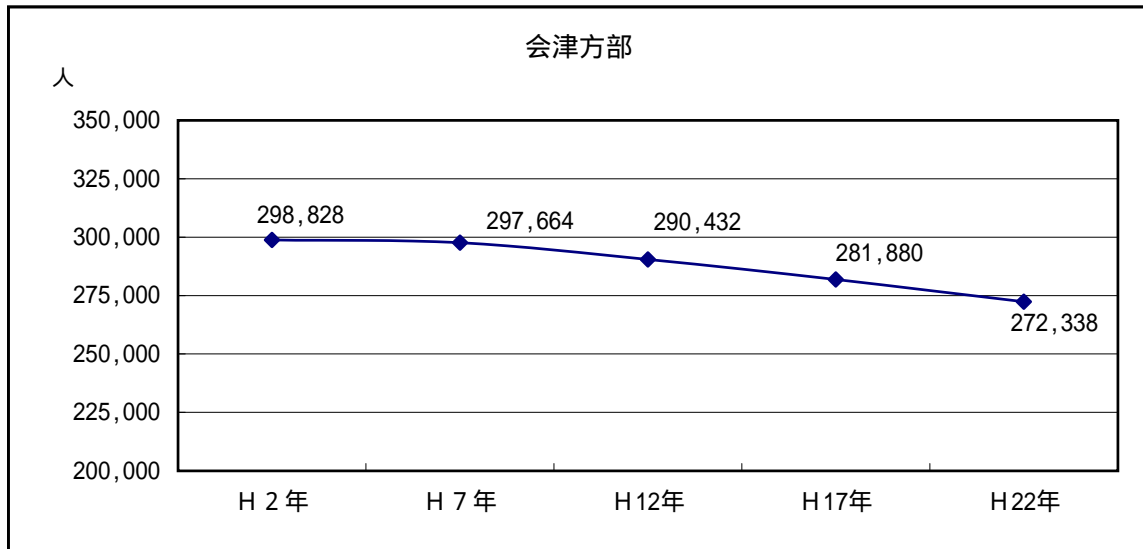
注）本調査結果は、平成7年から平成10年までの人口移動が、将来にわたって継続することを前提に推計したものであり、平成12年度国勢調査結果とは整合していない。



出所：福島県の将来推計人口（福島県統計調査課、平成10年3月）

注）本調査結果は、平成7年から平成10年までの人口移動が、将来にわたり継続することを前提に推計したものであり、平成12年度国勢調査結果とは整合していない。

(会津・南会津方部別将来推計人口)



出所：福島県の将来推計人口（福島県統計調査課、平成10年3月）

注）本調査結果は、平成7年から平成10年までの人口移動が、将来にわたり継続することを前提に推計したものであり、平成12年度国勢調査結果とは整合していない。

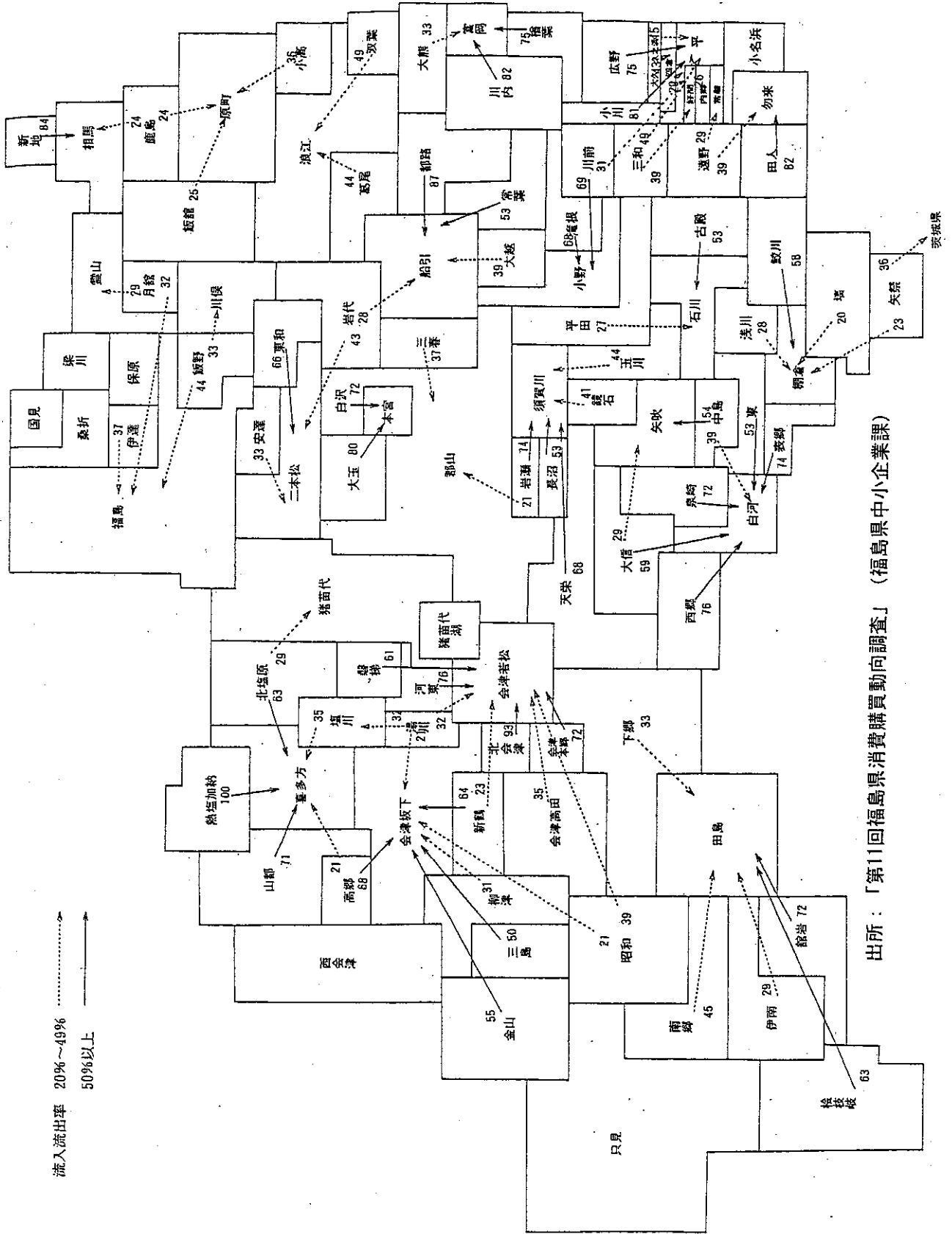








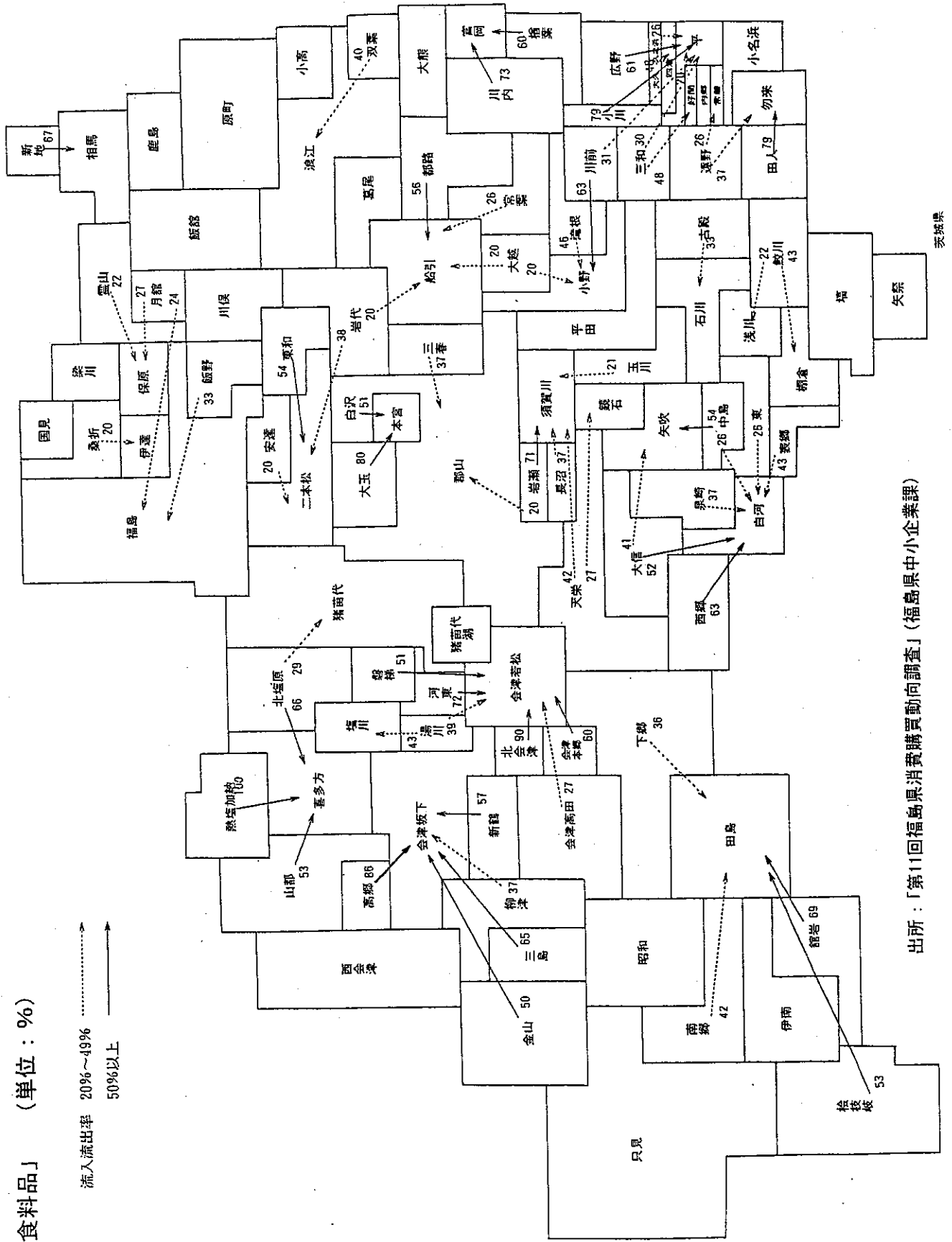
「日用品」 (単位：%)





「食料品」 (単位：%)

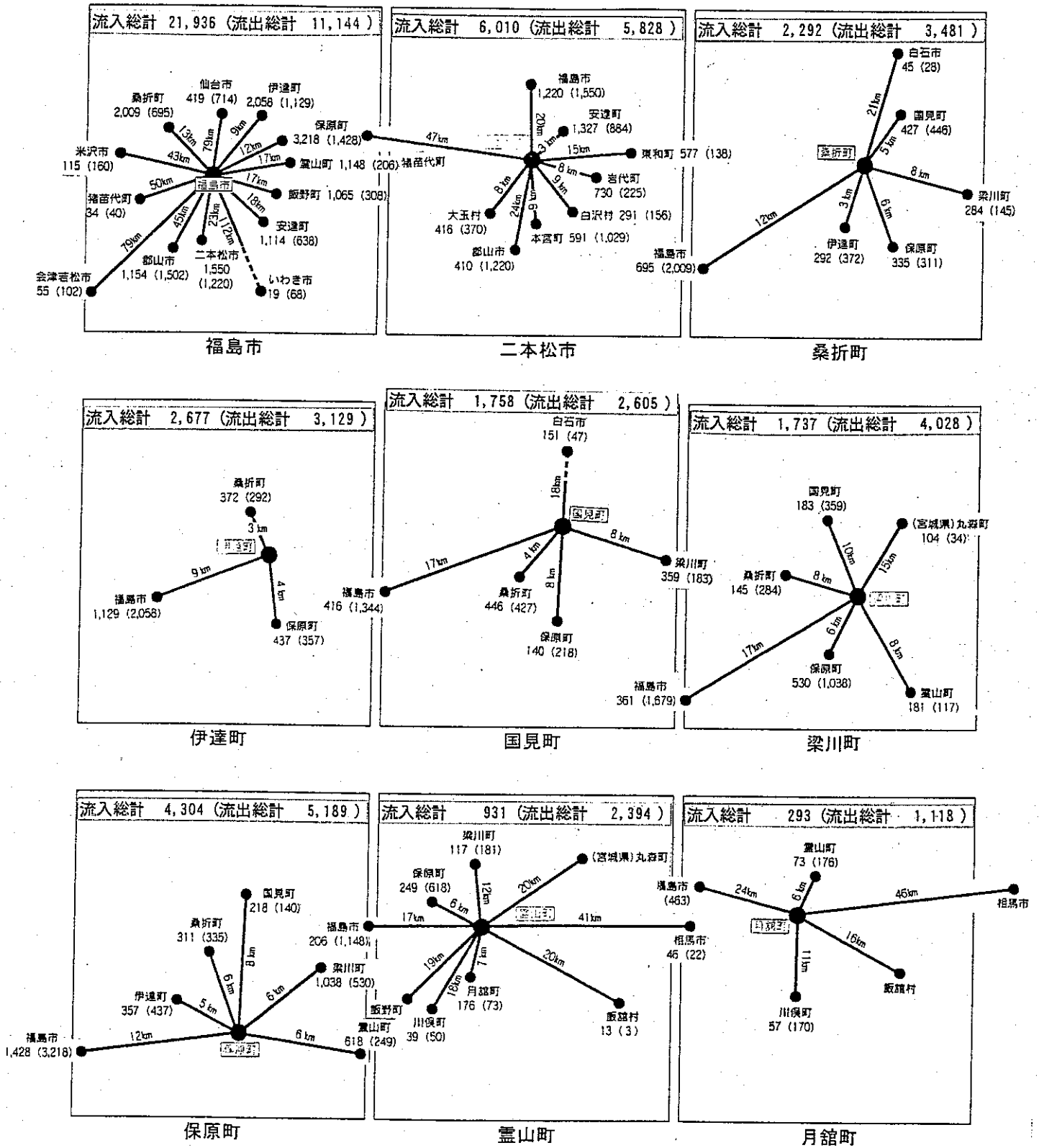
流入流出率 20%~49%  
50%以上



出所：「第11回福島県消費購買動向調査」(福島県中小企業課)

7 隣接市町村及び主要都市間距離・就業者数  
(県北方部)

単位：流入人口〔人〕、(流出人口〔人〕)

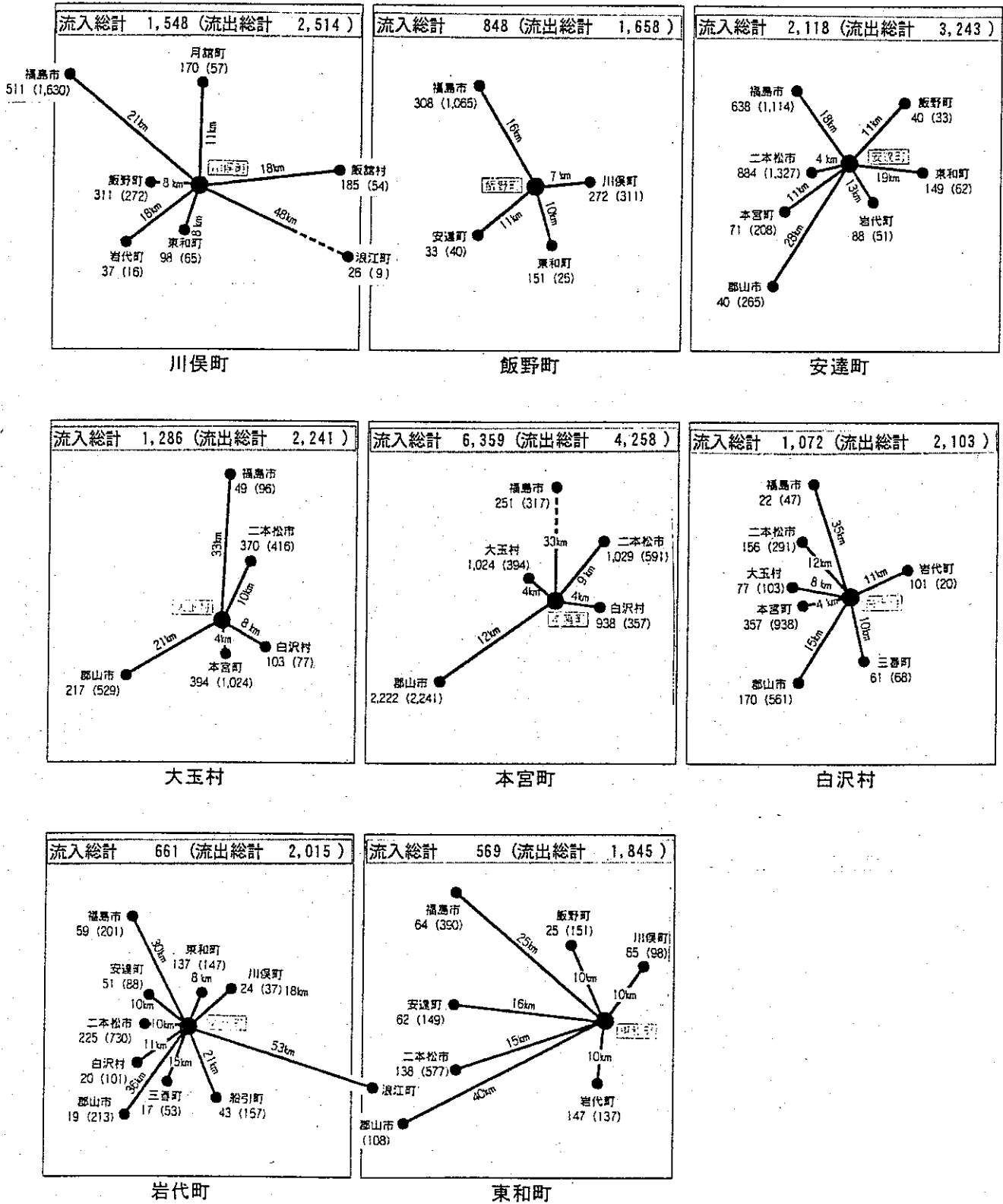


出所：「平成11年度版福島県市町村経済総覧」((財)福島経済研究所)

平成7年国勢調査報告「常住地による従業・通学市区町村別15歳以上就業者数及び15歳以上通学者数」から15歳以上就業者数により作成したもの。

(県北方部)

単位：流入人口〔人〕、(流出口口〔人〕)



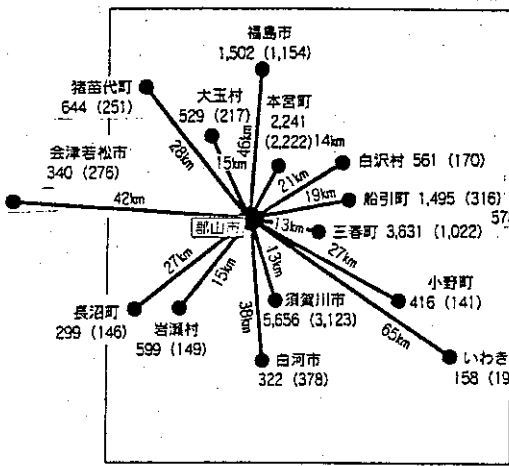
出所：「平成11年度版福島県市町村経済総覧」((財)福島経済研究所)

平成7年国勢調査報告「常住地による従業・通学区市区町村別15歳以上就業者数及び15歳以上通学者数」から15歳以上就業者数により作成したもの。

(県中南部)

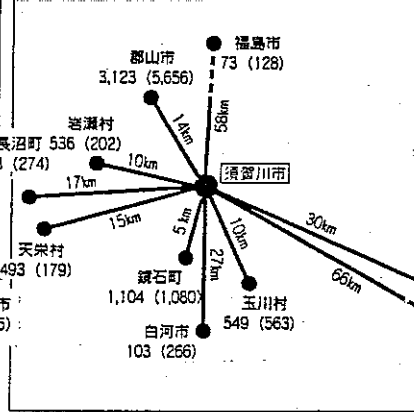
単位：流入人口〔人〕、(流出人口〔人〕)

流入総計 25,419 (流出総計 12,927)



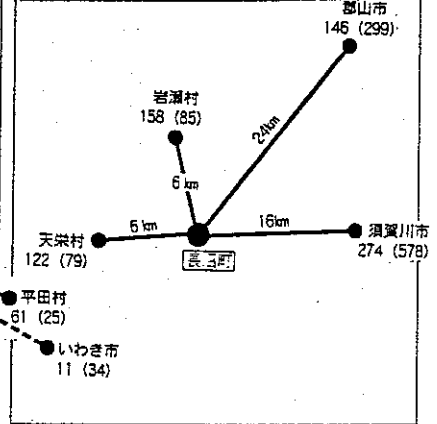
郡山市

流入総計 8,049 (流出総計 9,794)



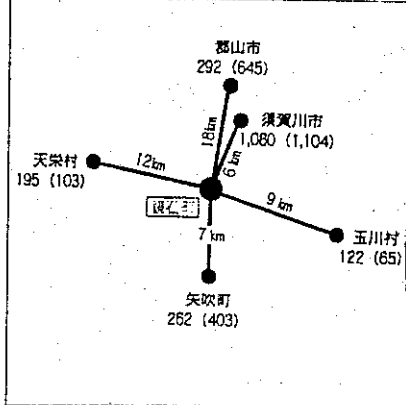
須賀川市

流入総計 798 (流出総計 1,257)



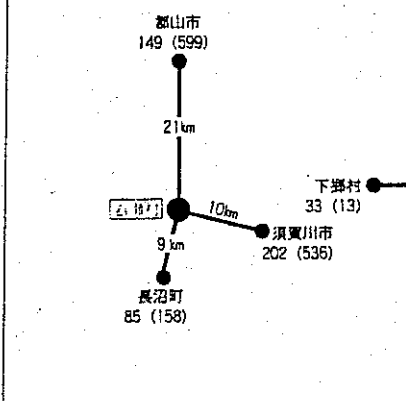
長沼町

流入総計 2,360 (流出総計 2,787)



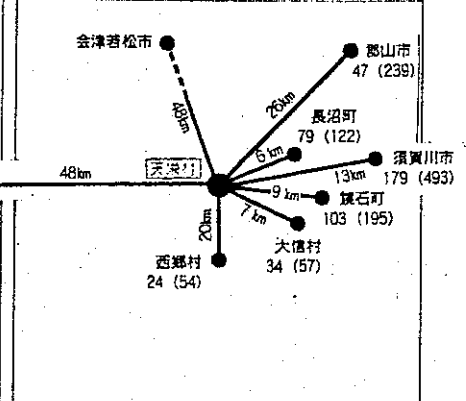
鏡石町

流入総計 535 (流出総計 1,489)



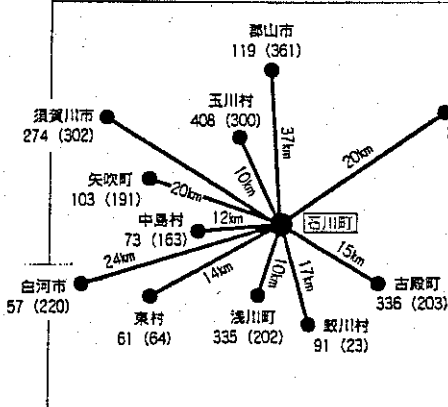
岩瀬村

流入総計 672 (流出総計 1,580)



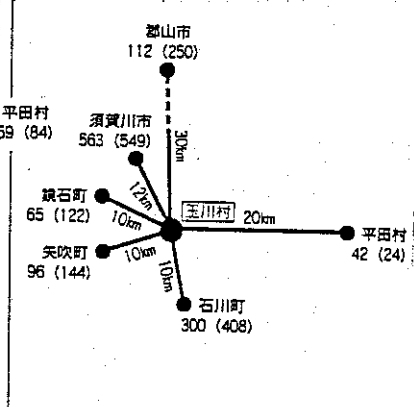
天栄村

流入総計 2,457 (流出総計 2,609)



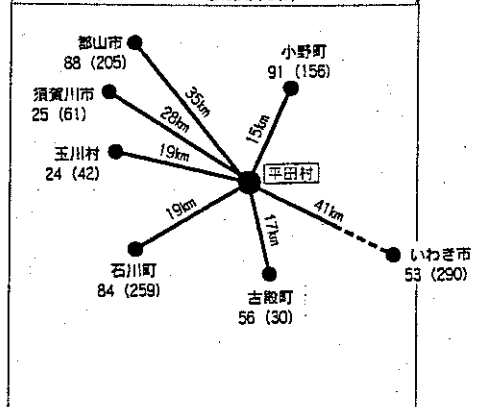
石川町

流入総計 1,350 (流出総計 1,654)



玉川村

流入総計 479 (流出総計 1,157)



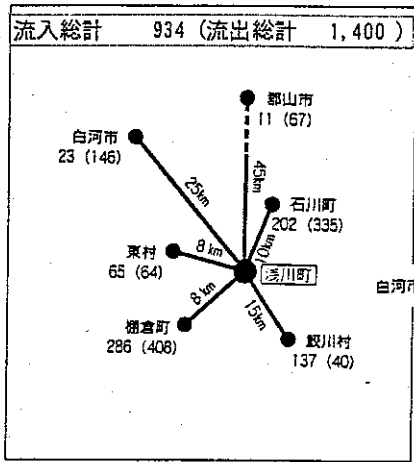
平田村

出所：「平成11年度版福島県市町村経済総覧」((財)福島経済研究所)

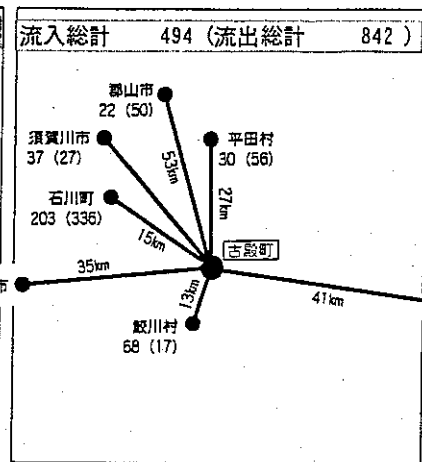
平成7年国勢調査報告「常住地による従業・通学市区町村別15歳以上就業者数及び15歳以上通学者数」から15歳以上就業者数により作成したもの。

(県中南部)

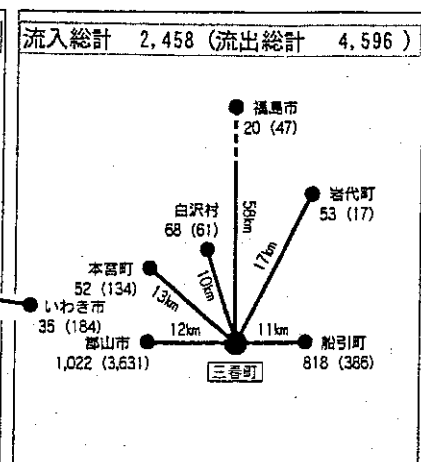
単位：流入人口〔人〕、(流出口口〔人〕)



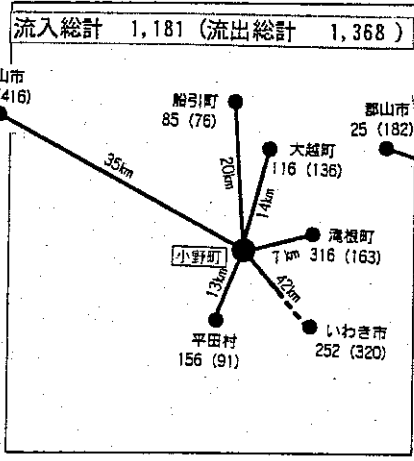
浅川町



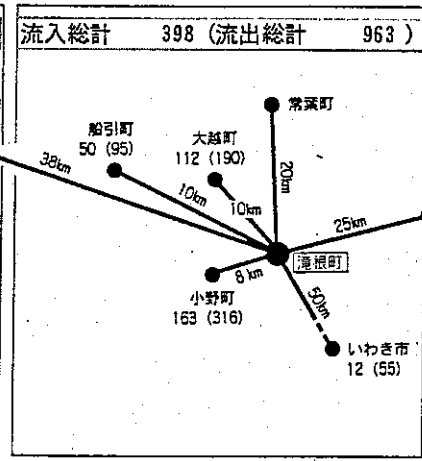
古殿町



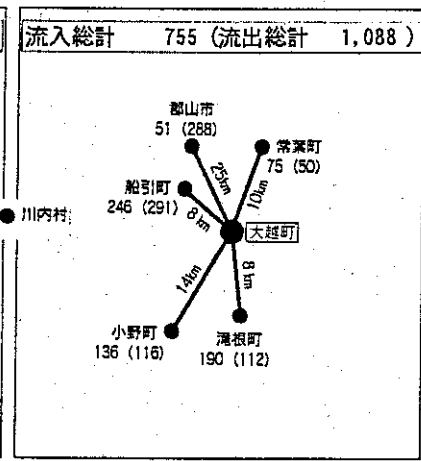
三春町



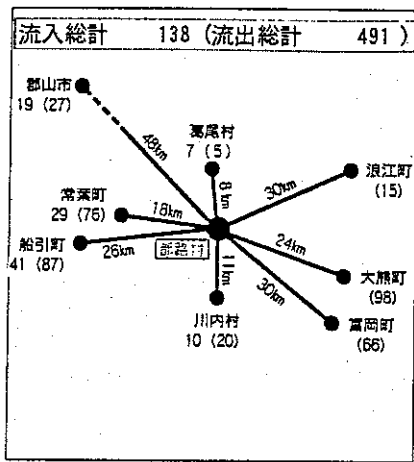
小野町



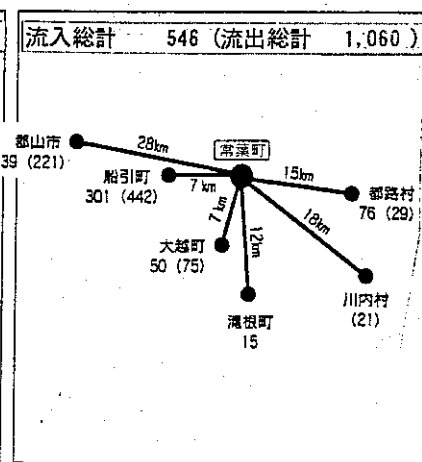
滝根町



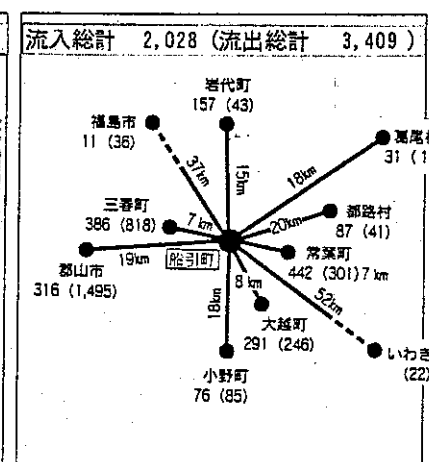
大越町



都路村



常葉町



船引町

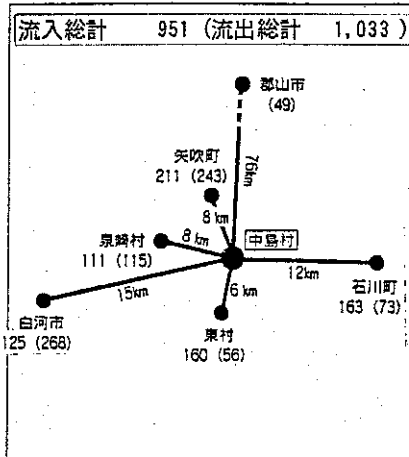
出所：「平成11年度版福島県市町村経済総覧」((財)福島経済研究所)

平成7年国勢調査報告「常住地による従業・通学市区町村別15歳以上就業者数及び15歳以上通学者数」から15歳以上就業者数により作成したもの。

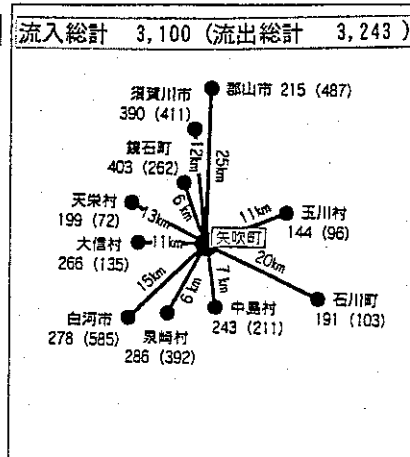


(県南方部)

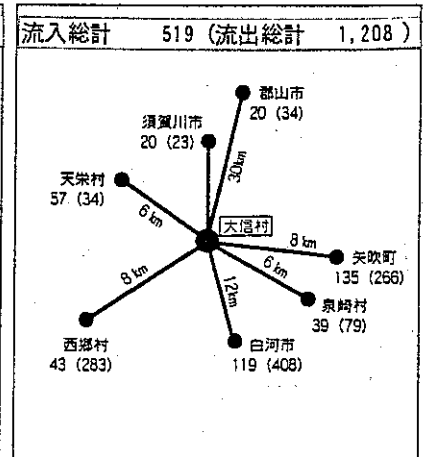
単位：流入人口〔人〕、(流出口口〔人〕)



中島村



矢吹町



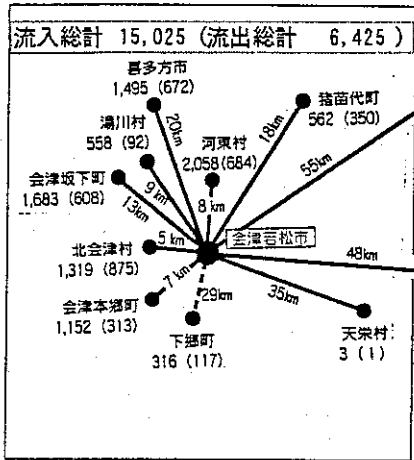
大信村

出所：「平成11年度版福島県市町村経済総覧」((財)福島経済研究所)

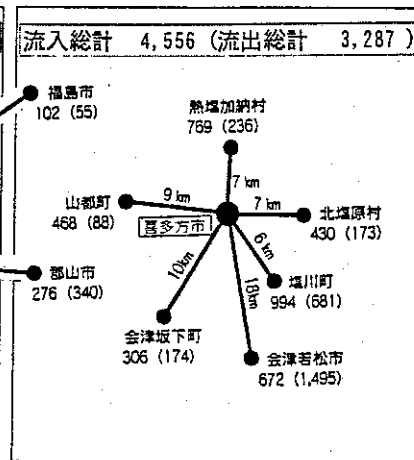
平成7年国勢調査報告「常住地による従業・通学市区町村別15歳以上就業者数及び15歳以上通学者数」から15歳以上就業者数により作成したもの。

(会津・南会津方部)

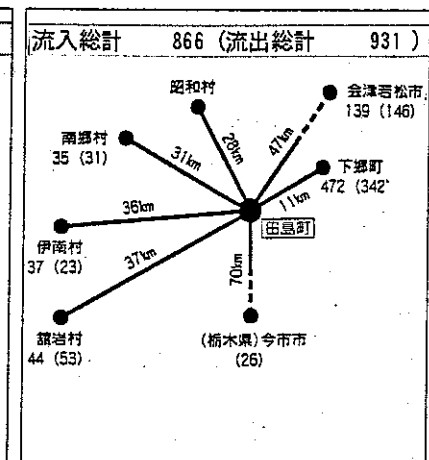
単位：流入人口〔人〕、(流出人口〔人〕)



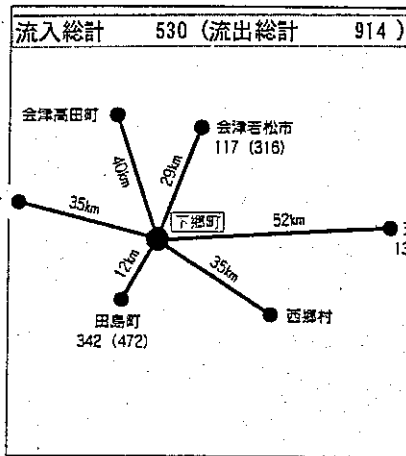
会津若松市



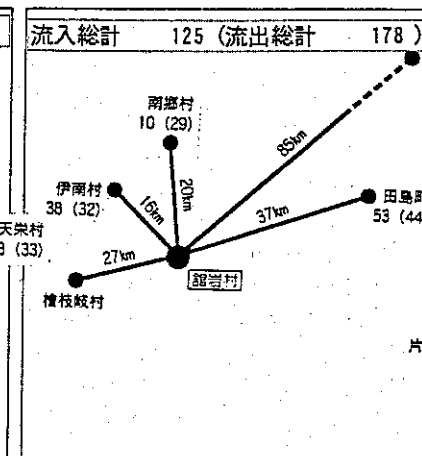
喜多方市



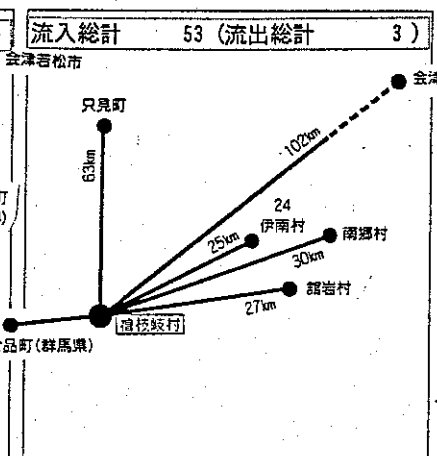
田島町



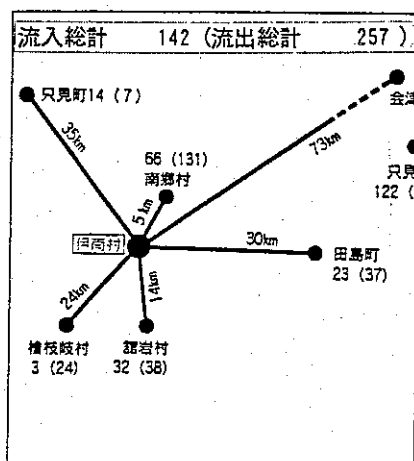
下郷町



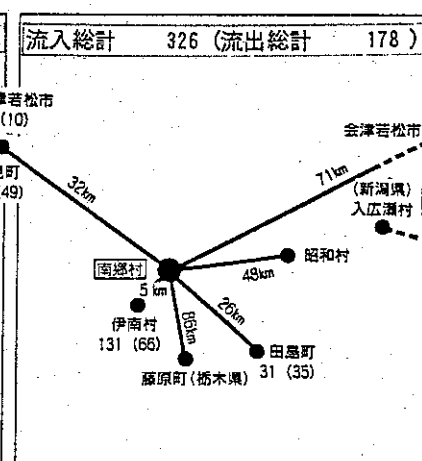
鏡岩村



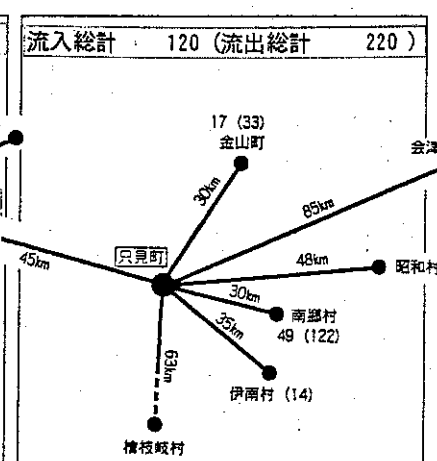
遺枝岐村



伊南村



南郷村



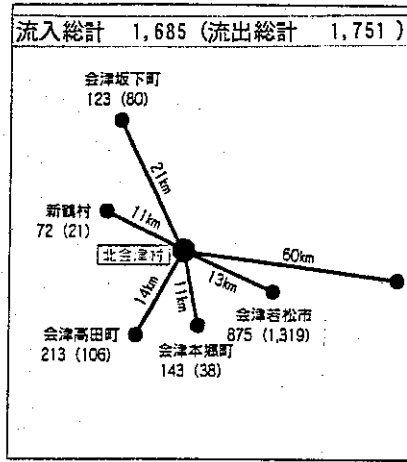
只見町

出所：「平成11年度版福島県市町村経済総覧」((財)福島経済研究所)

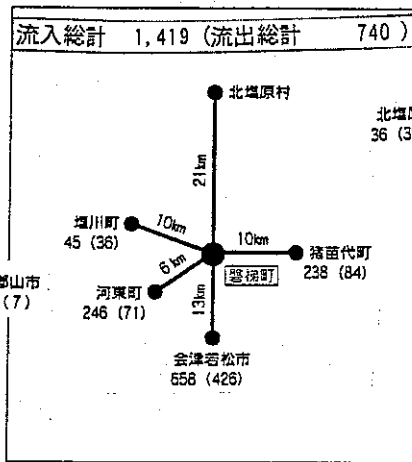
平成7年国勢調査報告「常住地による従業・通学市区町村別15歳以上就業者数及び15歳以上通学者数」から15歳以上就業者数により作成したもの。



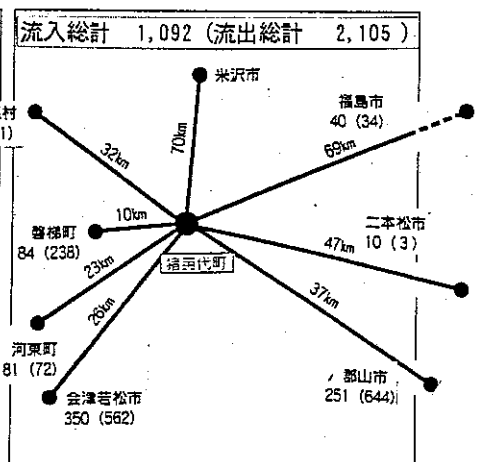
単位：流入人口〔人〕、(流出人口〔人〕)



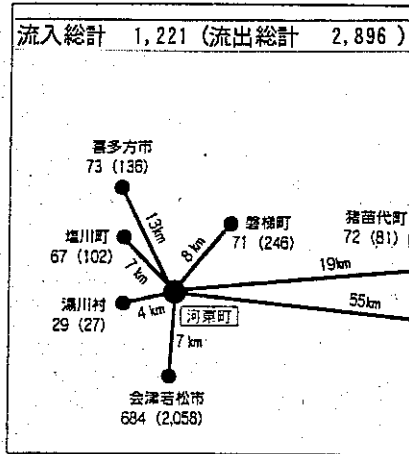
北会津村



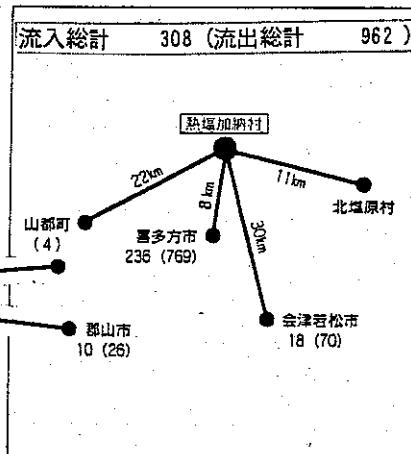
磐梯町



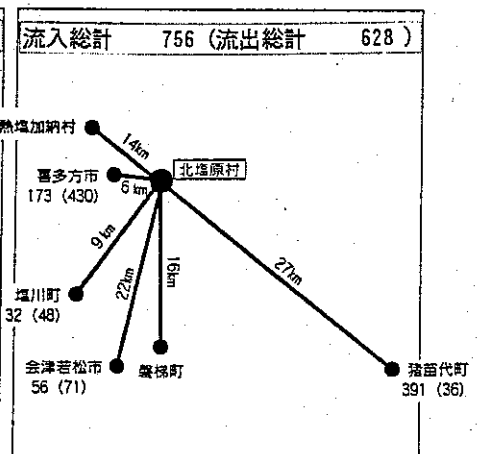
猪苗代町



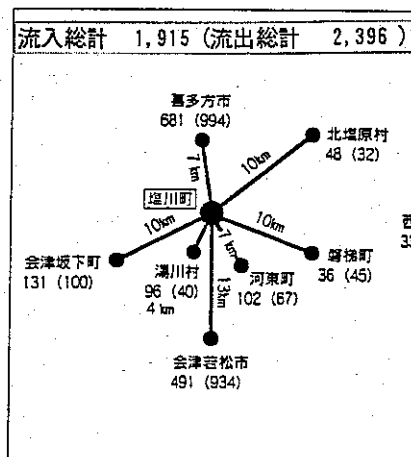
河東町



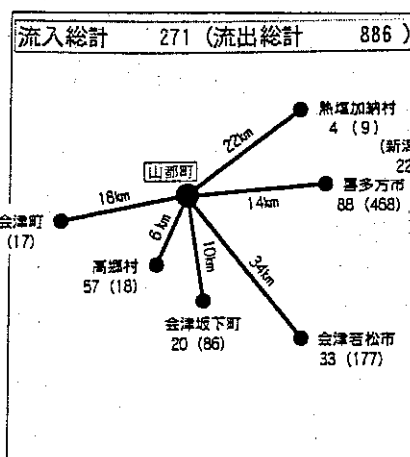
熱塩加納村



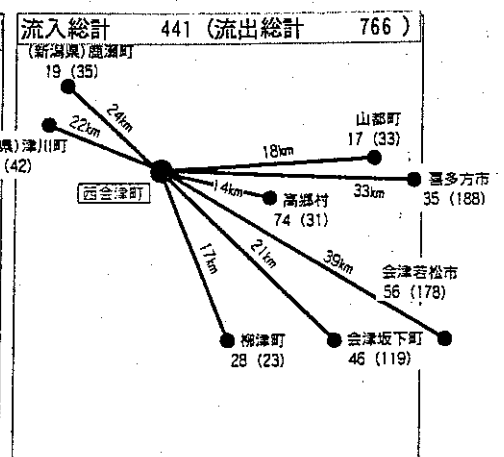
北塩原村



塩川町



山都町



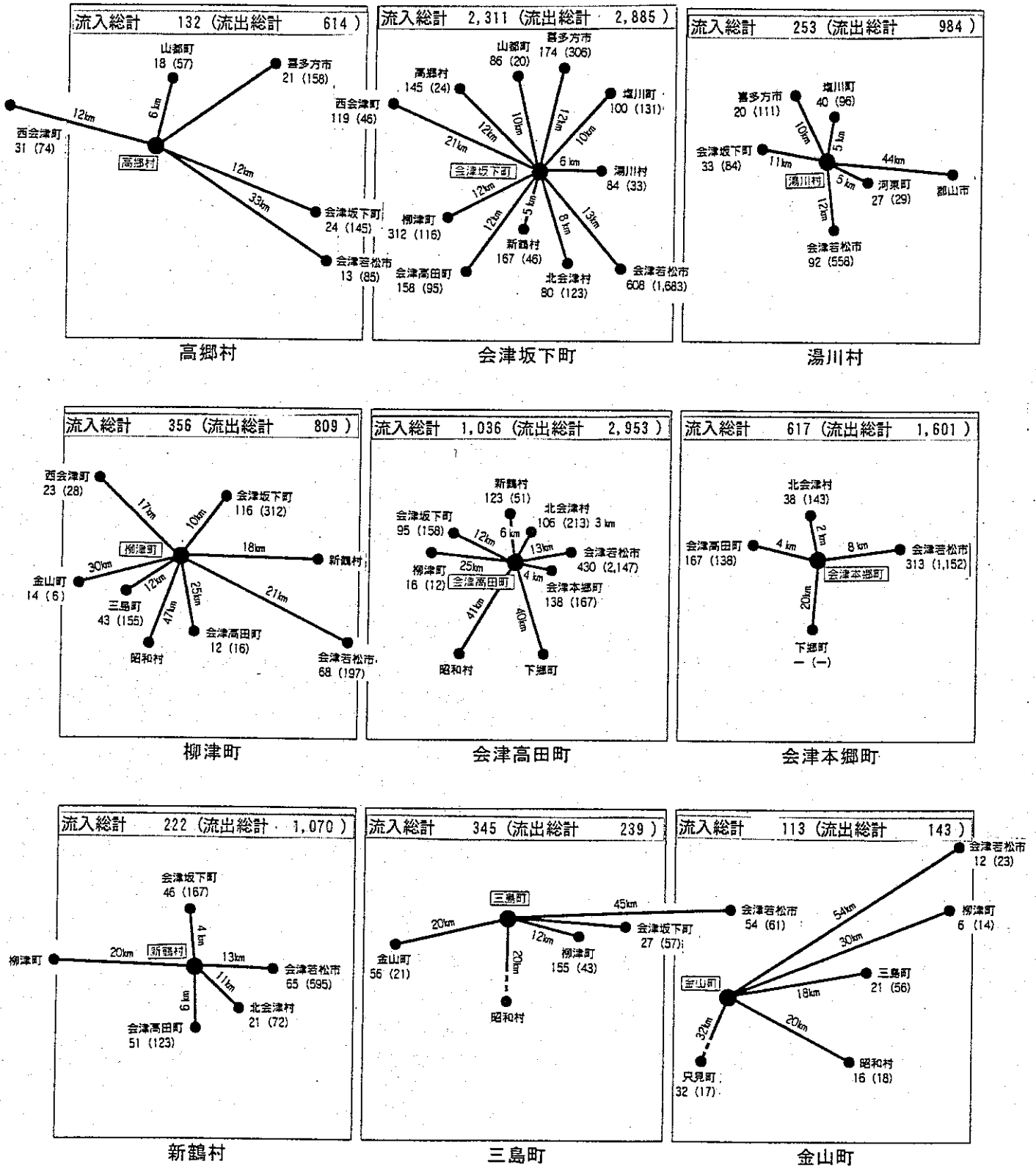
西会津町

出所：「平成11年度版福島県市町村経済総覧」((財)福島経済研究所)

平成7年国勢調査報告「常住地による従業・通学市区町村別15歳以上就業者数及び15歳以上通学者数」から15歳以上就業者数により作成したもの。

(会津・南会津方部)

単位：流入人口〔人〕、(流出人口〔人〕)

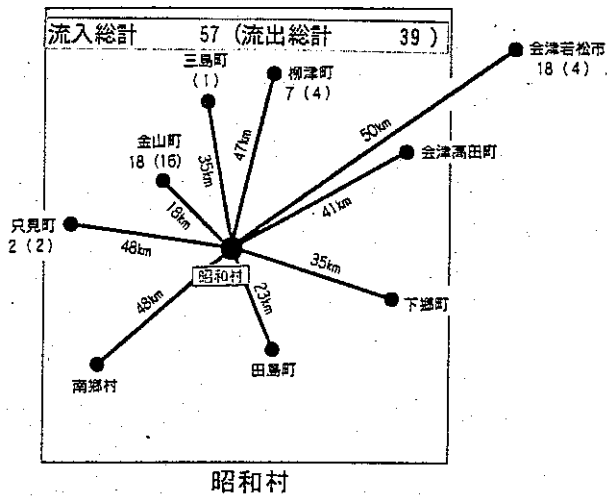


出所：「平成11年度版福島県市町村経済総覧」((財)福島経済研究所)

平成7年国勢調査報告「常住地による従業・通学市区町村別15歳以上就業者数及び15歳以上通学者数」から15歳以上就業者数により作成したもの。

(会津・南会津方部)

単位：流入人口〔人〕、(流出人口〔人〕)

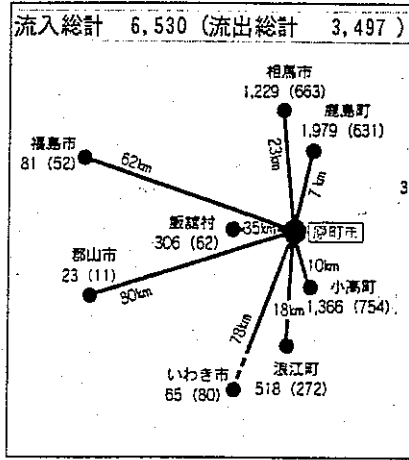


出所：「平成11年度版福島県市町村経済総覧」((財)福島経済研究所)

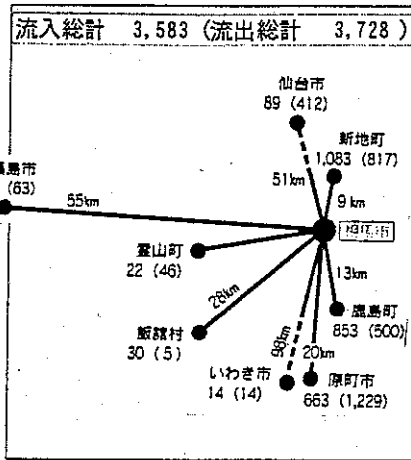
平成7年国勢調査報告「常住地による従業・通学市区町村別15歳以上就業者数及び15歳以上通学者数」から15歳以上就業者数により作成したもの。

(相双・いわき方面)

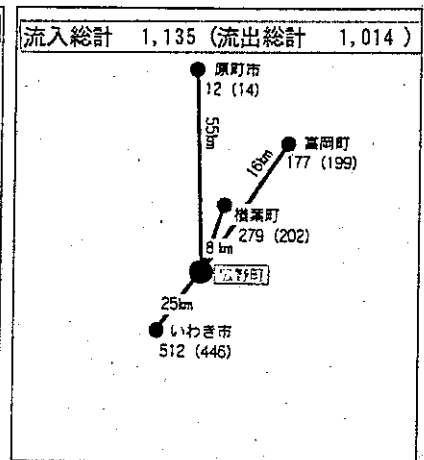
単位：流入人口〔人〕、(流出口口〔人〕)



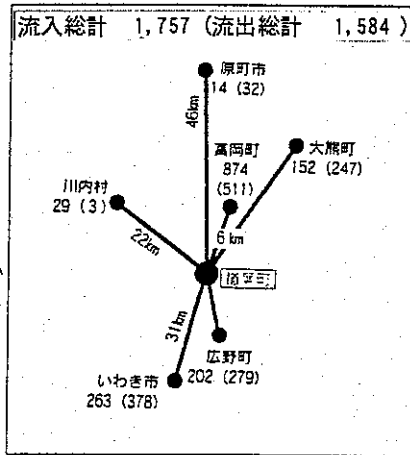
原町市



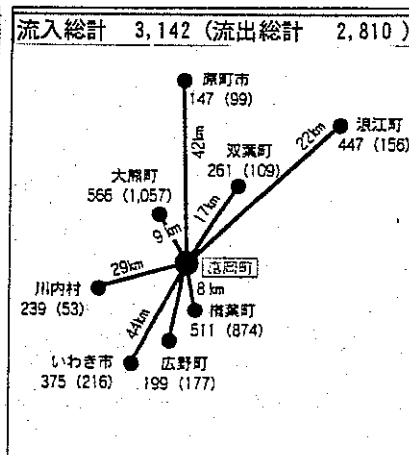
相馬市



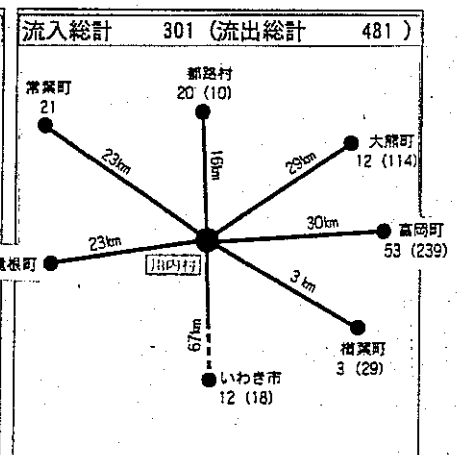
広野町



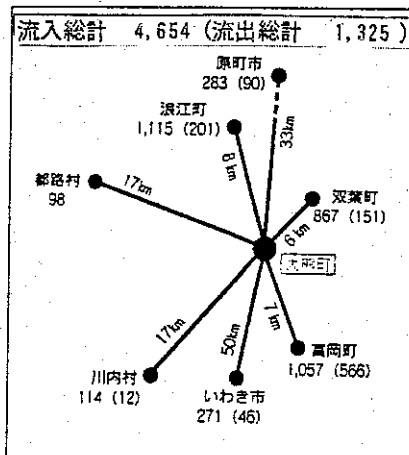
槻葉町



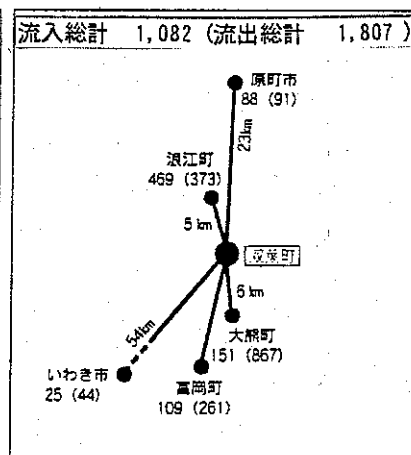
富岡町



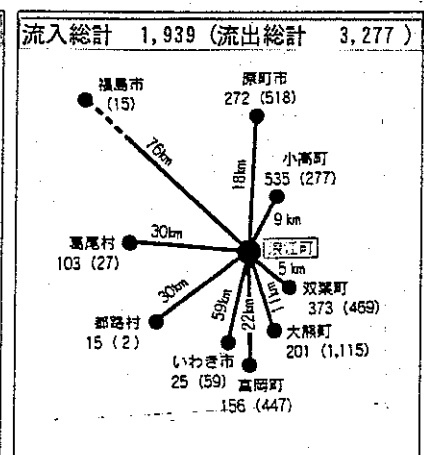
川内村



大熊町



双葉町



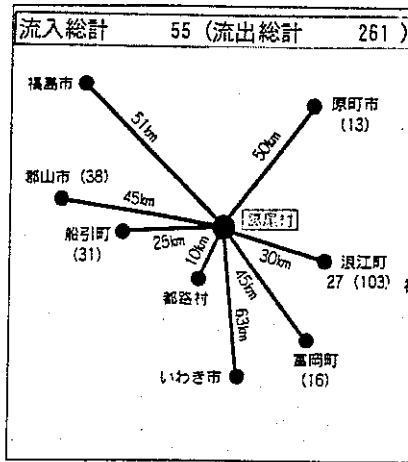
浪江町

出所：「平成11年度版福島県市町村経済総覧」((財) 福島経済研究所)

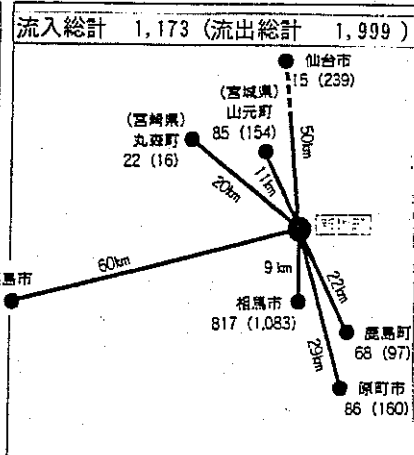
平成7年国勢調査報告「常住地による従業・通学区市区町村別15歳以上就業者数及び15歳以上通学者数」から15歳以上就業者数により作成したもの。

(相双・いわき方部)

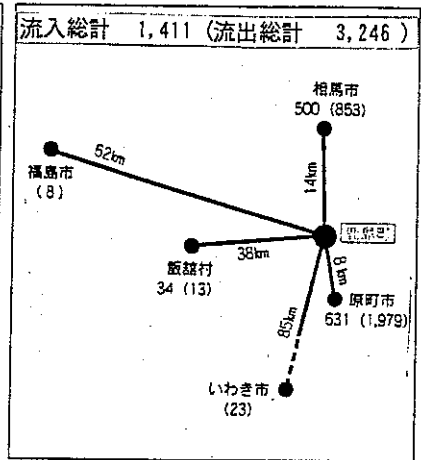
単位：流入人口〔人〕、(流出人口〔人〕)



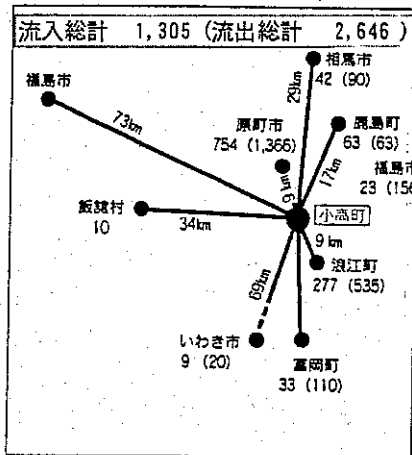
葛尾村



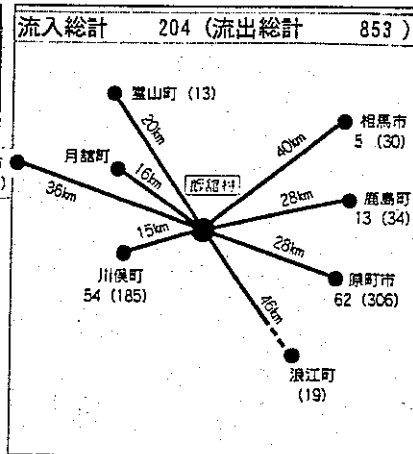
新地町



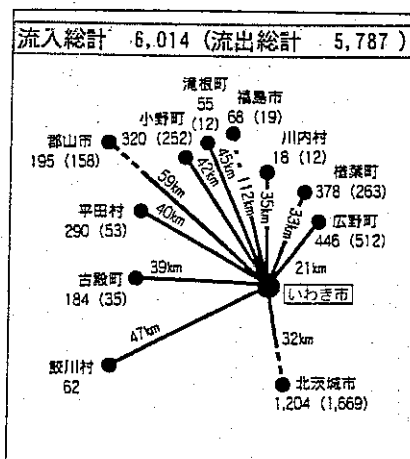
鹿島町



小高町



飯館村

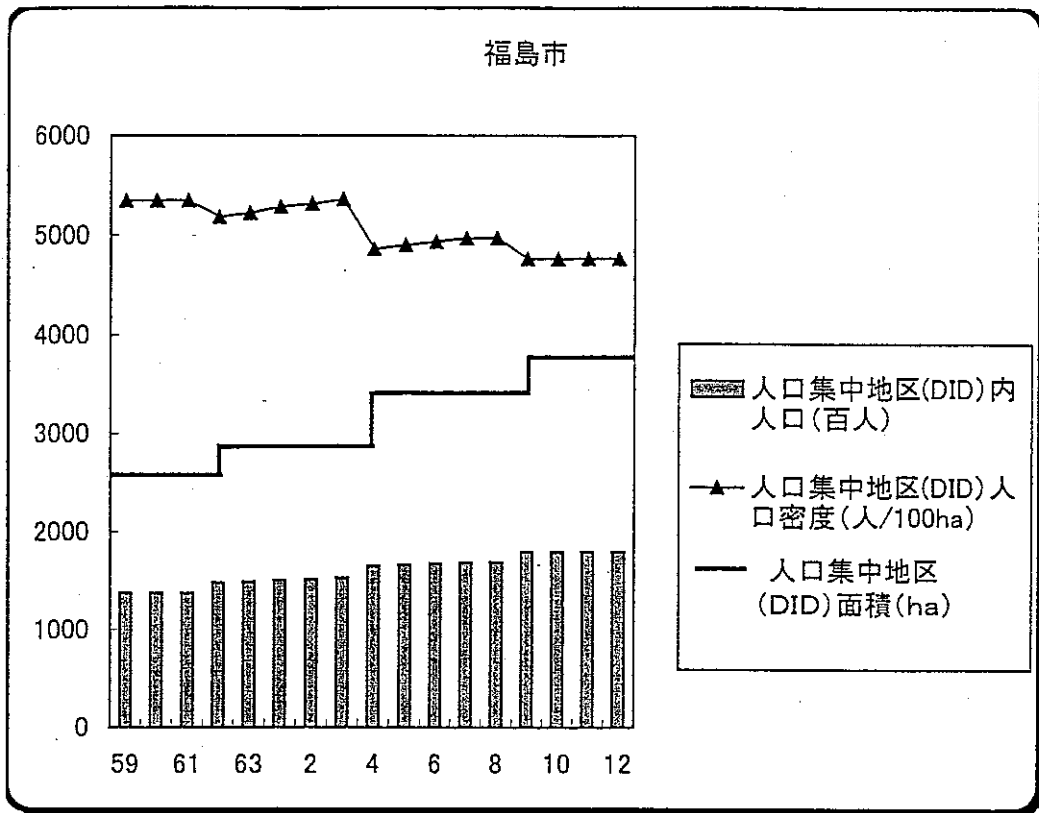


いわき市

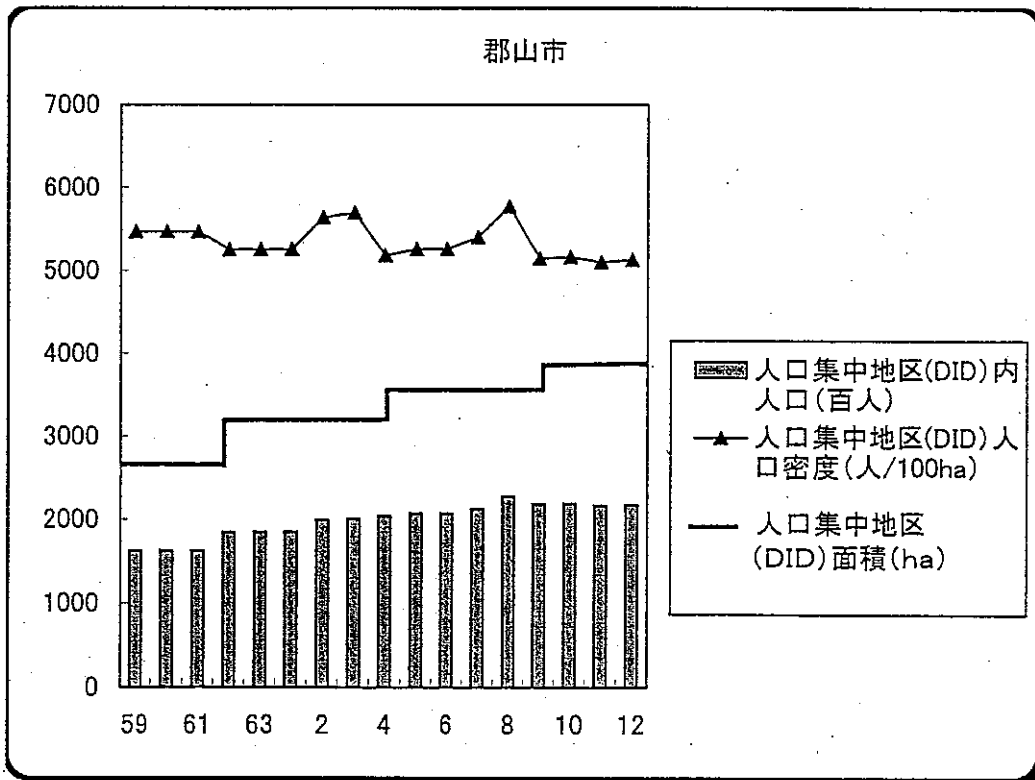
出所：「平成11年度版福島県市町村経済総覧」((財)福島経済研究所)

平成7年国勢調査報告「常住地による従業・通学市区町村別15歳以上就業者数及び15歳以上通学者数」から15歳以上就業者数により作成したもの。

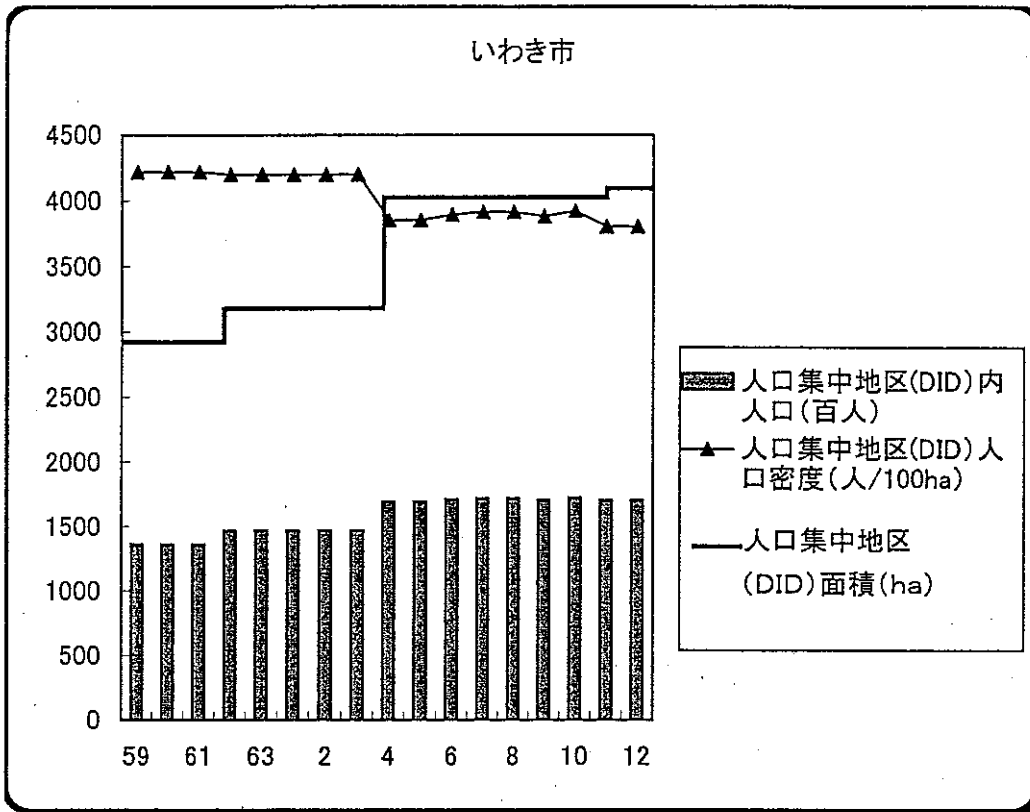
8 県内4市DID地区人口・人口密度・面積の推移



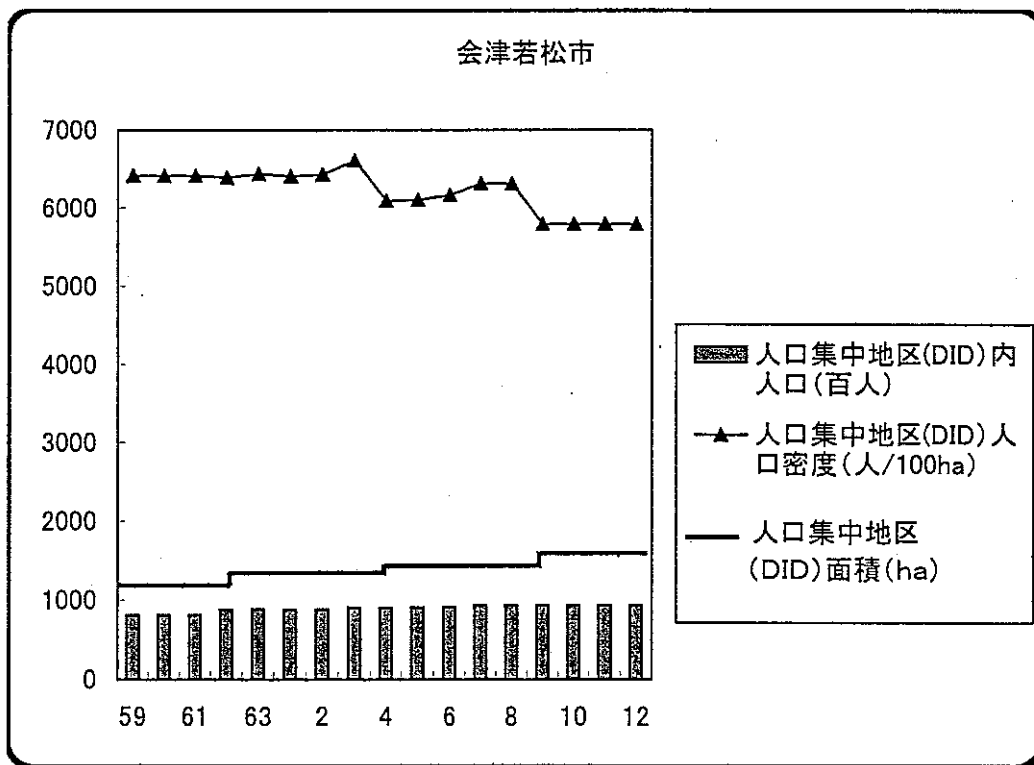
人口集中地区(DID)内の人口は緩やかに増加しているが、面積の段階的な増加に伴い、人口密度は減少傾向を示している。



人口集中地区(DID)内の人口の緩やかな増加と、面積の段階的な増加により、人口密度は増減を繰り返している。

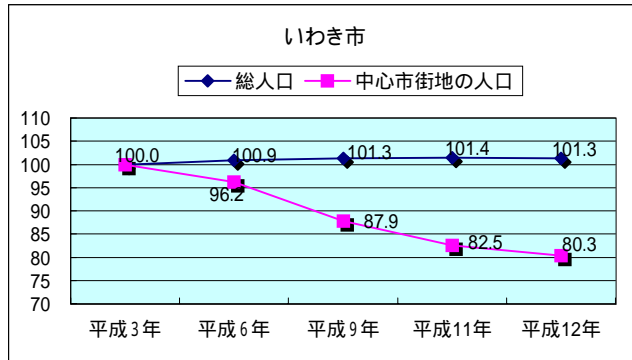
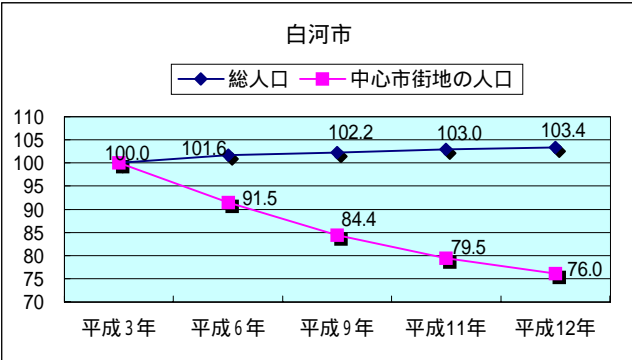
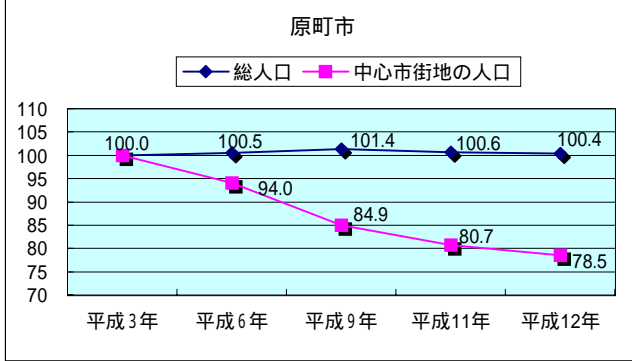
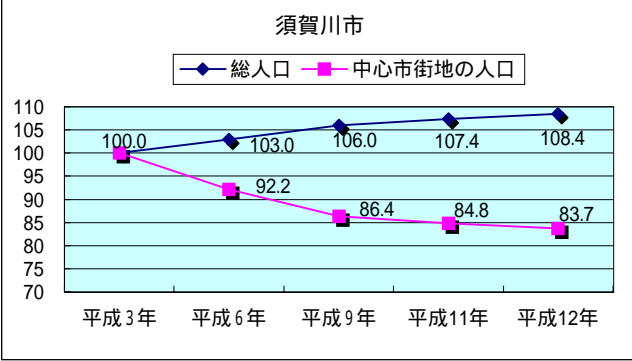
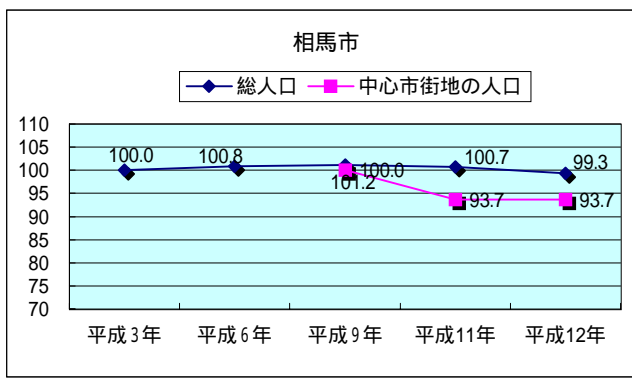
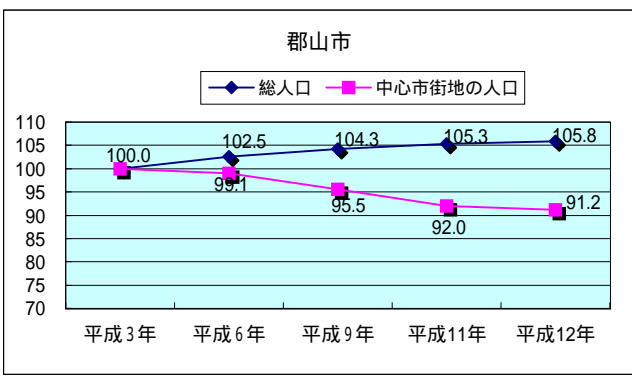
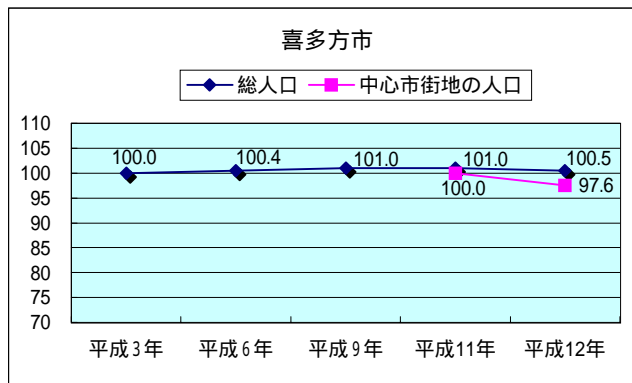
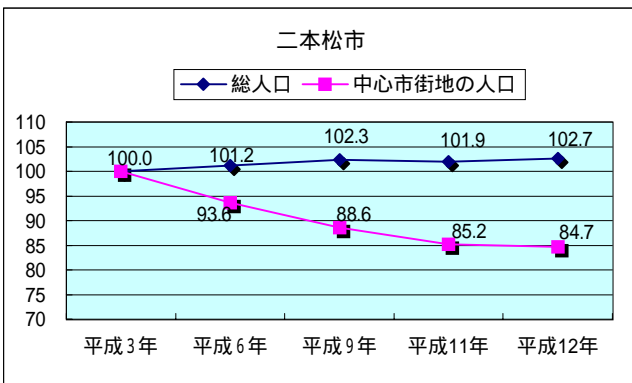
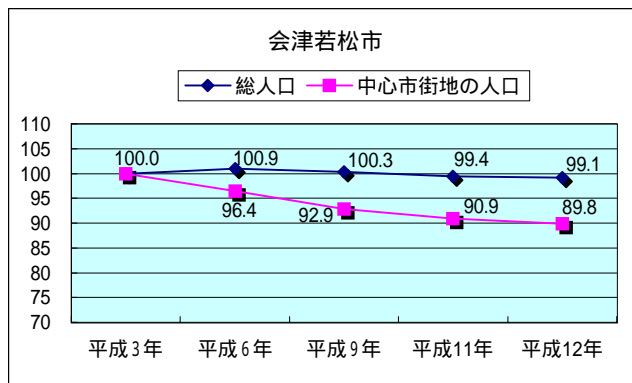
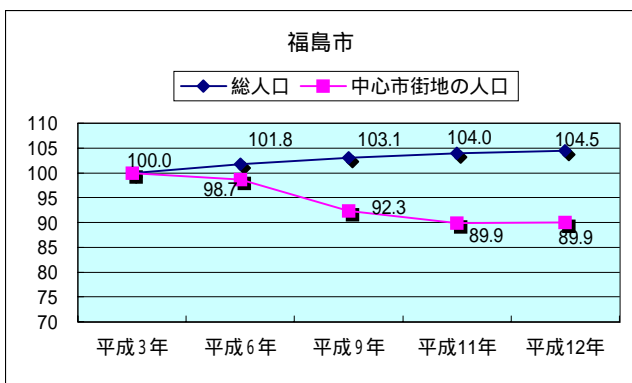


人口集中地区(DID)内の人口は、近年ほぼ横ばいであるが、面積の段階的な増加に伴い、人口密度は減少傾向を示している。



人口集中地区(DID)内の人口は、ほぼ横ばいであるが、面積の緩やかな増加に伴い、人口密度は段階的に減少傾向を示している。

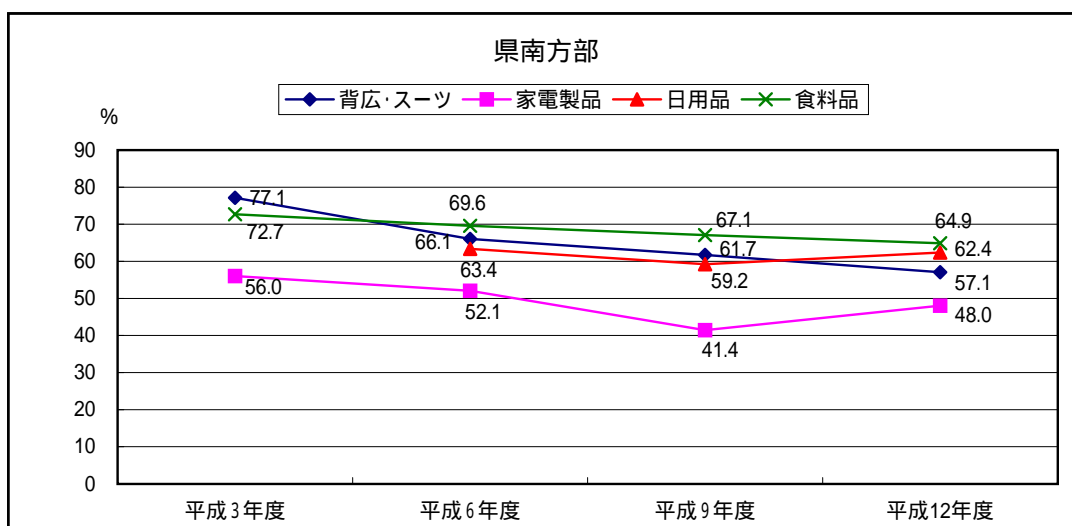
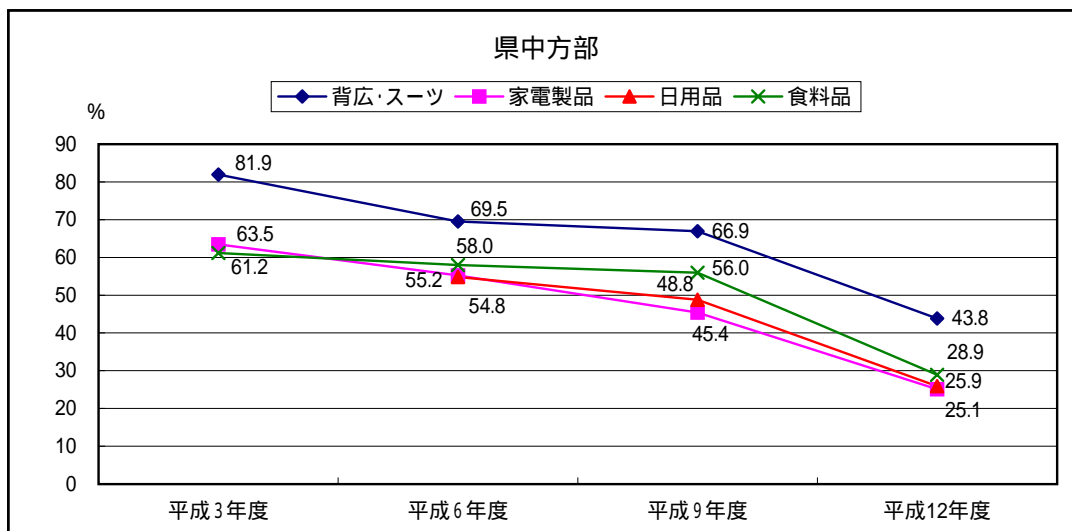
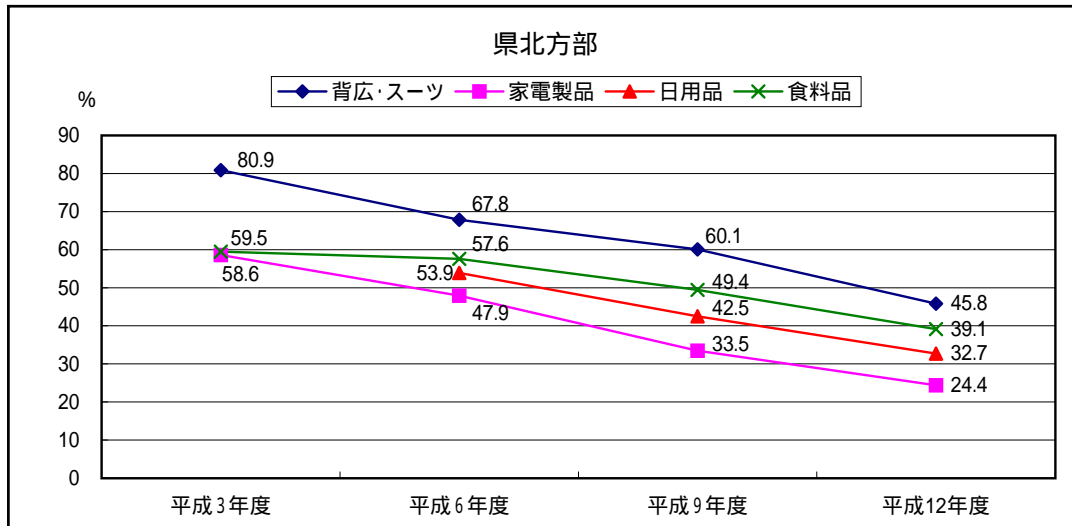
## 9 県内10市の人口推移(平成3年を100とする比較)



注) 喜多方市、相馬市の中心市街地の人口における空欄は保存データの関係(データ初年度を100として算出)  
 注) 中心市街地: 駅前を中心として発展してきた旧来からの市街地で、概ね都市計画法上の用途地域として「商業地域」に指定されている区域。ただし、郡山市については、郡山駅周辺の「商業地域」に、その西側の「隣接商業地」の一部を加えた区域。



## 10. 方部別中心商業地購買割合

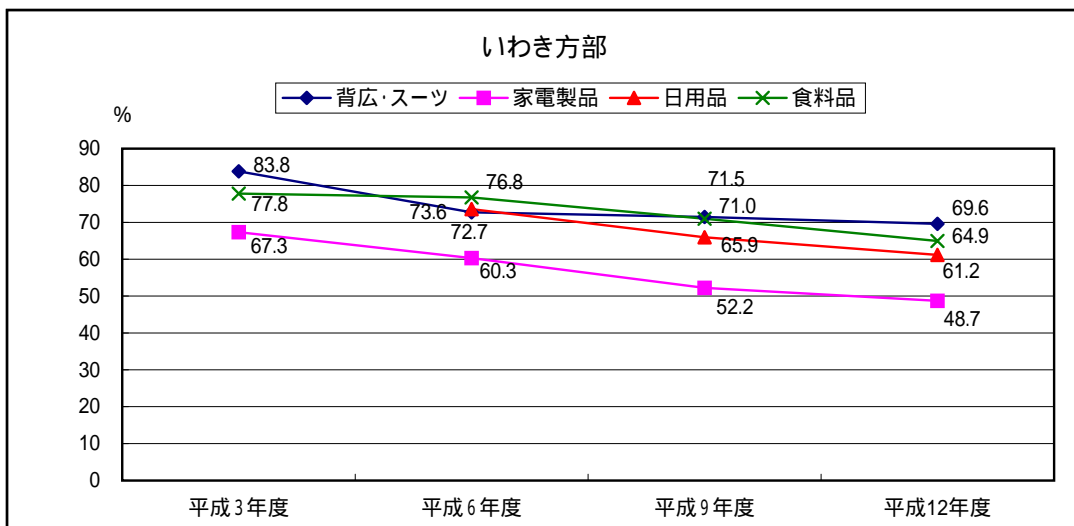
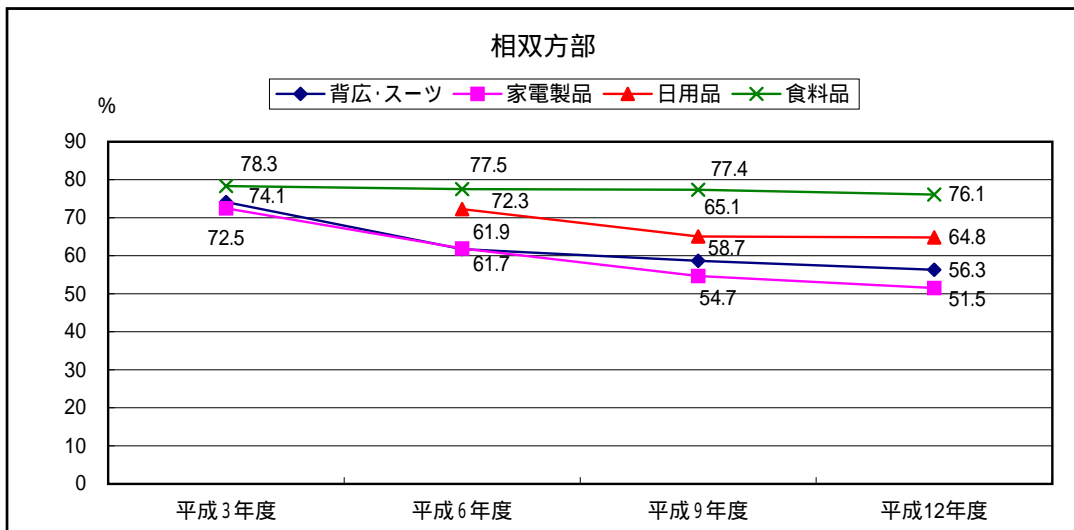
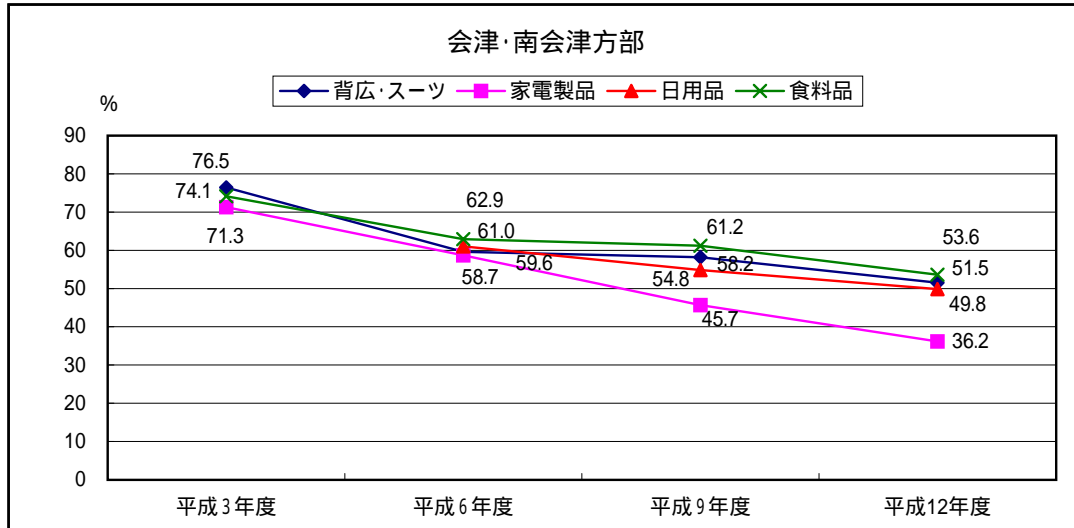


出所：福島県消費購買動向調査（福島県中小企業課）

注1：この調査は、調査品目を購買地の中心商業地または郊外のどちらで買物するかについて二択形式で質問したものである。

注2：グラフの数値は、調査において広域型及び地域型に類型化した以下の市町及び地区住民の購買行動を方部別に集計、算出したものである。（県北方部：福島市、二本松市、川俣町、保原町、本宮町/県中方部：郡山市、須賀川市、石川町、小野町、船引町/県南方部：白河市、棚倉町/会津方部：会津若松市、喜多方市、会津坂下町、田島町/相双方部：相馬市、原町市、富岡町、浪江町/いわき方部：平地区、常磐地区、小名浜地区、勿来地区）

注3：平成3年の日用品のデータなし



出所：福島県消費購買動向調査（福島県中小企業課）

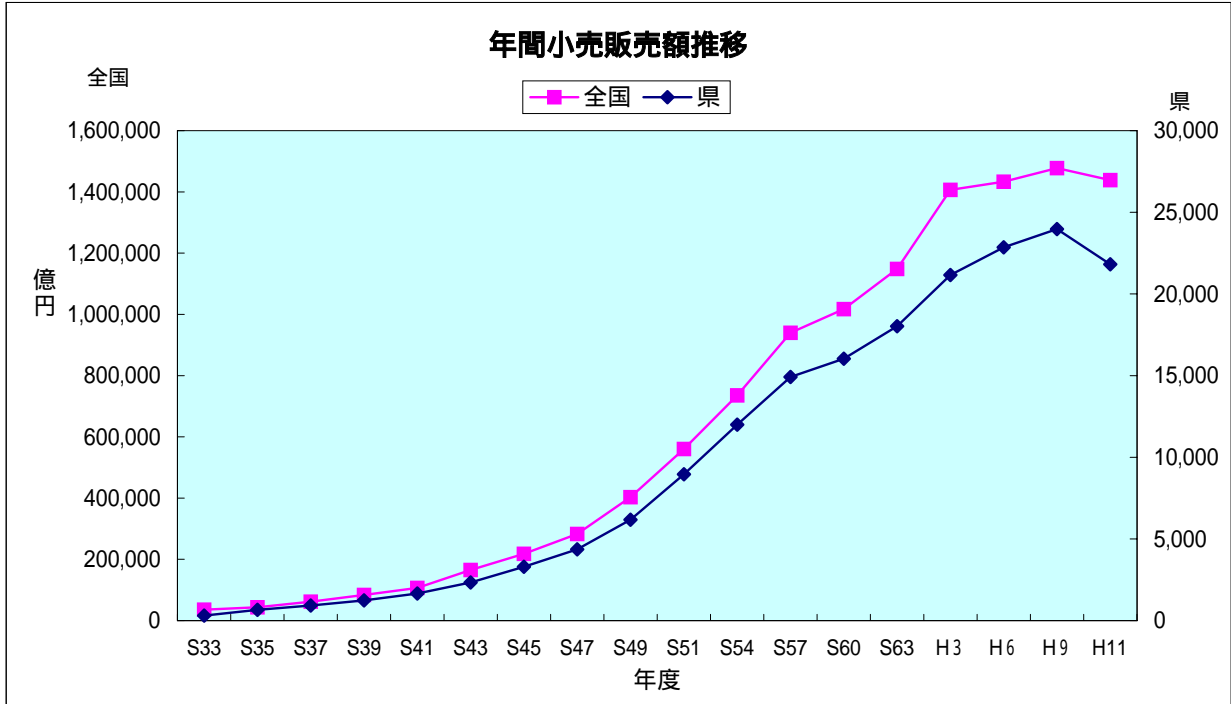
注1：この調査は、調査品目を購買地の中心商業地または郊外のどちらで買物するかについて二択形式で質問したものである。

注2：グラフの数値は、調査において広域型及び地域型に類型化した以下の市町及び地区住民の購買行動を方部別に集計、算出したものである。（県北方部：福島市、二本松市、川俣町、保原町、本宮町/県中方部：郡山市、須賀川市、石川町、小野町、船引町/県南方部：白河市、棚倉町/会津方部：会津若松市、喜多方市、会津坂下町、田島町/相双方部：相馬市、原町市、富岡町、浪江町/いわき方部：平地区、常磐地区、小名浜地区、勿来地区）

注3：平成3年の日用品のデータなし

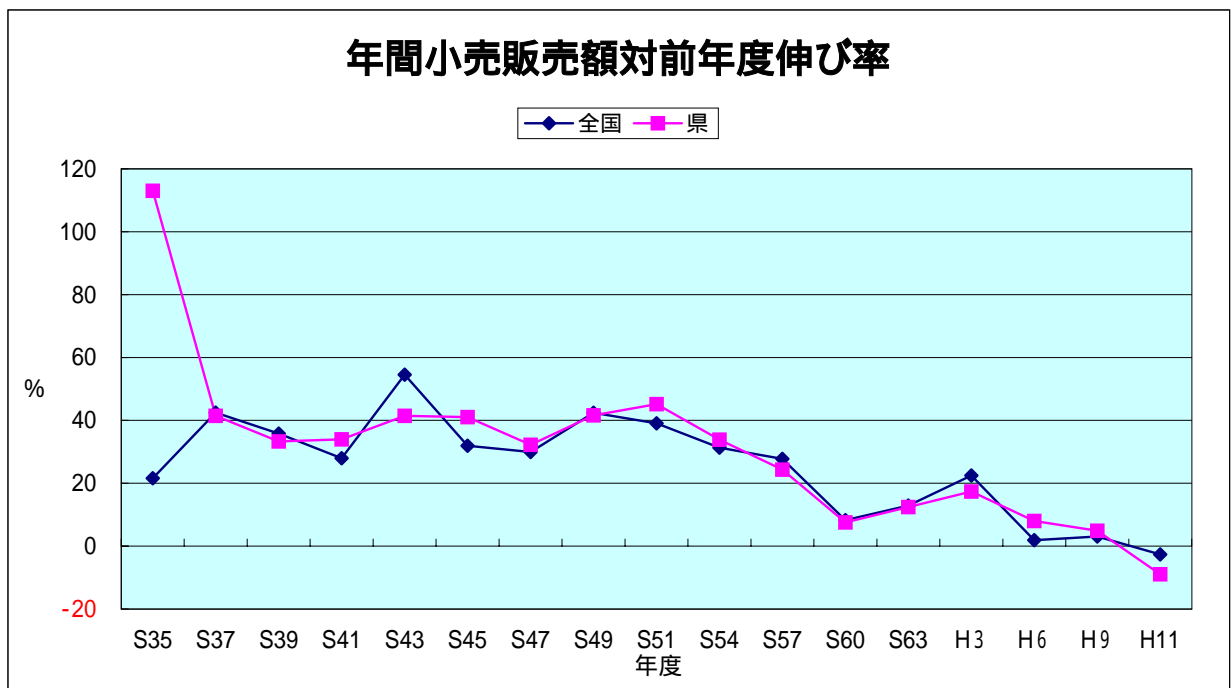
# 11 年間小売販売額推移

資料: 商業統計調査結果報告書(福島県統計調査課)



単位: 億円

年度	S33	S35	S37	S39	S41	S43	S45	S47	S49
全国	35,486	43,153	61,489	83,495	106,836	165,072	217,734	282,926	402,998
福島県	307	654	925	1,233	1,652	2,337	3,296	4,359	6,173
年度	S51	S54	S57	S60	S63	H3	H6	H9	H11
全国	560,290	735,644	939,711	1,017,188	1,148,399	1,406,381	1,433,250	1,477,431	1,438,325
福島県	8,961	11,995	14,912	16,033	18,028	21,158	22,854	23,970	21,819



年度	S35	S37	S39	S41	S43	S45	S47	S49	S51
全国	21.6	42.5	35.8	28.0	54.5	31.9	29.9	42.4	39.0
福島県	113.0	41.4	33.3	34.0	41.5	41.0	32.3	41.6	45.2
年度	S54	S57	S60	S63	H3	H6	H9	H11	
全国	31.3	27.7	8.2	12.9	22.5	1.9	3.1	2.6	
福島県	33.9	24.3	7.5	12.4	17.4	8.0	4.9	9.0	

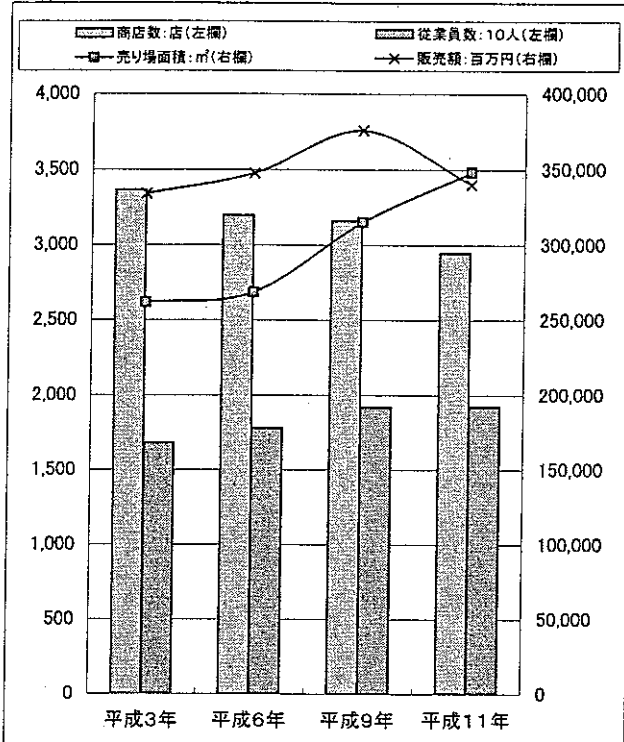
# 12 県内10市小売業の商店数・従業員・売場面積・販売額の推移

(県北方部)

(出所：商業統計調査 (中心市街地の平成11年は福島市の独自調査による))

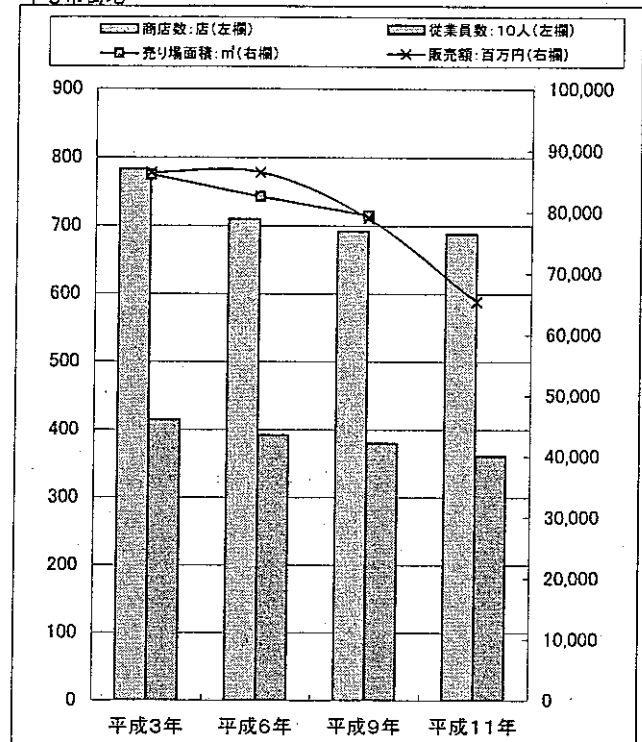
## 【福島市】

全体



全体では、従業員数、売場面積で増加しているものの、商店数は減少していることから、店舗の大型化が進んでいることが考えられる。販売額は増加傾向だったが、平成9年から減少に転じた。

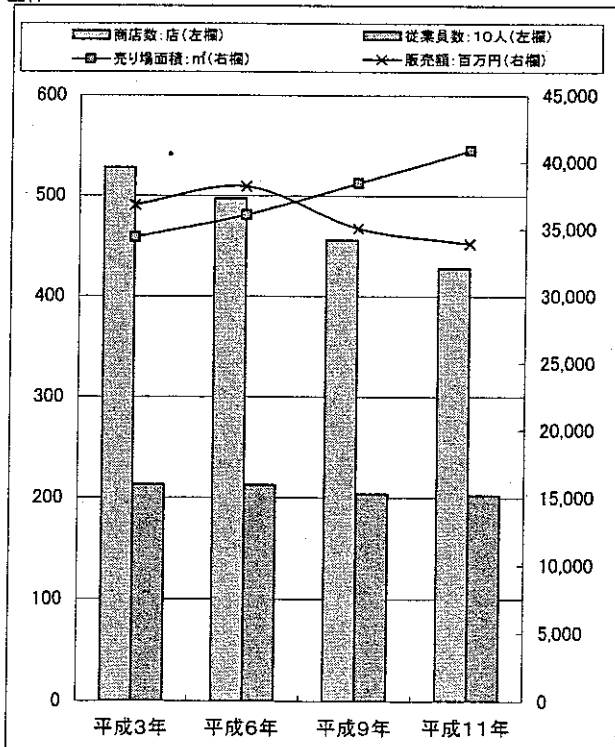
中心市街地



中心市街地では、商店数、従業員数、売場面積、販売額のいずれの項目でも減少している。特に販売額の落ち込みが大きい。

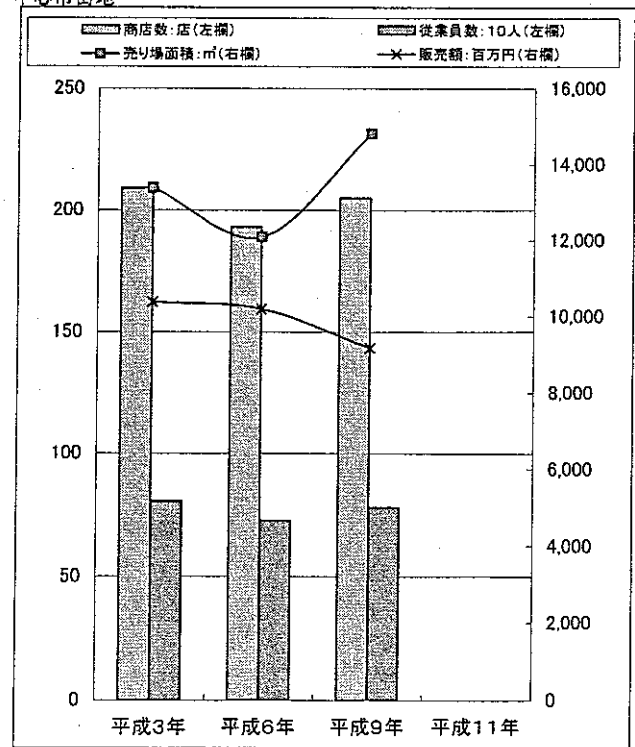
## 【二本松市】

全体



全体では、商店数は減少しているものの、売場面積は増加していることから、店舗の大型化が進んでいることが考えられる。販売額は平成6年から減少に転じているが、従業員数にほとんど変化はみられない。

中心市街地



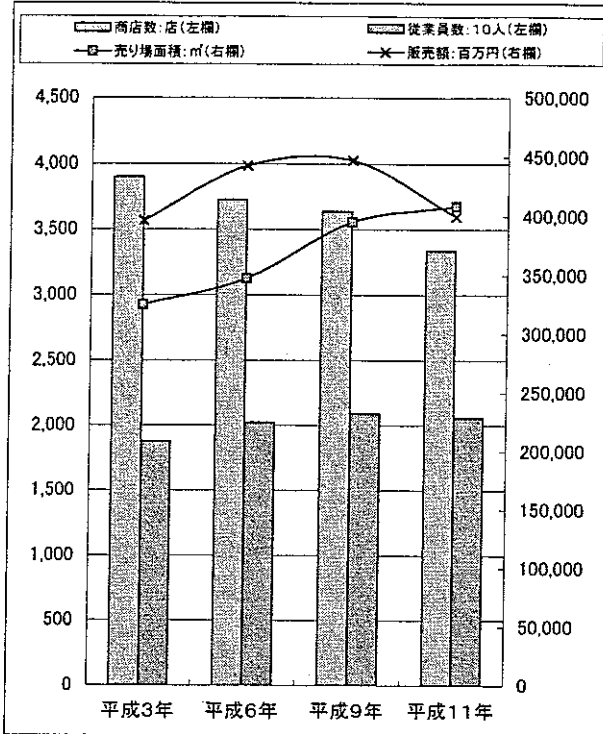
中心市街地では、販売額は減少しているものの、商店数、売場面積、従業員数は平成6年から増加に転じており、なかでも売場面積の増加幅が大きい。

(県中方部)

(出所：商業統計調査)

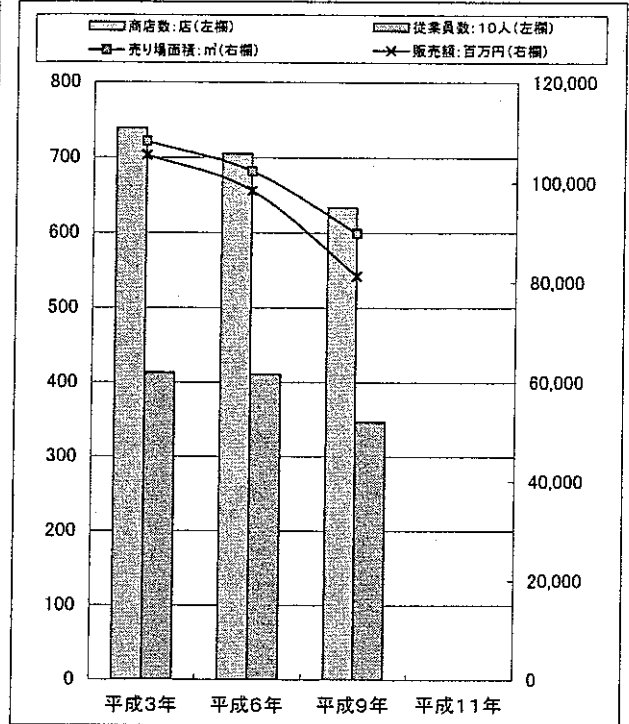
【郡山市】

全体



全体では、従業員数、売場面積で増加しているものの、商店数は減少していることから、店舗の大型化が進んでいることが考えられる。販売額は、平成9年から減少に転じた。

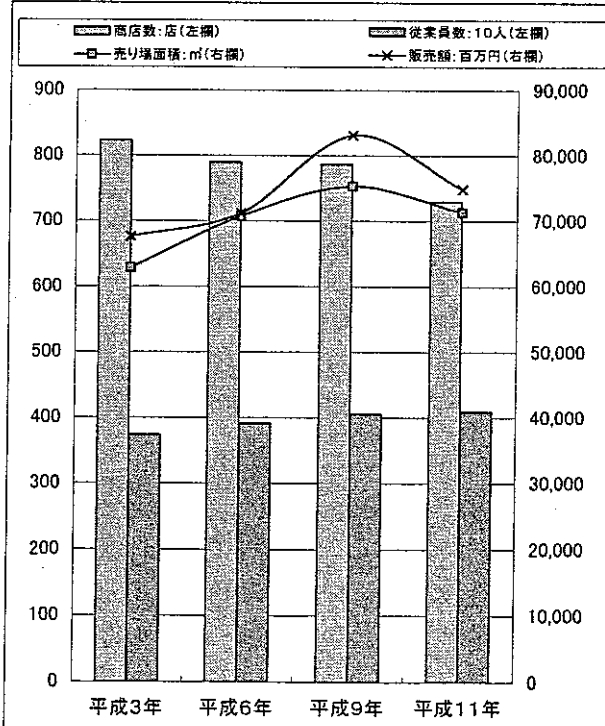
中心市街地



中心市街地では、商店数、従業員数、売場面積、販売額のいずれの項目でも減少している。特に販売額の落ち込みが大きい。

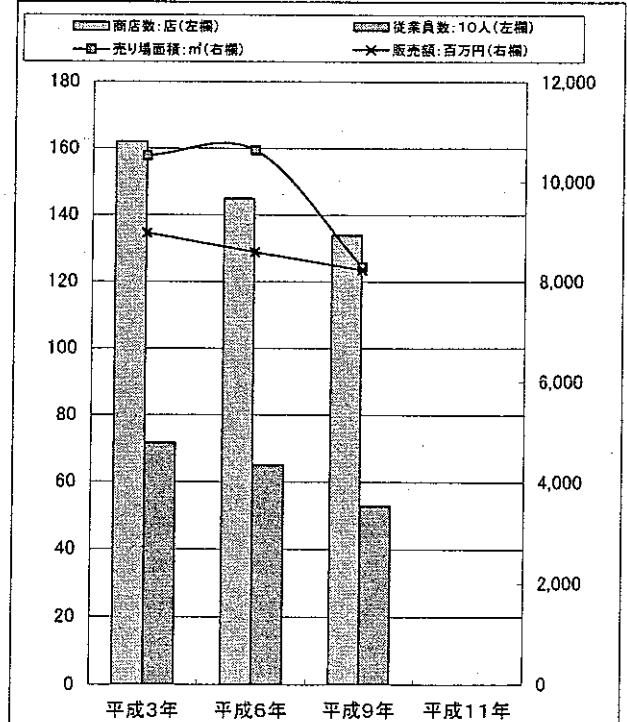
【須賀川市】

全体



全体では、売場面積、販売額ともに平成9年から減少に転じている。また、商店数は減少しているのに対して、従業員数は増加している。

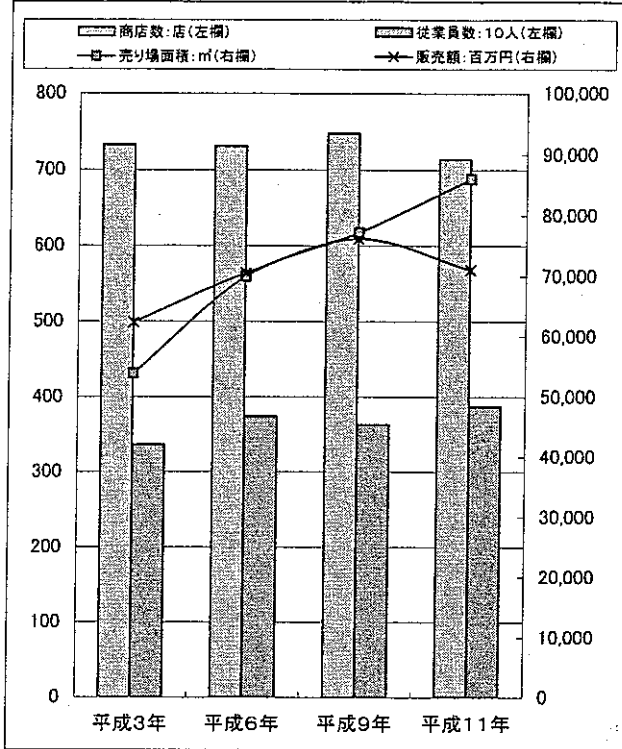
中心市街地



中心市街地では、商店数、従業員数、販売額は減少している。売場面積は、平成6年から減少に転じており、落ち込みが大きい。

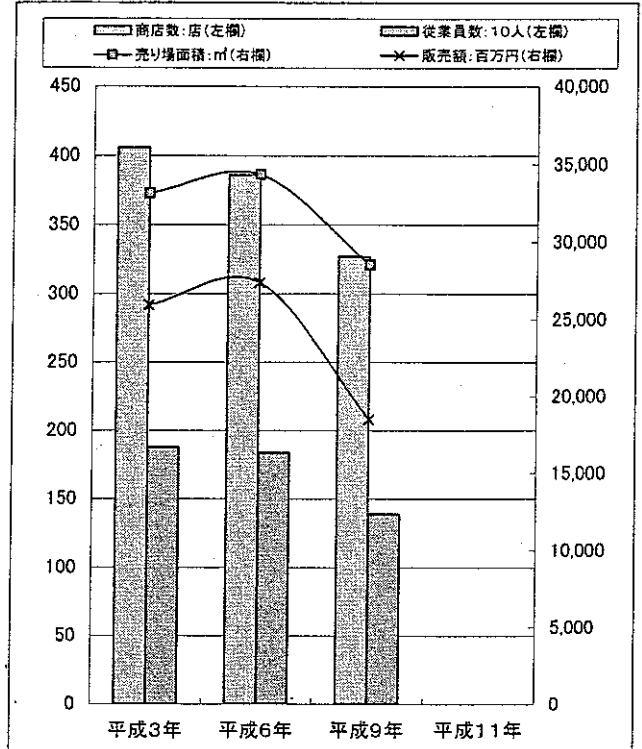
【白河市】

全体



全体では、売場面積が著しく増加しているものの、商店数はほぼ横ばいであることから、店舗の大型化が進んでいることが考えられる。販売額は平成9年まで増加していたが、平成11年に減少した。

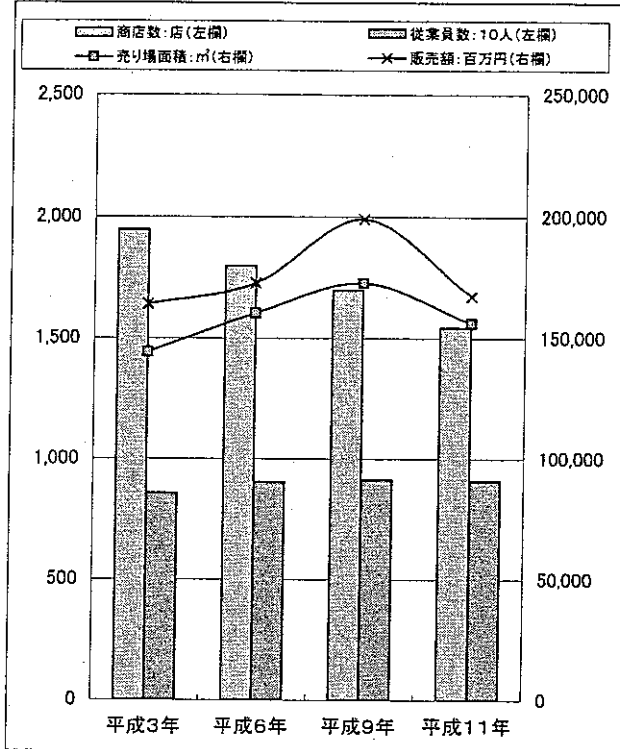
中心市街地



中心市街地では、商店数は減少傾向であり、売場面積、販売額は平成6年にやや増加したものの、平成9年に大きく減少した。

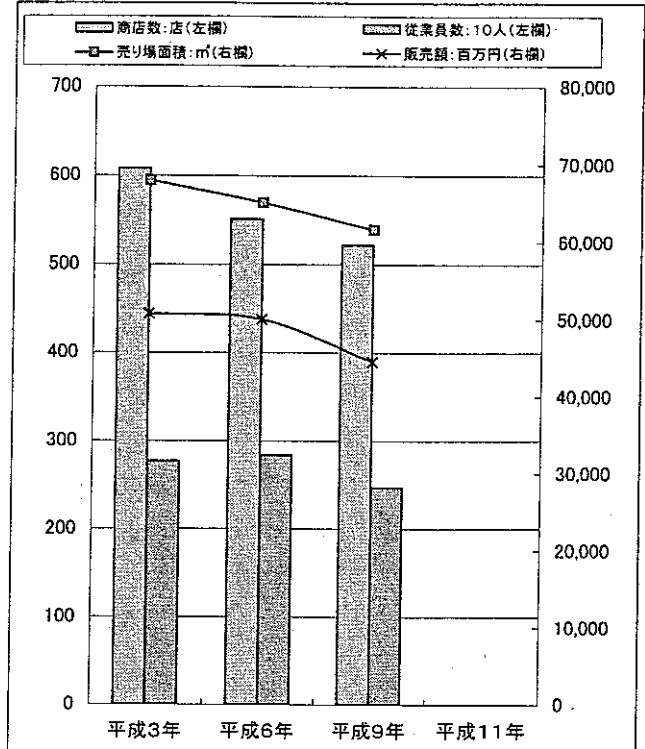
【会津若松市】

全体



全体では、商店数は減少しているものの、従業員数はやや増加している。売場面積、販売額ともに、平成9年から減少に転じた。

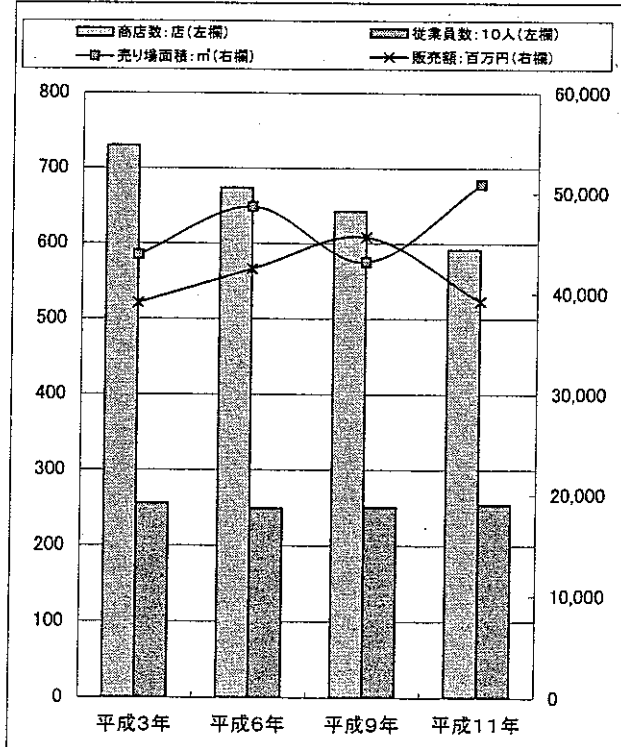
中心市街地



中心市街地では、商店数、売場面積、販売額で減少しており、従業員数も平成6年から減少に転じた。

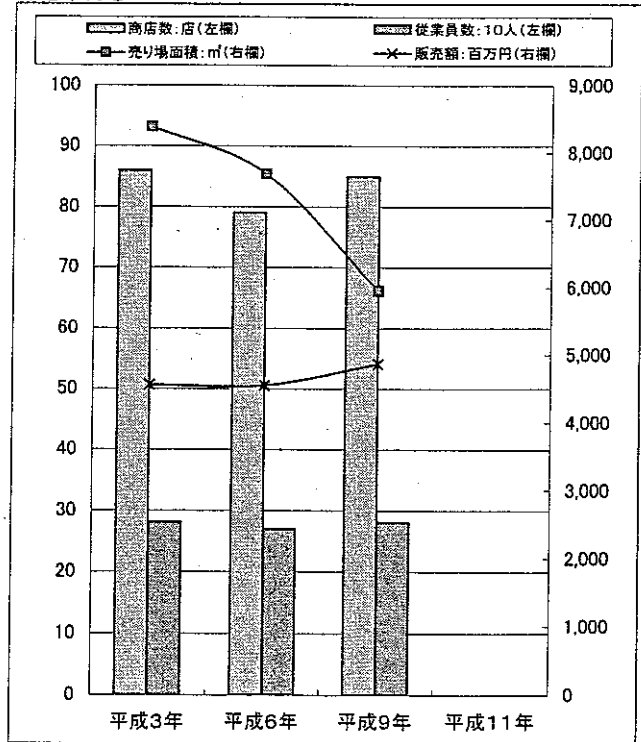
【喜多方市】

全体



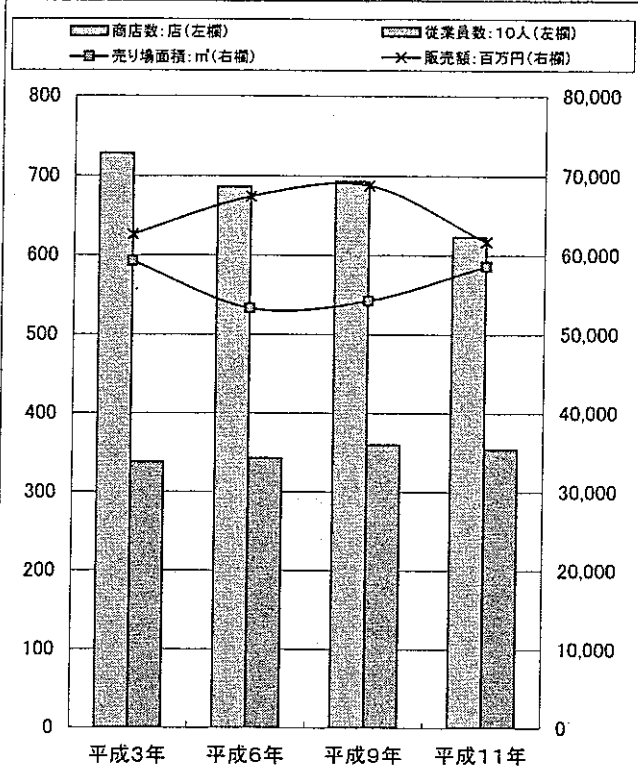
全体では、売場面積は増減がみられるが、商店数は減少している。従業員数はほとんど変化がみられないものの、販売額は平成9年から減少に転じており、落ち込みが大きい。

中心市街地



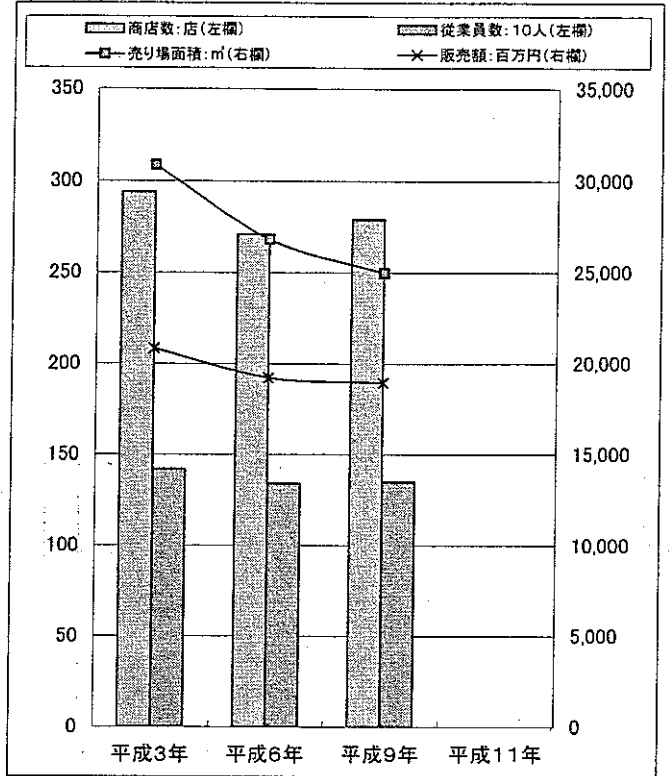
中心市街地では、商店数、販売額は平成6年から増加に転じているものの、売場面積は減少しており、落ち込みが大きい。従業員数にほとんど変化はみられない。

【原町市】  
全体



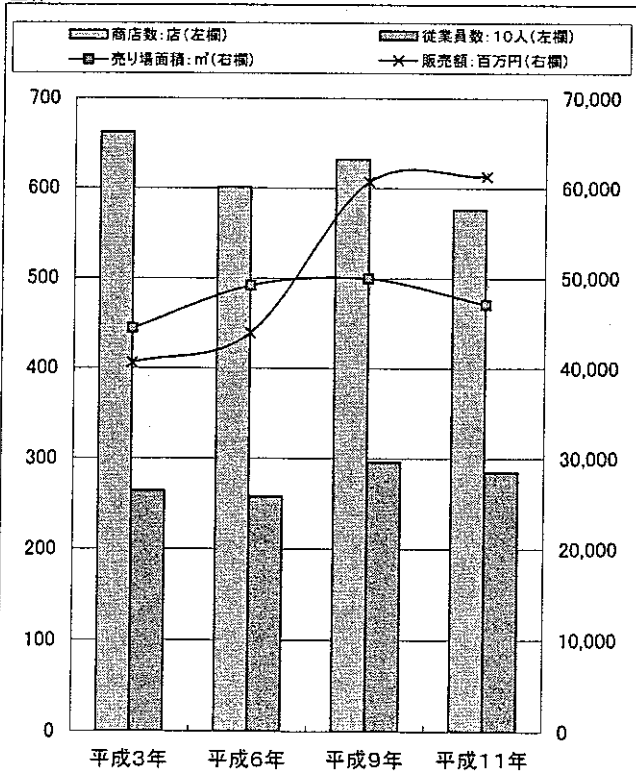
全体では、商店数は減少しているものの、やや増加傾向にある。売場面積は平成6年に減少したものの、その後は増加傾向にある。販売額は平成9年から減少に転じた。

中心市街地



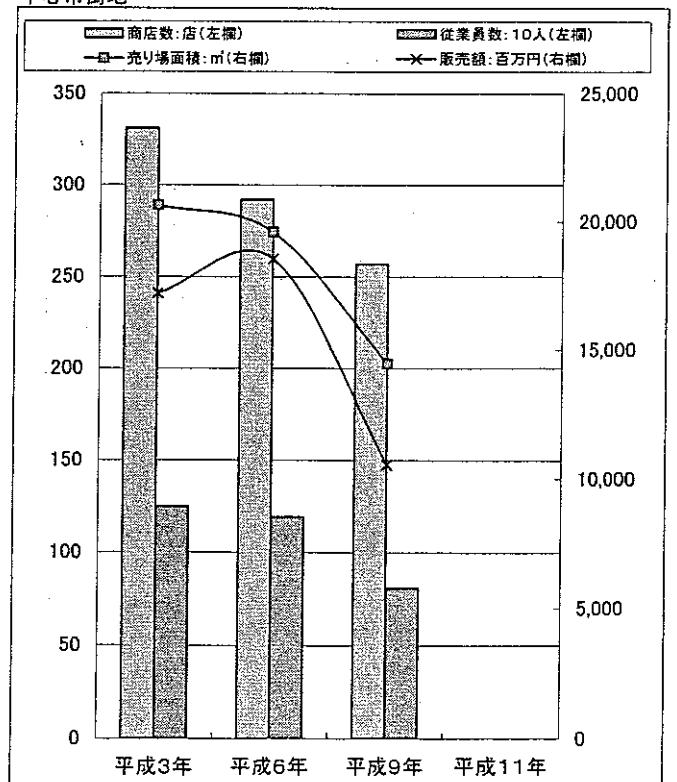
中心市街地では、売場面積、販売額は減少しているものの、従業員数はほぼ横ばい、商店数は平成9年に増加に転じた。

【相馬市】  
全体



全体では、販売額は増加しており、特に平成6～9年の増加幅が大きい。商店数、従業員数、売場面積は平成9年からは減少傾向に転じている。

中心市街地

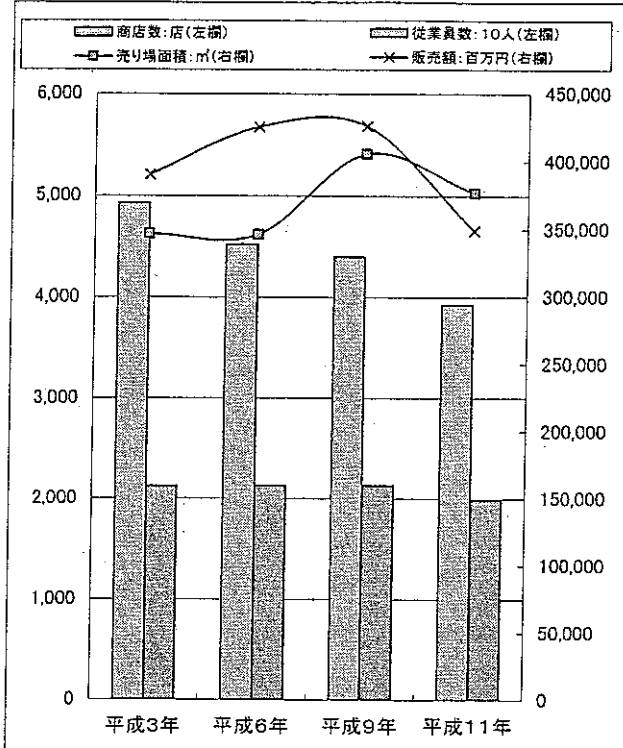


中心市街地では、商店数、売場面積、従業員数ともに減少している。販売額は平成6年から減少に転じており、落ち込みが大きい。



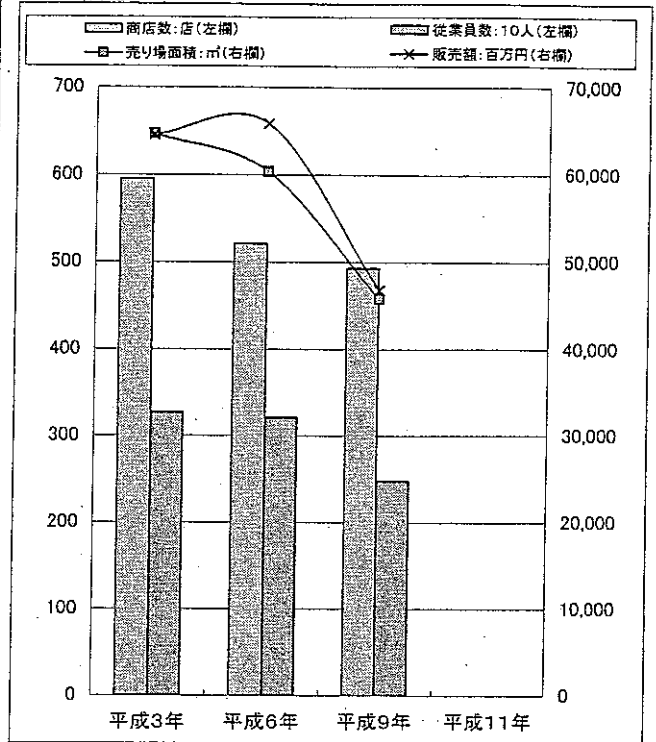
【いわき市】

全体



全体では、商店数は減少しているものの、従業員数はほぼ横ばいを保っている。売場面積、販売額は平成9年から減少に転じており、特に販売額の落ち込みが大きい。

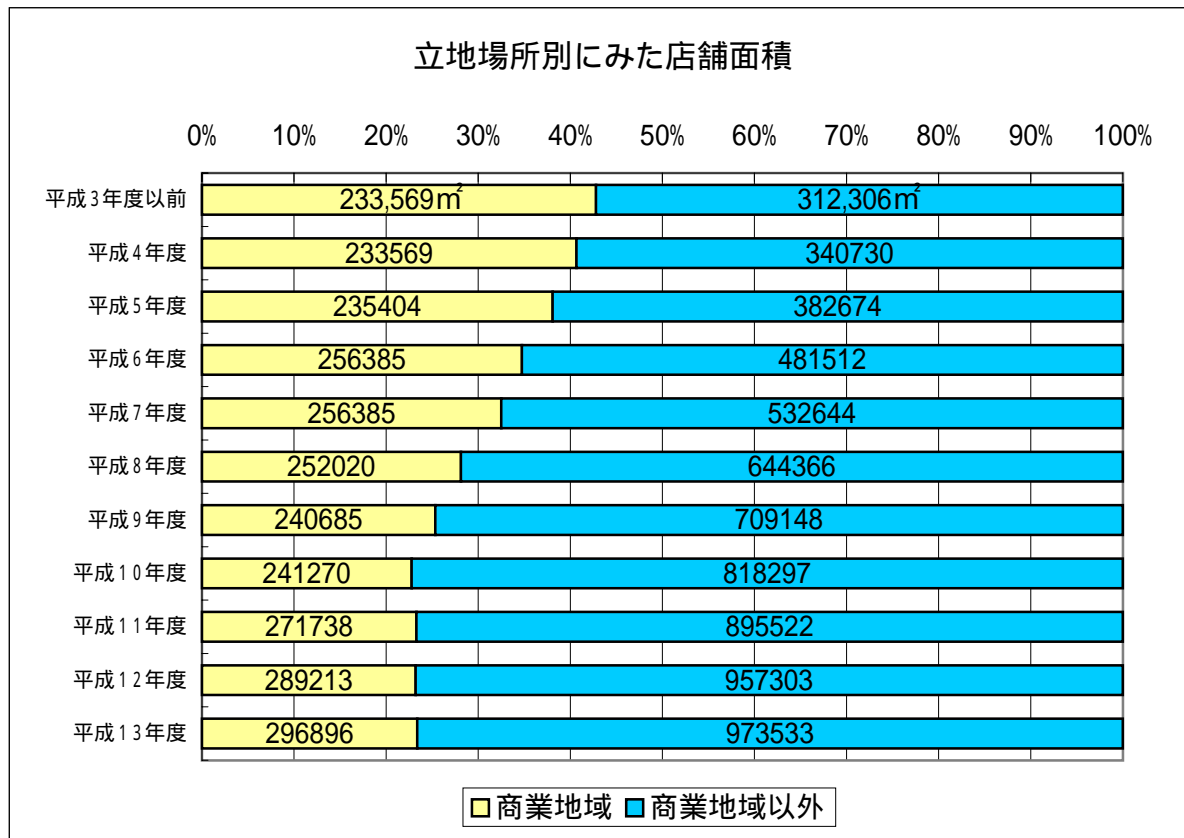
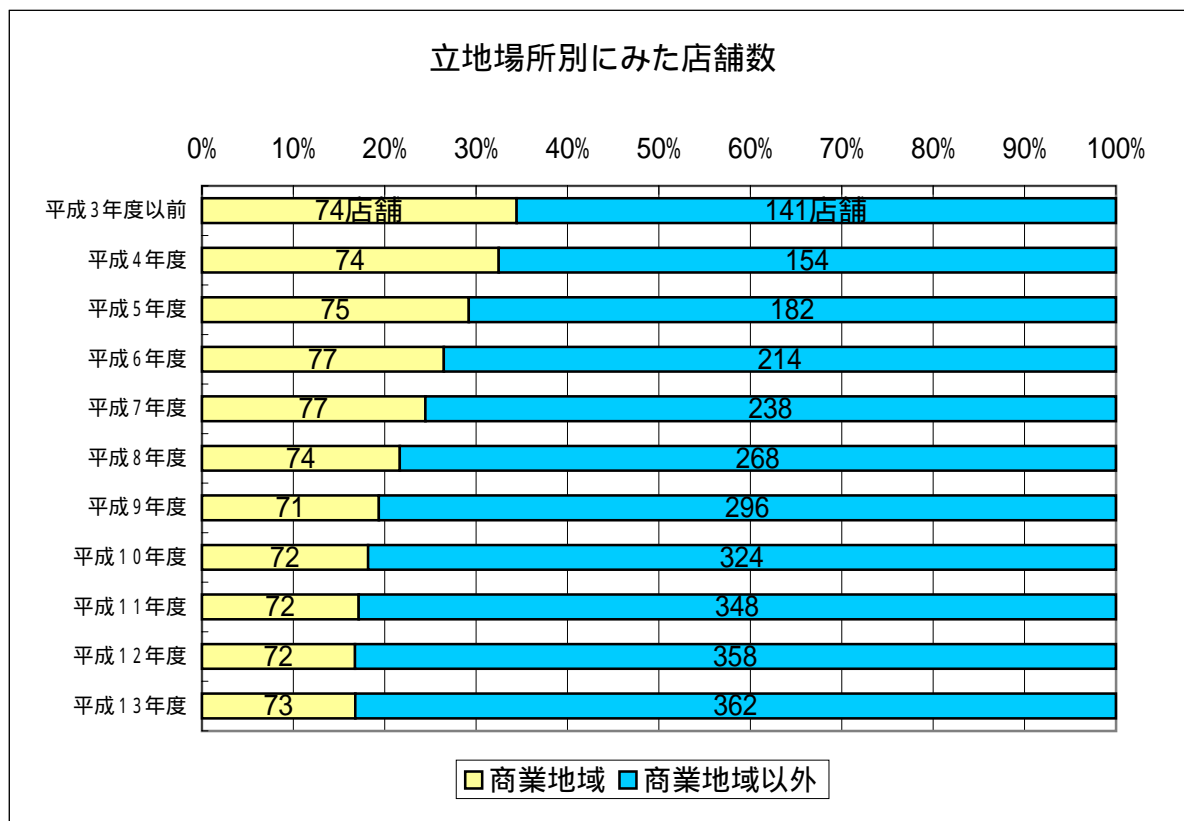
中心市街地



中心市街地では、商店数、従業員数、売場面積、販売額のいずれの項目でも減少している。特に売り場面積、販売額の落ち込みが大きい。

### 13. 県内10市合計出店時期別大型店の推移

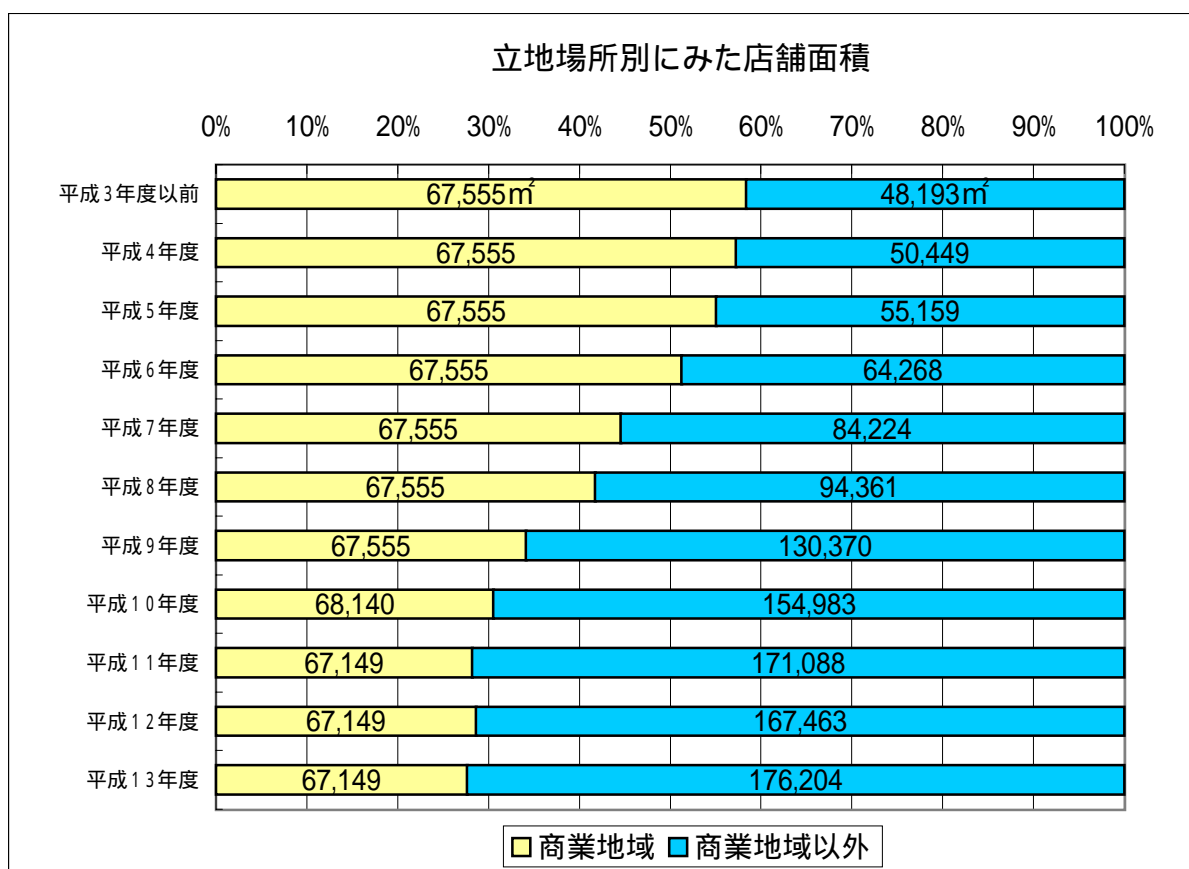
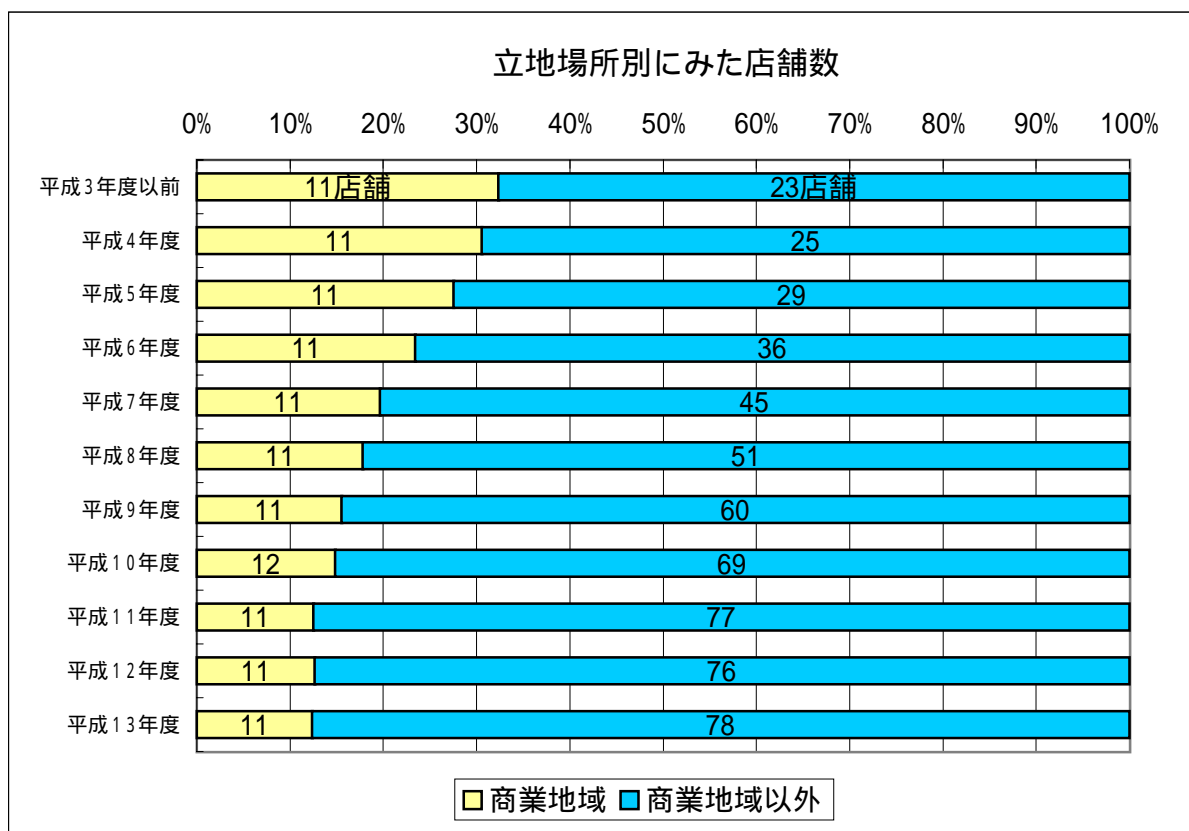
10市合計



(大店法及び大店立地法による新設届出状況)

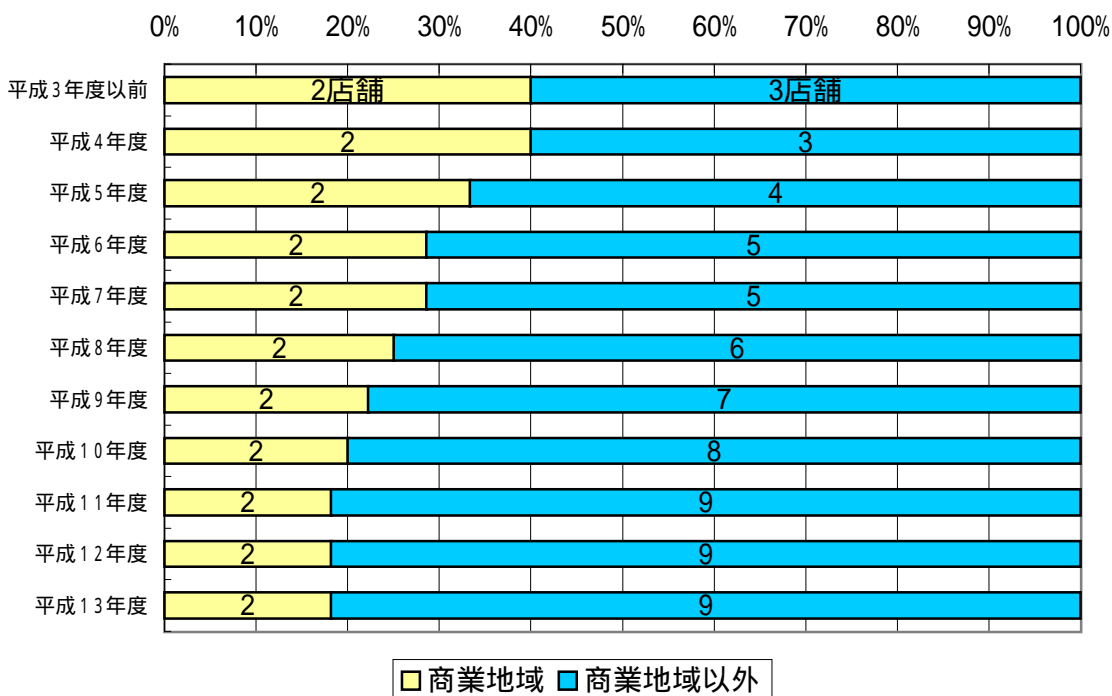
14. 県内10市出店時期別大型店の推移

福島市

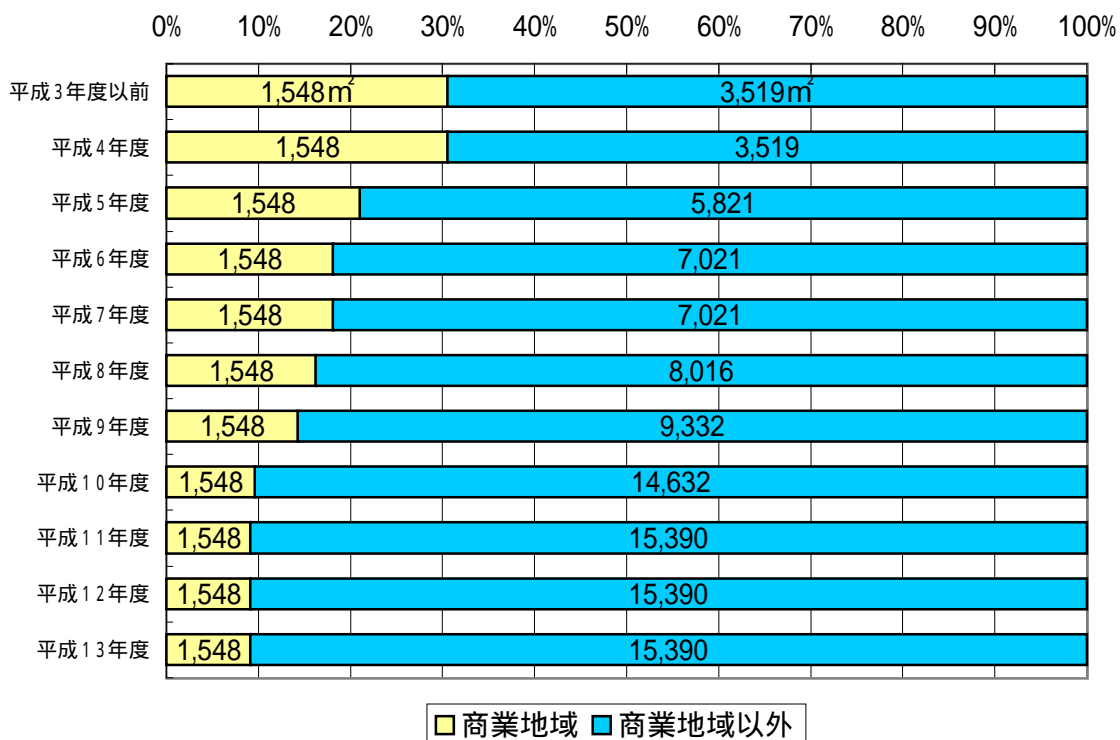


(大店法及び大店立地法による新設届出状況)

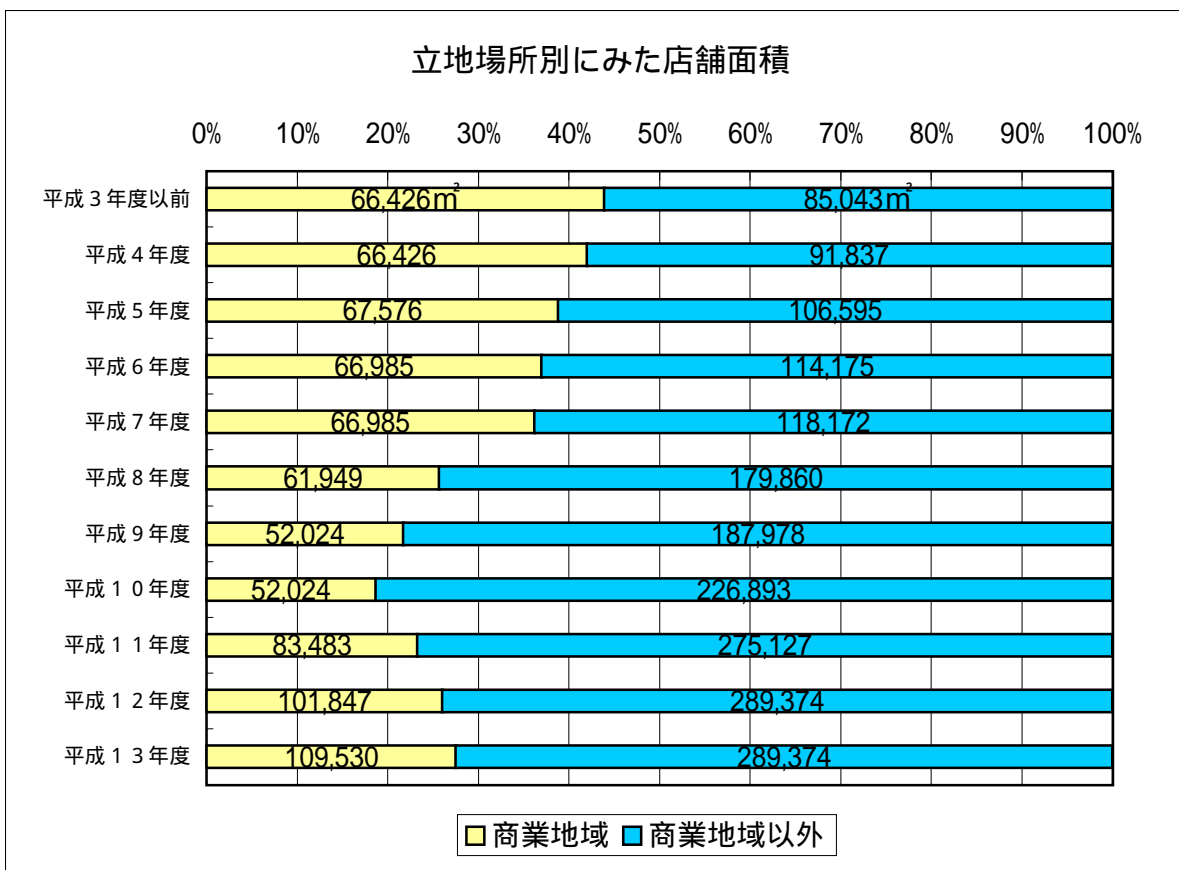
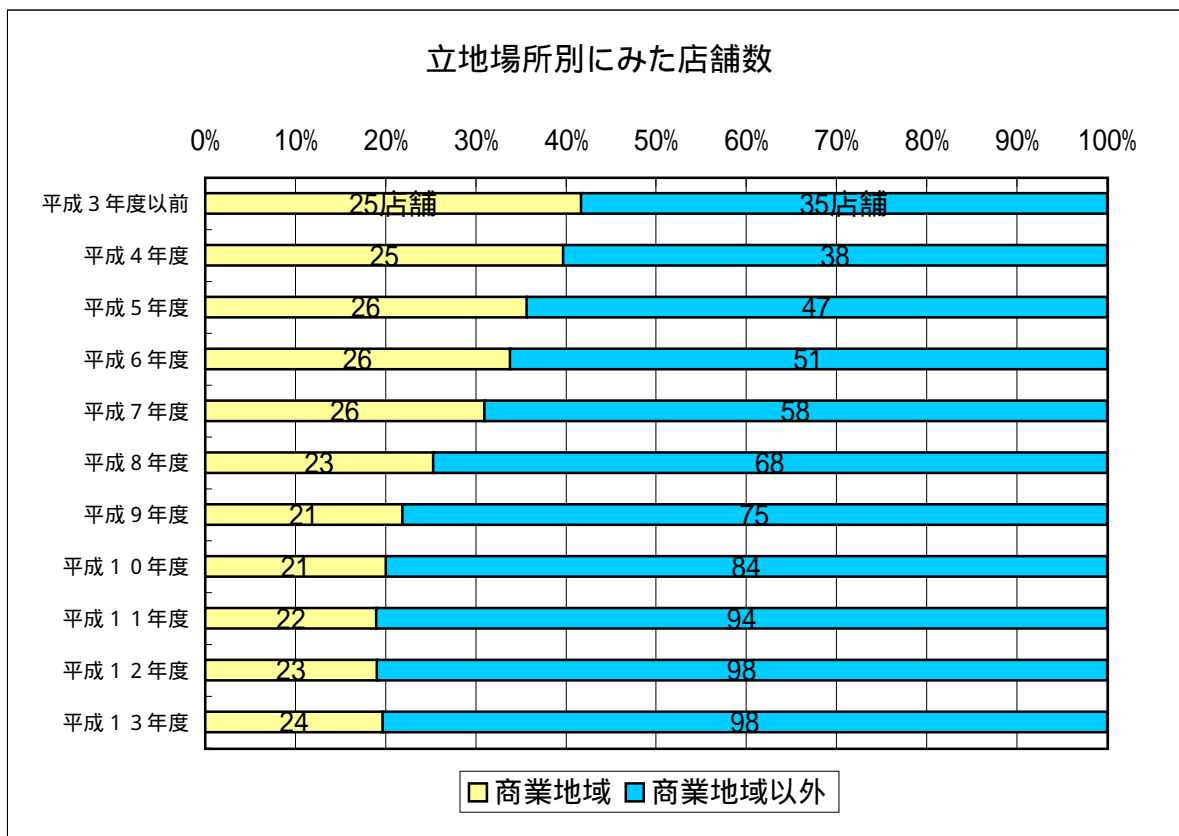
立地場所別にみた店舗数



立地場所別にみた店舗面積

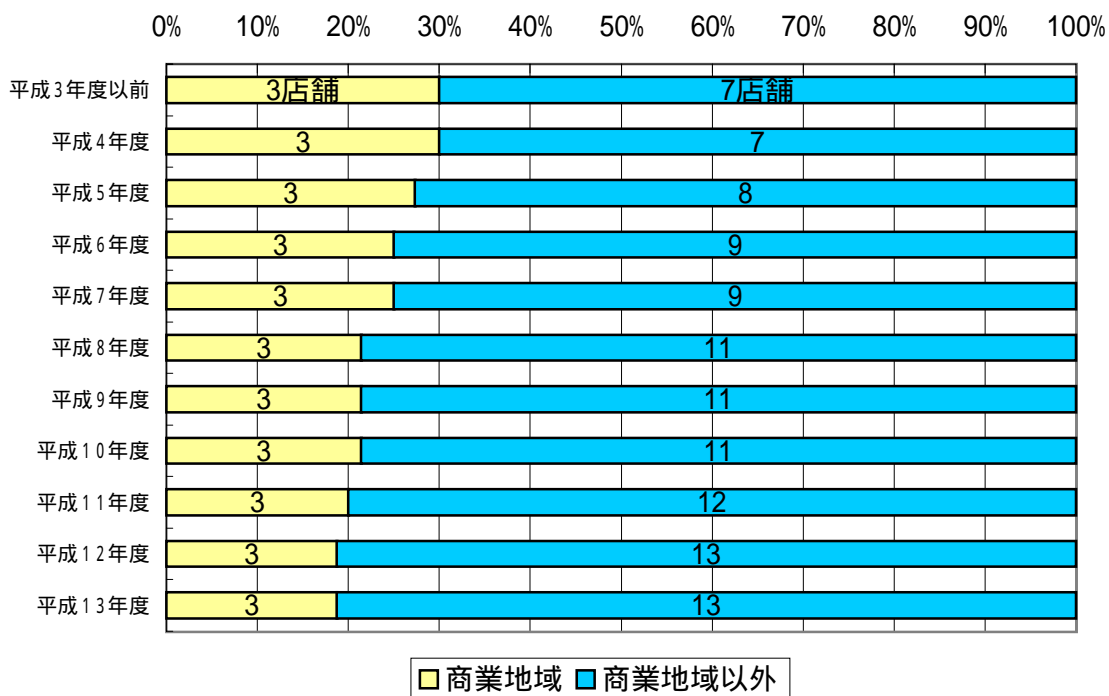


(大店法及び大店立地法による新設届出状況)

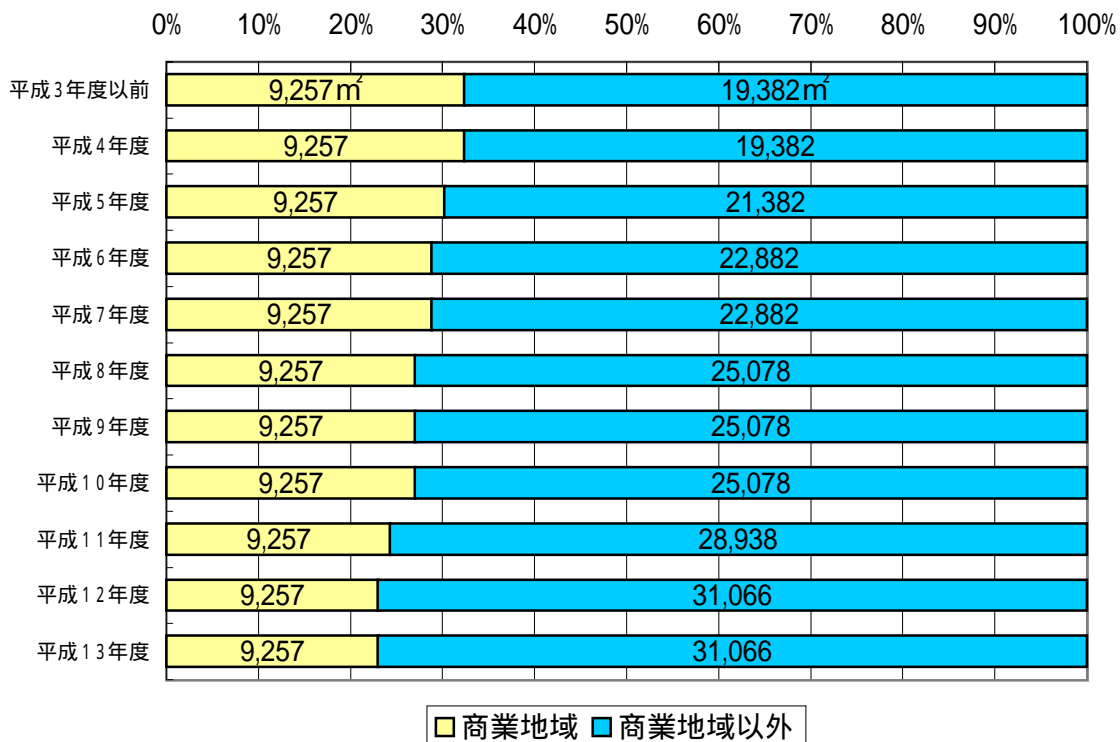


(大店法及び大店立地法による新設届出状況)

立地場所別にみた店舗数

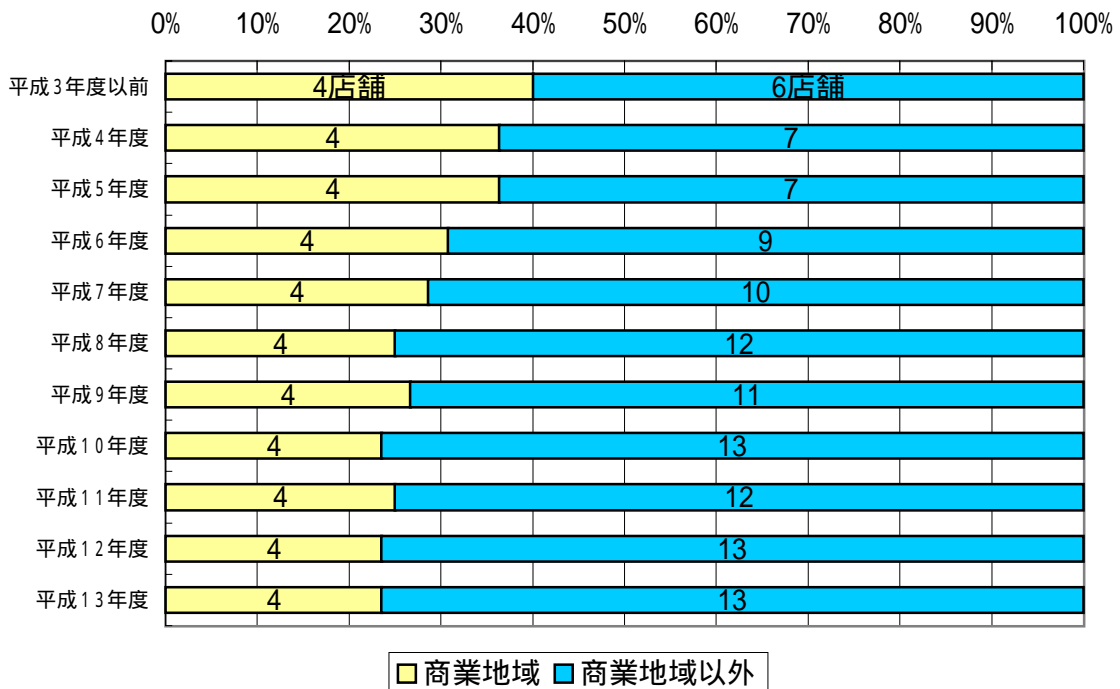


立地場所別にみた店舗面積

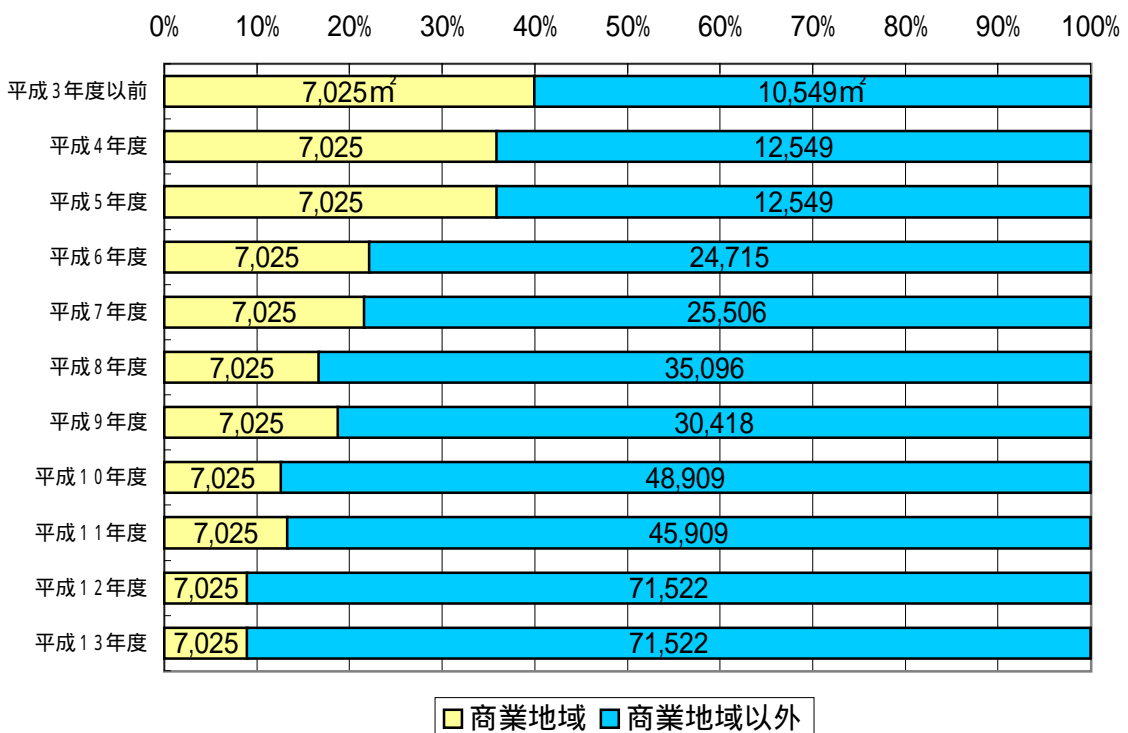


(大店法及び大店立地法による新設届出状況)

立地場所別にみた店舗数

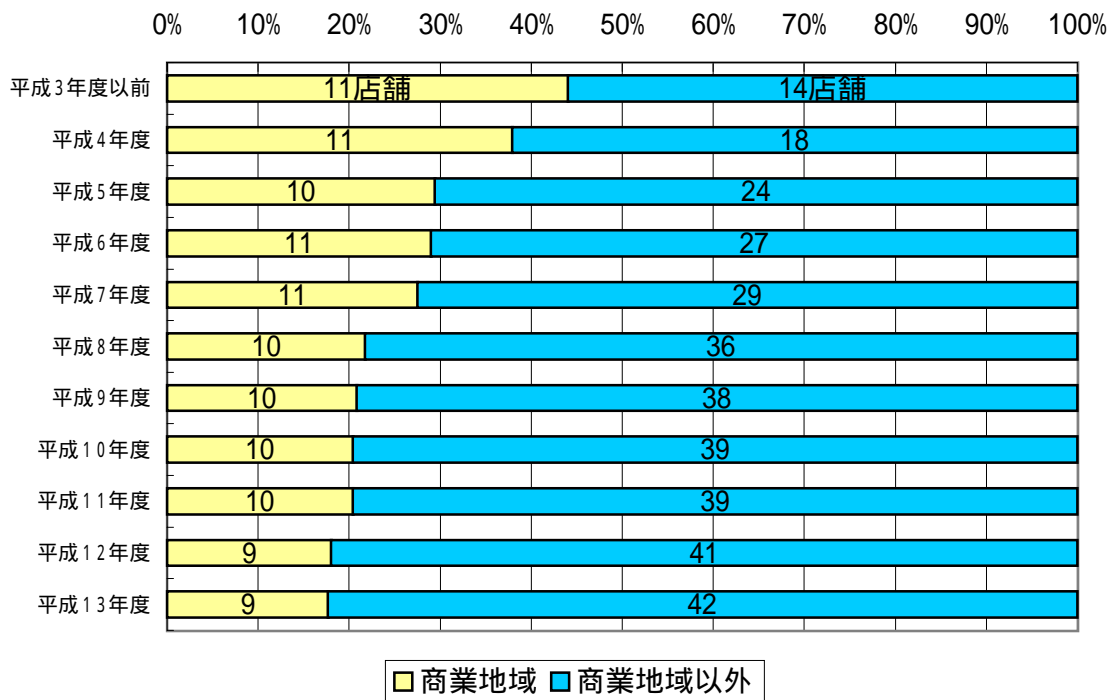


立地場所別にみた店舗面積

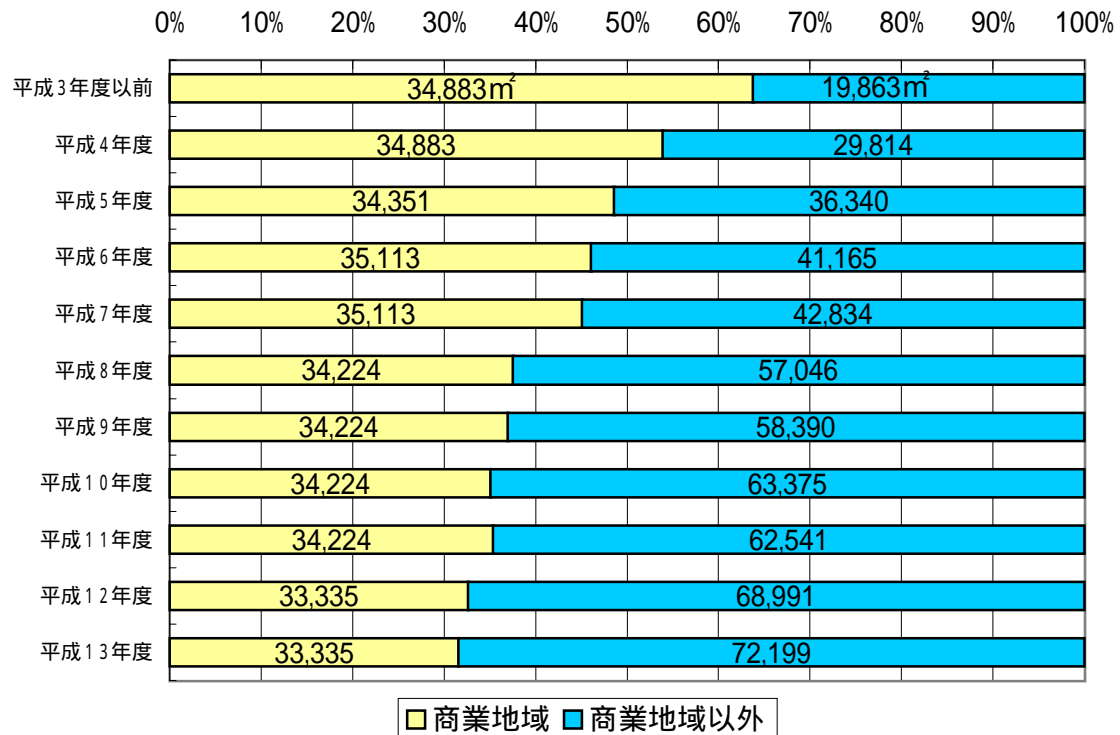


(大店法及び大店立地法による新設届出状況)

立地場所別にみた店舗数

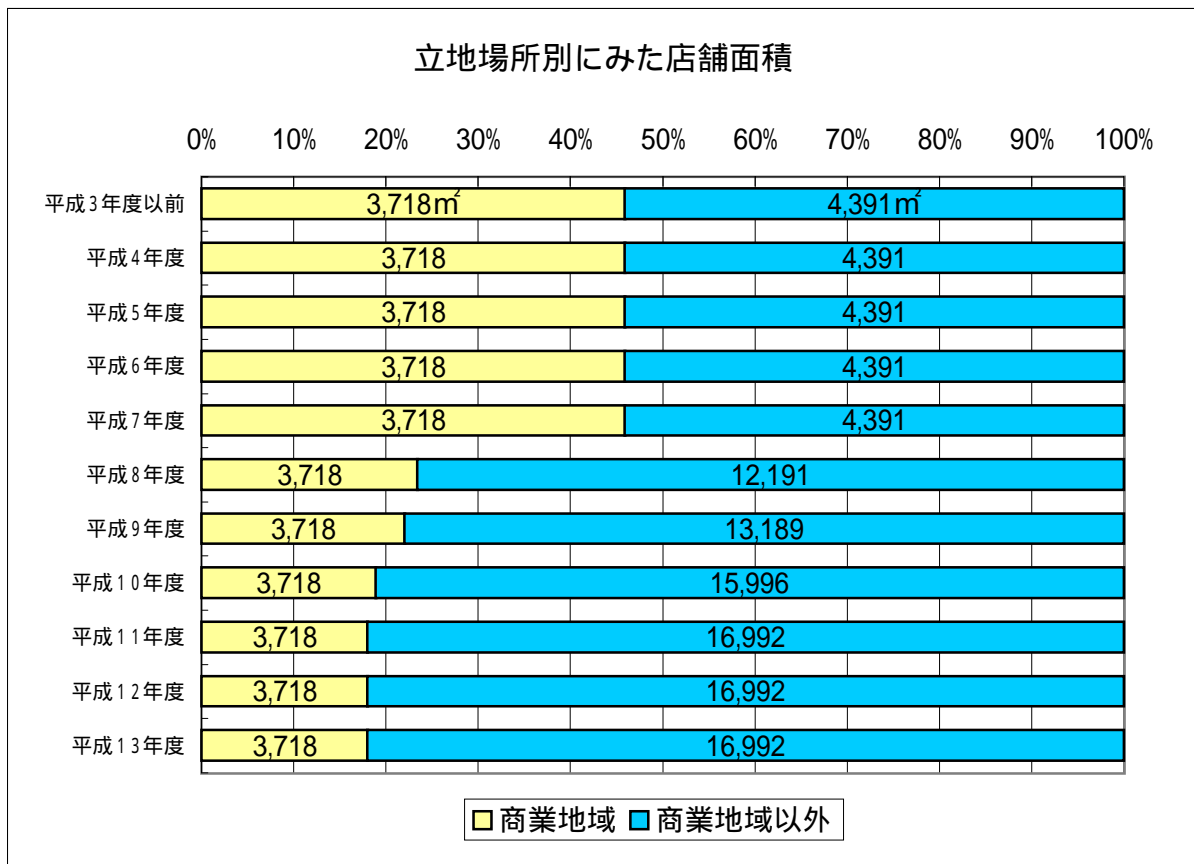
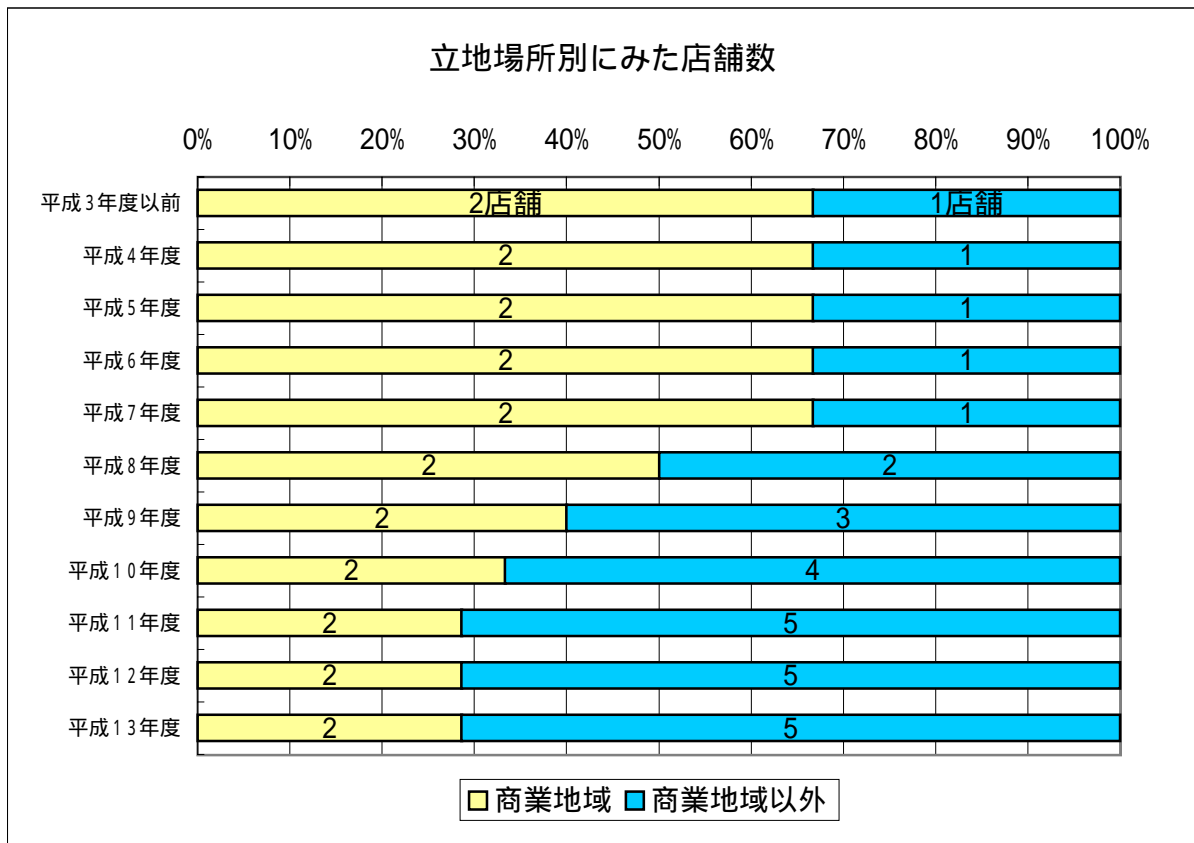


立地場所別にみた店舗面積

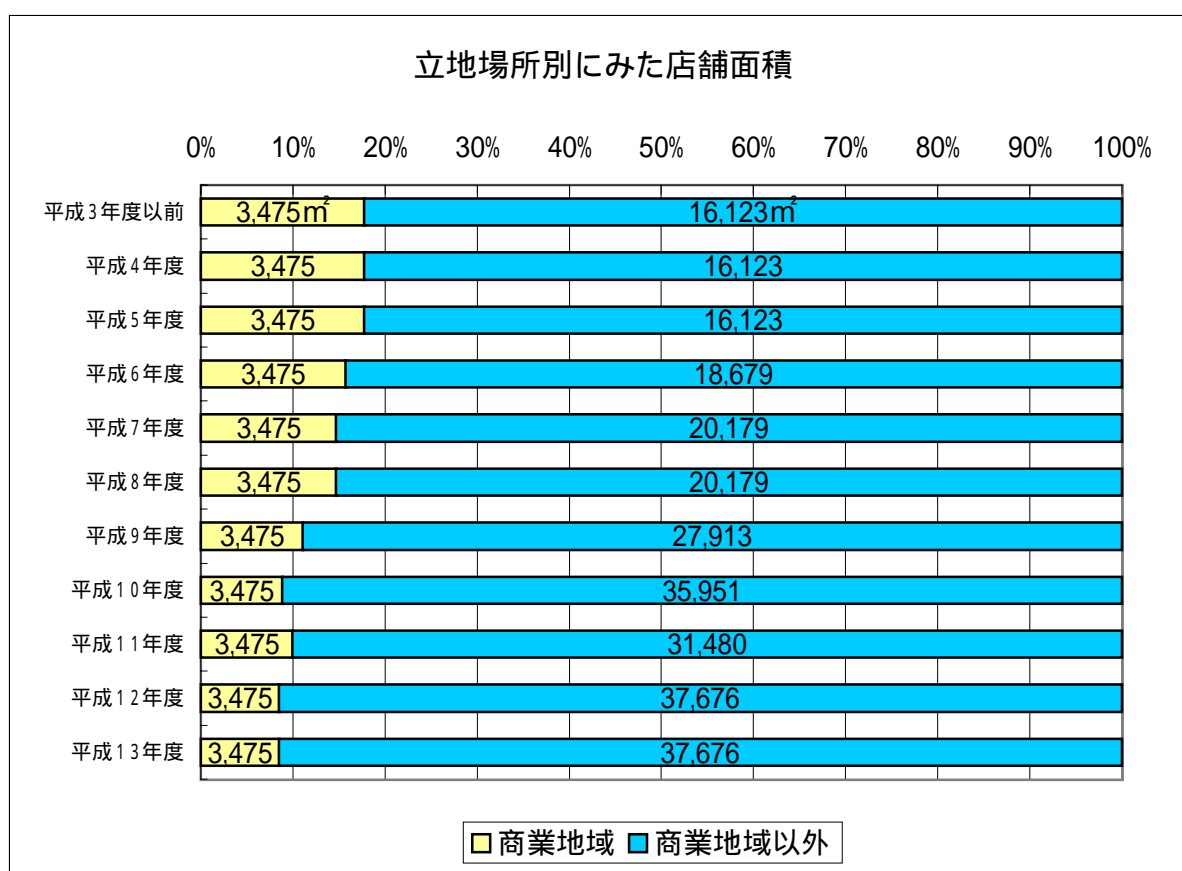
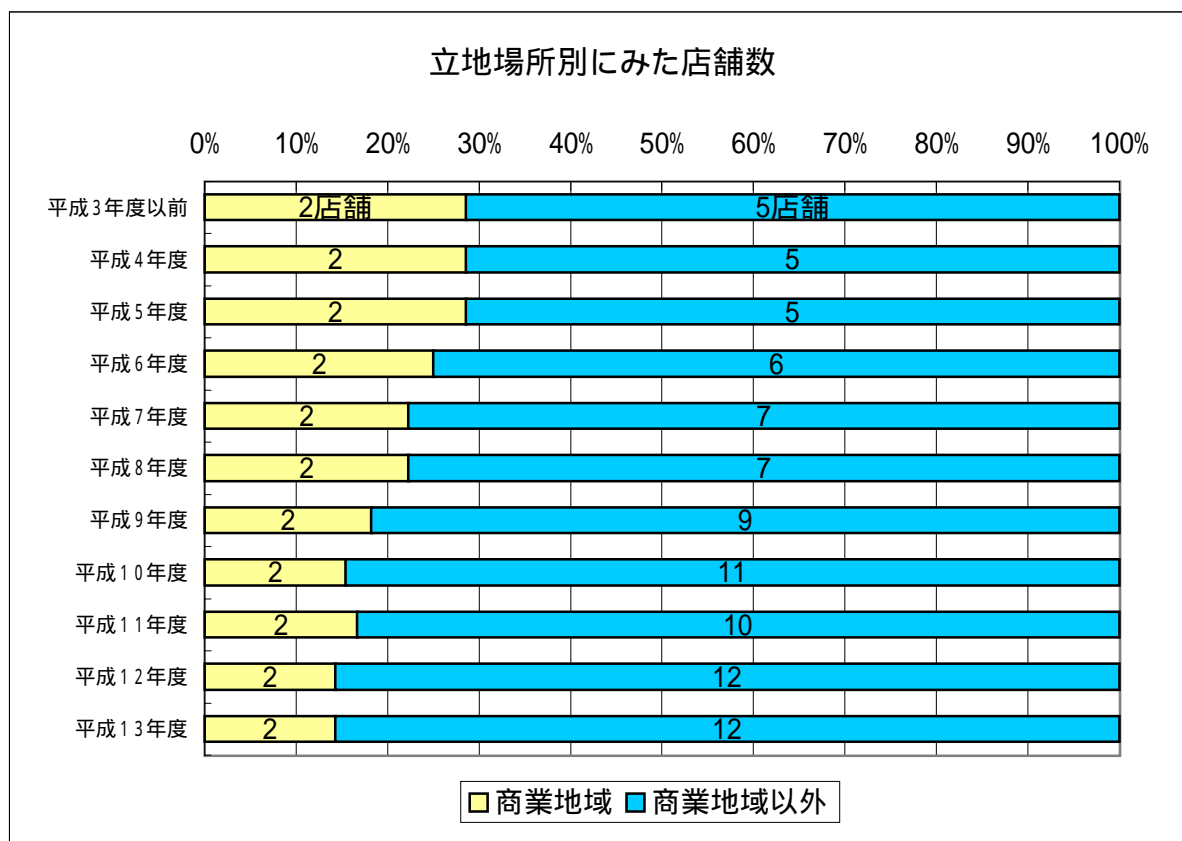


(大店法及び大店立地法による新設届出状況)

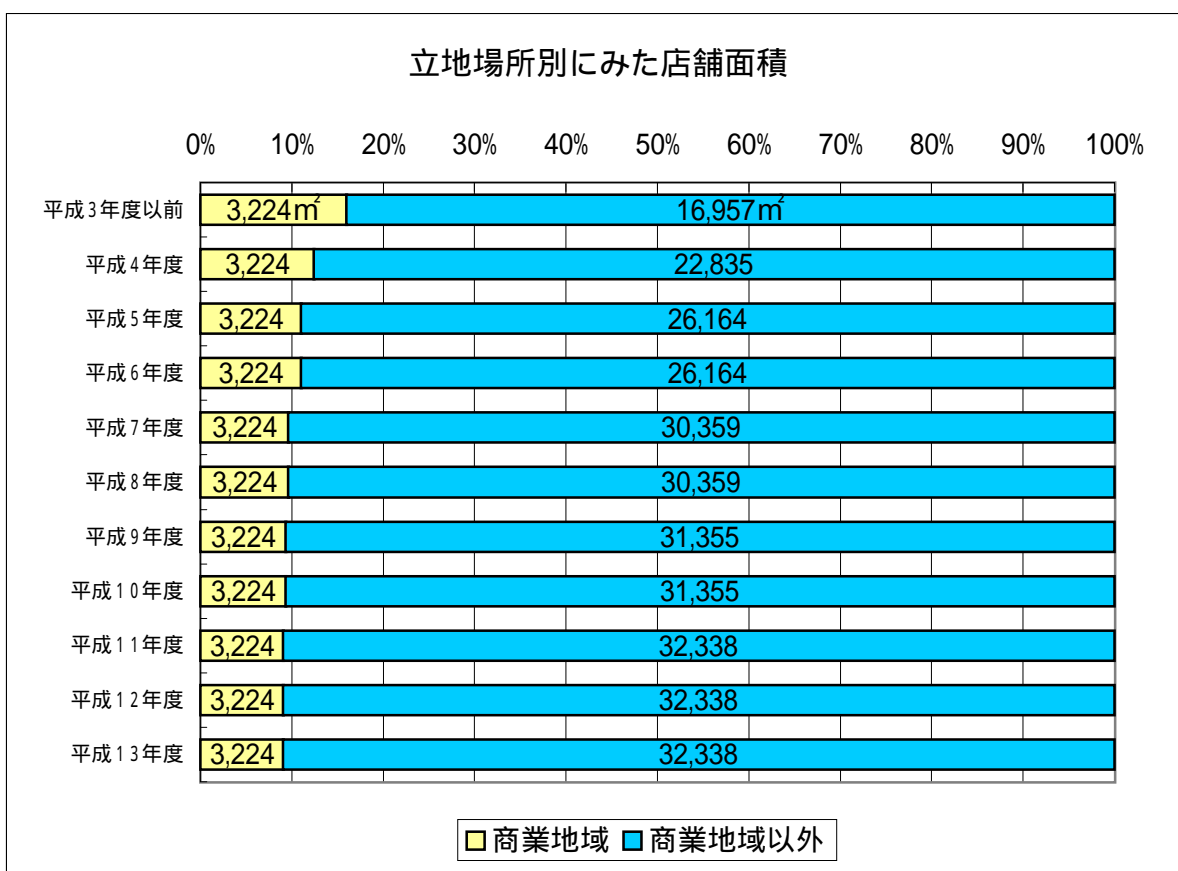
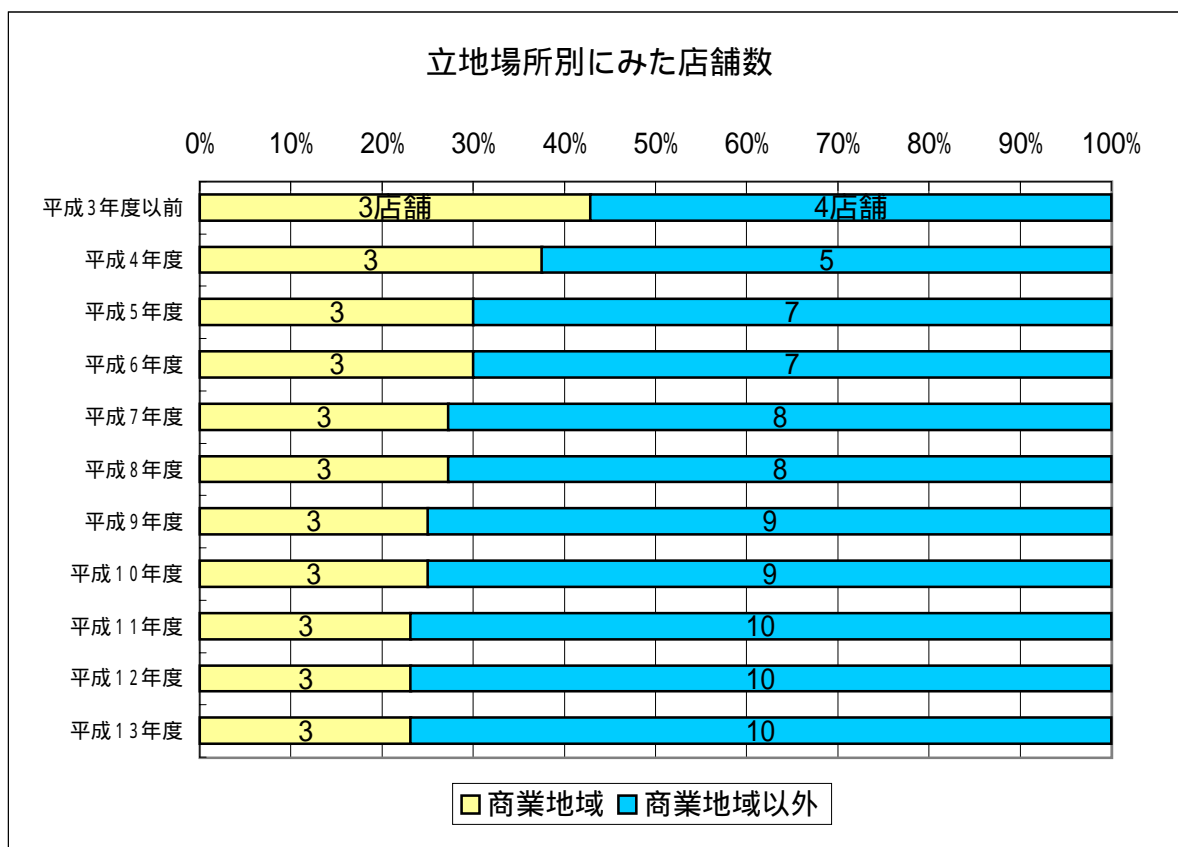




(大店法及び大店立地法による新設届出状況)

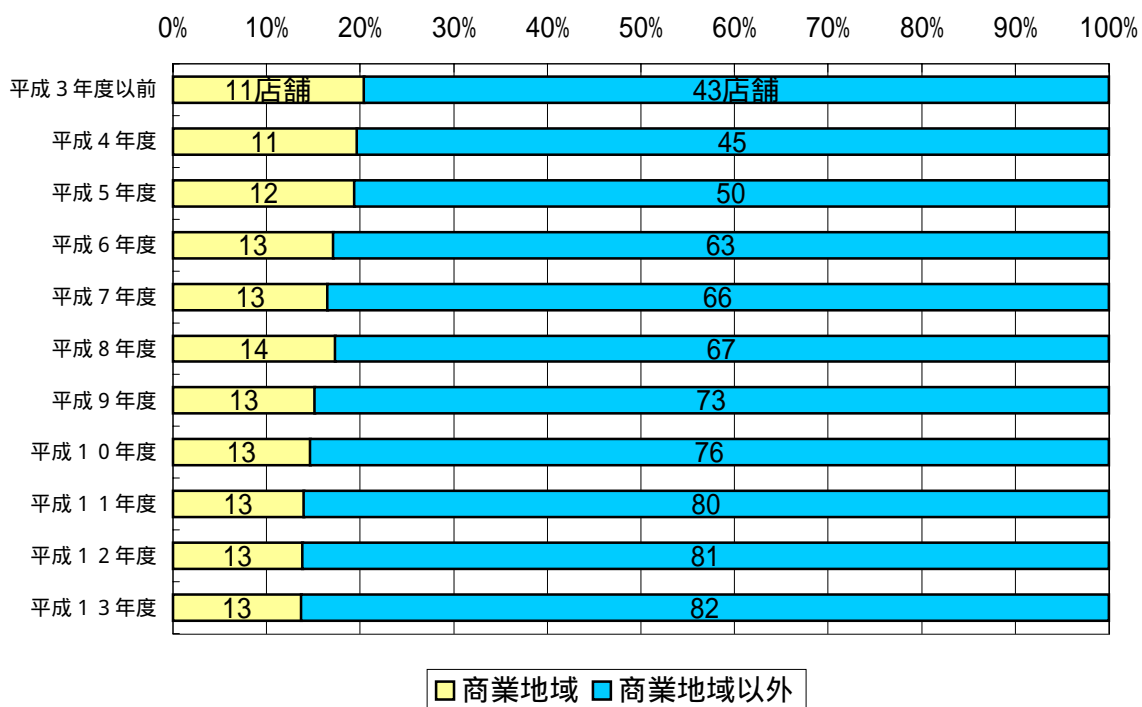


(大店法及び大店立地法による新設届出状況)

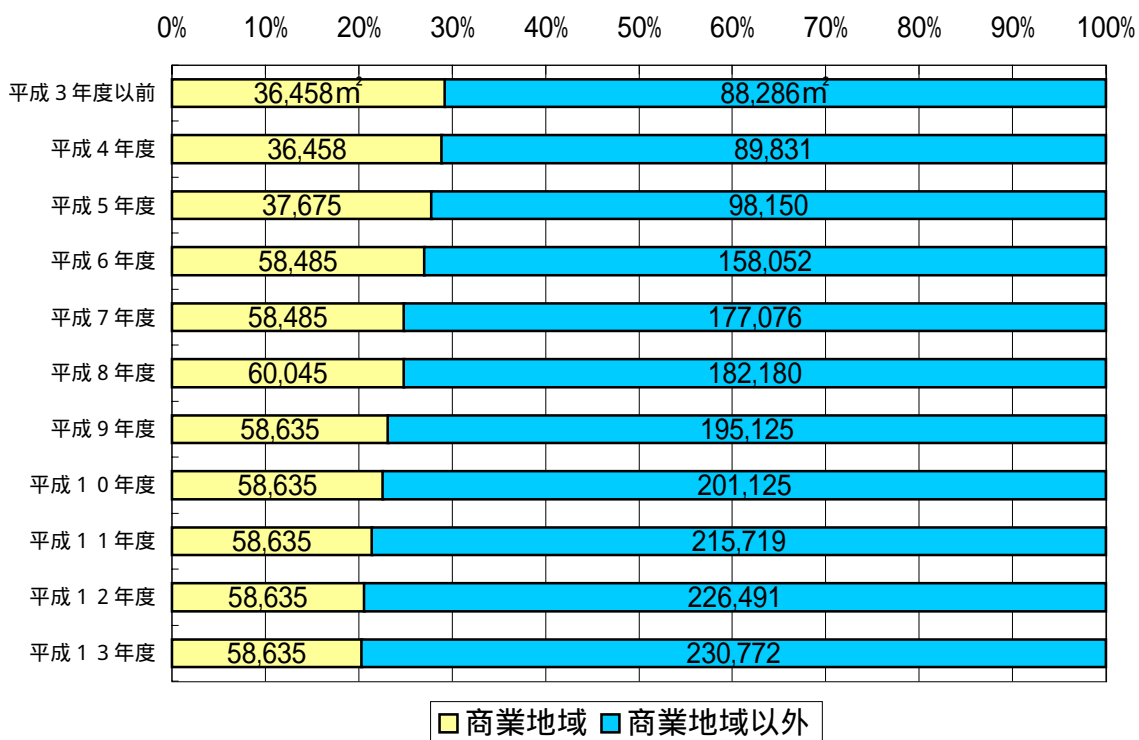


(大店法及び大店立地法による新設届出状況)

立地場所別にみた店舗数



立地場所別にみた店舗面積



(大店法及び大店立地法による新設届出状況)